

資格課程の手びき2023

資格課程の手びき2023

和光大学の資格課程	P 2
-----------	-----

教職課程

教職課程参照ページフローチャート	P 9
共通事項	P 10
幼稚園課程	P 15
小学校課程	P 33
中学校・高等学校課程	P 41
授業一覧表	P 53

諸資格課程

諸資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表	P 103
図書館司書課程	P 104
学校図書館司書教諭課程	P 106
社会教育主事課程	P 108
博物館学芸員課程	P 114

和光大学

資格課程の手びき2023

異質力で、輝く。》》

和光大学

資格課程の概要

(1) 資格課程の特色

本学の教育課程を構成する授業科目は、共通教養科目、外国語科目、および専門科目に分けられ、それぞれ卒業に必要な単位数が定められており、それを修得すれば、学士の学位が得られることになっています。このようにして学士の学位を得た者が、さらにさまざまな資格を取得できる制度があります。本学では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員になるために必要な教育課程や、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事、博物館学芸員になるために必要な教育課程を置いており、これらを一括して資格課程と呼んでいます。各々の課程に定められた必要な授業科目の単位を修得すれば、免許状、または、法に定められている単位取得証明書を取得できるようになっています。資格課程の履修を希望する者は、次に掲げている本学の資格課程の特色について理解したうえで、意欲的で充実した学修に励んでください。

本学の創設者である初代学長梅根悟は、開学時の学長告辞において、ヨーロッパ大学史を引用しながら、次のような見解を示しています（1966年）。

「ユニヴァーシティは諸君も知っているように、今から七、八百年前にイタリアのボロニアや、フランスのバリに生れたものであり、その頃そこに群がり集まった多くの学者と学生の群れに始まるものでありますが、その当時は町のあちこちで学者たちが講義を開いており、学生たちはめいめい思い思いに自分の聴きたいと思う学者の講義をきいておりました。卒業だの、単位制度だの、試験だのというものもなく、学生は自分の聴きたいだけの講義を聴いて、何年かたって、もう聴く必要を感じず講義はなくなったと思えば、そこで学習を打ち切って、その町を去ったり、そこで職業についたりするのです。……即ち大学は基本的には、みずから学問修業に志す人たちの自発的な集団であって、その志なき者の来るべきところではないのです。しかもそれは形式的な資格や学歴を超越して、みずからの内面的な知的要求を満足させることを目的として集った人びとの集団であるべきなのです。」

「しかしその内に学位という制度が生れ、一定の知的職業につくためには何々学士、何々博士という学位を持っていなければならないことになりました。そうなるこの学位には社会的特権がついておりますから、学位を取るためには一定の学問分野について十分に勉強した上で、厳格な試験を受けてパスしなければならないという制度が生れたのです。これは当然のことです。そしてこの学位試験はその頃のギルドの親方試験が一般にそうであったように、極めて厳格なものでありましたから、なかなか容易には取れないものであり、中には10年も20年も学生生活をつづけて、なお学位試験にパスしない学生がいましたし、途中で断念する者も少なくありませんでした。中国の昔の科举に老学生、老受験生がいたのと同じであります。この資格試験のためのきびしい勉強の場としての大学、それが大学の第二の側面となったのです。」

「諸君の中には本学に学ぶことによって一定の資格を得ようとしている人が多いことと思います。文学士、経済学士の称号を取りたいと思う人、これは大部分の人がそうでしょうし、教員免許状その他の資格を得たいと思っている人も多いでしょう。これは即ち前に申しました第二の側面ですが本学では決して資格の安売りはしない方針であります。このような資格はそれぞれ社会的な特権を意味しますから、その付与は当然厳正に行われなければなりません。医者になるためには大学に6年以上在学して、医学士の称号を得ていなければなりません。もし大学が医学士の称号をいかにげんに与え、ろくすっぽ勉強もしていない学生にどしどし単位を与えたとしたら、どうでしょうか、その被害をこうむるのは患者であり、国民でありましょう。だから医師になるための基礎資格を与える権限をもっている大学が、医学士になるための学習の指導や単位の認定に当たって厳格であるのは、まさに国民の大学に対する要求であると言っているのです。」

本学の資格課程は、開学時の入学登録学生にむけた学長告辞の方針が貫かれた教育課程となるように配慮されており、これがこの課程の特色といえるでしょう。

(2) 和光大学で取得できる免許状及び資格の種類とその概要

《教育職員》

高等学校以下の学校の教諭になるためには、教育職員免許法に基づく教員免許状が必要です。教育職員免許状の取得のためには、卒業に必要な単位の他に、教職課程の諸科目の単位を修得しなければなりません。本学では資格課程の受講申請は2年次から（心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生による教職課程《幼稚園》を除く）となっていますが、教科に関する科目（コード番号が8000番台以外の科目など）は1年次でも履修できるものもあります。教育職員免許状取得希望者は、綿密な履修計画を立てて取り組んでください。なお、各学科別

に取得できる教科が異なるので、1年次の時から下記の取得できる免許・資格を参照してください。

その際、所属学科以外の免許状の取得については、教学支援室窓口にご相談してください。

各学科で取得できる免許・資格の種類

* 幼稚園・小学校教諭一種免許状と中学校・高等学校教諭一種免許状の同時履修となる受講申請はできません。

* 保育士資格については、心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程のみ取得可能。詳細は学修の手びき心理教育学科のページを参照すること。また幼児教育課程の学生は幼稚園教諭一種免許状の受講申請を1年次に行います。

(2021年度以降入学生対象)

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修		○	○		
	人間科学科				保健体育	保健体育
表現学部	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
	芸術学科				美術	美術
経済経営学部	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

(2019年度～2020年度入学生対象)

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修		○	○		
	現代社会学科				社会	地理歴史・公民
	人間科学科				保健体育	保健体育
表現学部	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
	芸術学科				美術	美術
経済経営学部	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

(2016年度～2018年度入学生対象)

学部学科		免許状の種類 (教科)	幼稚園教諭 一種免許状	小学校教諭 一種免許状	中学校教諭 一種免許状(教科)	高等学校教諭 一種免許状(教科)
現代人間学部	心理教育学科心理学専修					
	心理教育学科子ども教育専修		○	○		
	現代社会学科				社会	地理歴史・公民
	身体環境共生学科				保健体育	保健体育
表現学部	総合文化学科				国語・英語	国語・英語
	芸術学科				美術	美術
経済経営学部	経済学科				社会	地理歴史・公民
	経営学科					商業・情報

資格課程の受講 手続き

(1) 受講申請の時期

(2) 受講申請手続き のながれ

(1) オリエンテー ション

大学院で取得できる免許・資格の種類（2021年度以前入学生対象）

専攻課程		免許状の種類 (教科)	中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状
社会文化総合 研究科	社会文化論専攻		社 会	地理歴史・公民

《図書館司書》（全学部全学科共通）

図書館法の規定によって、主として公共図書館などにおいて、専門的業務をつかさどる職員に要求される資格です。

《学校図書館司書教諭》（全学部全学科共通）

小、中・高等学校の学校図書館において専門的業務をつかさどる教諭に要求されている資格で、学校図書館法によって規定されています。なお、この資格は教育職員免許状を取得していることが条件となります。

《社会教育主事》（全学部全学科共通）

社会教育法の規定により、学校外の青少年および成人に対して行われる組織的な教育活動（体育およびレクリエーション活動を含む）をつかさどる専門職員となるためのものです。この課程を修了し、社会教育主事補の職歴を1年以上経て、主事に任用されるための基礎資格が得られます。

《博物館学芸員》（全学部全学科共通）

博物館法の規定によって、博物館の専門的業務に従事する職員をいいます。本学におけるこの課程を修了し、学芸員として就職するためには、各種法人、地方自治体等それぞれの博物館の設置者による採用試験に合格することが前提となります。

資格課程の受講申請は、下表の時期に受け付けます。幼稚園・小学校以外の課程は3年次以降の4月に申請することも可能ですが、2年次から順序を追って履修しないと4年次の卒業と同時に免許・資格を取得できない場合もあります。したがって免許・資格取得を目指す学生は、1年次から「資格課程の手びき」を熟読し、履修計画を立ててください。

資格課程	幼稚園課程		小学校課程
対象学生	心理教育学科子ども教育専修 幼児教育課程	左記以外の学生	全学生
申請時期	1年次4月のみ	2年次4月のみ	2年次4月のみ

資格課程	中学校課程	高等学校課程	図書館司書課程	学校図書館司書教諭課程	社会教育主事課程	博物館学芸員課程
対象学生	全学生					
申請時期	2年次以降毎年4月					

資格課程の申請を希望する学生は、希望する課程の下記オリエンテーションに出席し、必要な説明を受けてください。

資格課程オリエンテーション

- 幼稚園・小学校課程（出席必須）：3月27日（月）
- 中学校・高等学校課程（出席必須）：3月27日（月）
- 諸資格課程（図書館司書／社会教育主事／博物館学芸員）：3月27日（月）

オリエンテーションの時間及び会場、開催方法に変更がある場合等は和光ポータルにて通知します。

【注意】幼稚園・小学校課程は、他の資格課程と異なり受講者数が定員で制限されています。3月27日（月）のオリエンテーション時に受講者を決定しますので、希望者は必ず出席してください。

なお、受講希望者数が定員数枠を超えた場合は、レポート等の方法で受講者を決定します。定員数枠を満たさなかった場合は先着順となります。

(2) 受講申請料 ① 教職課程 (幼稚園)	50,000円 ※幼児教育課程に属する学生は保育士課程と同時申請の扱いとなる為、30,000円とします。								
② 教職課程 (小学校)	50,000円 ※教職課程 (幼稚園) と同時に申請する場合は30,000円とします。 例) 幼稚園課程と小学校課程を同時に申請する場合 50,000円 (幼稚園課程) + 30,000円 (小学校課程) 計80,000円								
③ 教職課程 (中学校、高等学校)	(2020年度以降入学生対象) <table border="0"> <tr> <td>1 教科目</td><td>30,000円</td></tr> <tr> <td>2 教科目から1教科につき</td><td>15,000円</td></tr> </table> ※同じ教科の中学校・高等学校は両方申請しても1教科と換算します。 ※中学校「社会」+高校「地理歴史」+高校「公民」は1教科と換算します。 例) 中学校「英語」+高校「英語」の場合：1教科として換算 中学校「英語」+高校「美術」の場合：2教科として換算 (2019年度以前入学生対象) <table border="0"> <tr> <td>1 教科目</td><td>30,000円</td></tr> <tr> <td>2 教科目から1教科につき</td><td>15,000円</td></tr> </table> ※同じ教科の中学校・高等学校は両方申請しても1教科と換算します。 ※中学校「社会」+高校「地理歴史」および中学校「社会」+高校「公民」は1教科と換算します。高校「地理歴史」+高校「公民」は2教科と換算します。 例) 中学校「英語」+高校「英語」の場合：1教科として換算 中学校「英語」+高校「美術」の場合：2教科として換算 中学校「社会」+高校「地理歴史」+高校「公民」の場合：2教科として換算	1 教科目	30,000円	2 教科目から1教科につき	15,000円	1 教科目	30,000円	2 教科目から1教科につき	15,000円
1 教科目	30,000円								
2 教科目から1教科につき	15,000円								
1 教科目	30,000円								
2 教科目から1教科につき	15,000円								
④ 図書館司書課程 学校図書館司書教諭課程 社会教育主事課程 博物館学芸員課程	<table border="0"> <tr> <td>1 課程目</td><td>15,000円</td></tr> <tr> <td>2 課程目から1課程につき</td><td>7,500円</td></tr> </table> ※博物館学芸員課程は、教材費を別途3,000円徴収します。 例) 図書館司書課程+博物館学芸員課程の場合：2課程として換算	1 課程目	15,000円	2 課程目から1課程につき	7,500円				
1 課程目	15,000円								
2 課程目から1課程につき	7,500円								
(3) 手続き方法	下記の各受付期限内に「①資格希望登録」および「②受講申請料の納入」を行ってください。 ① ②の手続きが未完了の場合は、当該年度の資格課程への申請はできません。特に幼稚園・小学校課程については翌年度以降も申請を行うことはできません。 ① 資格希望登録の受付期間 3月27日(月)～4月6日(木) 23:59 P4 資格課程オリエンテーションの案内にしたがい、和光ポータルから登録を行ってください。 ② 受講申請料の納入の締切日 4月12日(水) 13:00まで 資格希望登録をした者に、受講申請料の納入方法を和光ポータル経由で案内します。								
(4) 受講上の注意	① 受講申請料は在学中及び卒業後2年間有効です。卒業後3年目以降に科目等履修生として資格課程を受講する場合は再度受講申請料を納入する必要がある、この場合の受講申請料の有効期限は納入から2年間です。 ② 学内の転部転科生、再入学生について、旧学籍で受講申請し、新学籍でも受講する場合は、新学籍としての受講申請手続きが必要です。なお、受講申請料の納入は不要です。 ③ 一度納入した受講申請料は一切返還しません。 ④ 受講申請料未納者には、資格取得のための単位認定を行うことができません。 ⑤ 中高教職課程は、中学校と高等学校両方の申請をおすすめします。								
(3) 受講の取消・変更	資格課程の受講を取り消す場合は、必ず教学支援室に申し出て、修得単位の今後の取扱について指導を受けてください。								

実習参加について

(1) 麻しん抗体の 確認について

資格課程における学外での実習および介護等体験を行う予定の学生は、麻しん抗体の確認が必要です。

以下、該当するものの書類（写し）が必要になりますので、保管しておいてください。

・麻しんワクチン接種歴の証明：母子手帳または接種証明書

（ワクチン接種から抗体価が確実に上がるまでには時間を要しますので計画的に準備を進めてください）

・麻しん罹患歴あり：母子手帳または麻しん罹患証明書

・麻しん抗体あり：麻しん抗体価検査結果

※いずれにも該当しない場合や根拠となる書類が無い場合は、予防接種が必要です。

（医師により予防接種不適当と診断されている場合は個別に教学支援室窓口にご相談してください）

(2) 出席・成績・ 評価の扱い

教育実習、介護等体験、諸資格実習等の実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず事前に科目担当教員に申し出るとともに、実習終了後、それぞれの参加証明書（教学支援室発行）をもって科目担当教員へ連絡してください。

「実習参加証明書」を科目担当教員に提示することで、必ずしも当該日時の欠席が出席扱いとなるわけではありません。欠席の場合の評価の扱いや対応は、履修している科目の担当教員の判断によります。そのため、実習等により欠席をする場合は、直接担当教員にその旨を理由と共に伝える必要があります。

証明書等の交付について

「教育職員免許状取得見込証明書」及びその他の資格の取得見込証明書は次の条件を満たしている場合に限り発行します。

- ① 該当する資格の課程を受講申請済みであること。
- ② 「卒業見込証明書」の発行条件を満たしていること。
- ③ 「教育実習」の単位を修得済みの者、または当該年度に修得予定の者。
（③は教職課程のみ）

その他、必要な証明書がある場合は、教学支援室窓口にご相談してください。

科目等履修生

教職課程・保育課程

本学学部在籍中に教職課程の受講申請を行い、又は、保育士課程に在籍し、免許・資格取得に取り組んでいた者が、若干の単位・要件を満たさなかった場合、科目等履修生（教職課程履修生・保育課程履修生）制度によって、不足単位・要件となる科目を履修することができます。

本制度は学部在籍中に受講申請していない教科の履修や在籍していなかった課程の資格、他大学の卒業生による不足単位・要件を満たすための履修を目的としたものではありませんので、その場合は課程を持つ学科（心理教育学科子ども教育専修を除く）へ編入学を行い、学部生として資格取得に取り組んでください。

(1) 出願資格

《教職課程》

本学学部在籍中に教職課程（小学校・中学・高校）の受講申請を行い、免許取得に取り組んでいた者。かつ学士の学位を有している者。

《保育課程》

本学学部在籍中に教職課程（幼稚園）の受講申請を行い、又は、保育士課程に在籍し、免許・資格取得に取り組んでいた者。かつ学士の学位を有している者。

※保育専修、子ども教育専修幼児教育課程以外の幼稚園課程履修生が、免許取得後に、保育士課程科目を履修することはできません。また、保育専修、子ども教育専修幼児教育課程の卒業生が、在学中に幼稚園課程の受講申請を行わなかった場合、幼稚園免許のための科目等履修を行うことはできません。

諸資格課程

(1) 出願資格

学士の学位を有する者は、科目等履修生として講義を履修し、本学で資格（図書館司書・学校図書館司書教諭・社会教育主事・博物館学芸員）取得に取り組むことができます。

学士の称号を有している者、あるいは学士の学位を有している者。

各課程共通事項

- (1) 履修料
- (2) 学生教育研究災害保険(学研災)
- (3) 資格課程受講申請料

1 単位につき13,000円

保険料800円

- ① 新規に課程を受講する者は、受講申請料を納入してください(納入から2年間有効)。手続き方法は前ページ参照のこと。
- ② 本学卒業生で、在学中に該当する課程の受講申請料を納入していて、卒業後2年以内の者は不要です。

編入生の資格課程の履修

学内の転部転科生、再入学生及び学外からの編入生で、資格課程の履修を希望する場合は、必ず教学支援室で履修指導を受けてください。他大学において、教職課程およびその他の資格課程を受講している場合は、「単位修得証明書」および「学力に関する証明書」を教学支援室に持参してください。

大学院生の資格課程の履修

※2021年度以前入学生対象

大学院に進み、専修免許状の取得を希望する場合は、必ず教学支援室で履修指導を受けてください。なお、大学院生として、新規に資格課程の受講をすることはできません。ただし、各資格取得に必要な単位を取り残して大学院に進む者は、「科目等履修生」として在籍することによってこれを取得することができます。この場合、科目等履修生として履修できる科目の上限は3科目(半期科目は0.5科目と数える)であることに注意してください。

- (1) 専修免許状取得のための単位数

大学院生(2021年度以前入学生)…研究論文の単位を含まない大学院の科目 24単位
(免許教科の種類によって選択すべき科目が決まっています。詳しくは教学支援室までお問い合わせください)

- (2) 手続き方法

- ① 教学支援室で履修する専修免許の課程の受講を申請してください。一種免許状の原本または授与証明書を提出してください。原本の場合、大学でコピーをとり返却します。
- ② 受講申請料は不要です。
- ③ 4月3日(月)～7日(金)の期間(月～金、各日9:30～13:00、14:00～16:00)教学支援室で手続きをしてください。

資格課程サポートセンター

本学では2019年4月から資格課程サポートセンター(G107)を開設し、教職・諸資格(司書、社会教育主事、博物館学芸員)の取得を目指す学生の学びのサポートを行っています。

資格課程サポートセンターでは、学校現場や教育行政に豊富な知識と経験をもった教職アドバイザーが在学・卒業生の指導・相談にあたります。また、採用試験対策の各種講座や、現役の教員として活躍する本学卒業生との交流イベントなどを開催しています。

- センターでの学び①

個人利用(自主学習、グループ学習)

自習はもちろん、自主ゼミを組んで勉強することもできます。諸資格の資料も閲覧できます。

- センターでの学び②

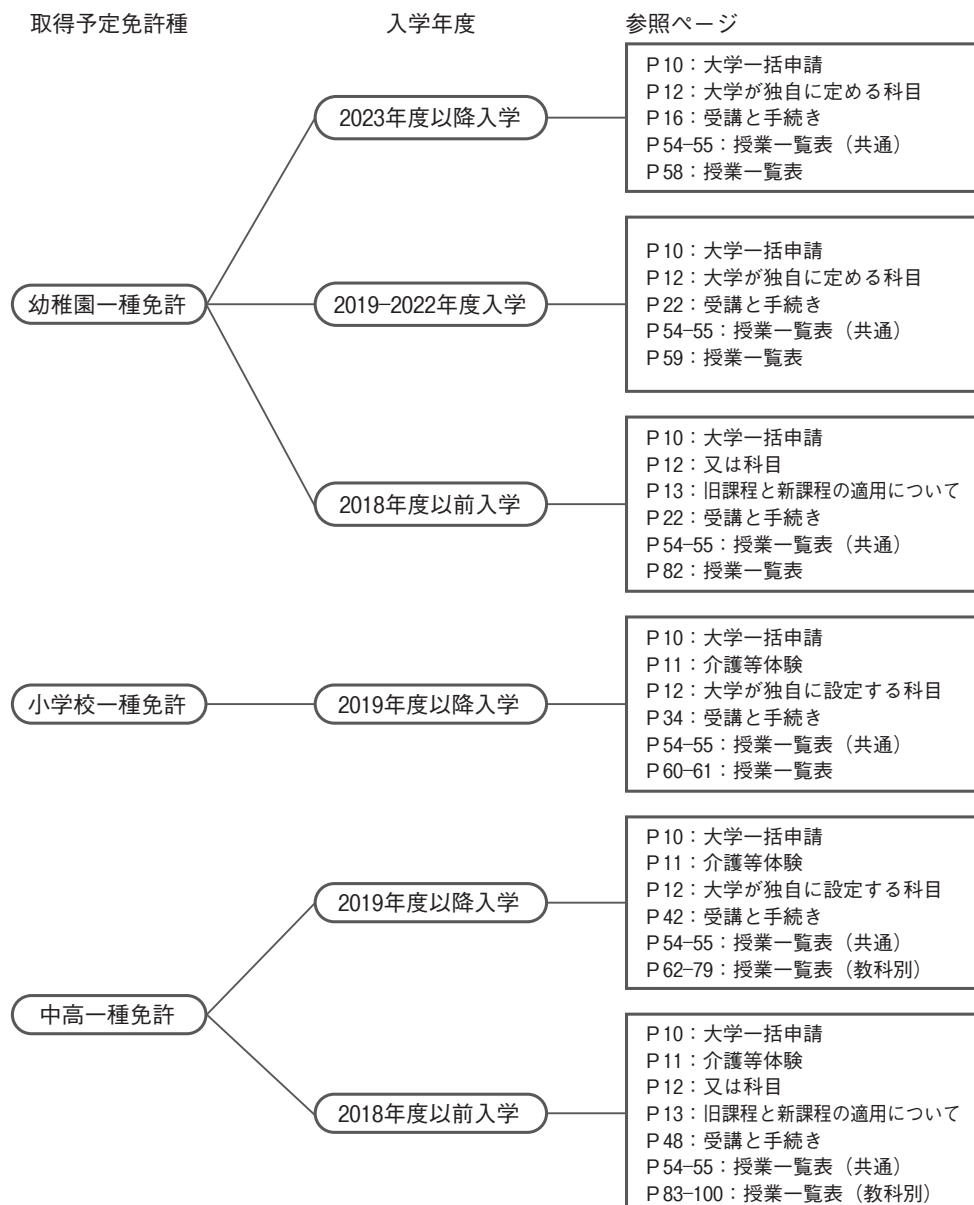
相談利用(教職アドバイザーによる相談・指導)

経験豊かな先生による相談、面接・小論文・模擬授業指導等が受けられます。

教 職 課 程

教職課程参照ページフローチャート

取得する免許種と入学年度によって参照するページが異なります。
フローチャートに沿って当該ページを必ずよく読んで理解して履修してください。



教職課程共通事項

I. 教育職員免許状 「大学一括申請」

教職課程の所定の単位を修得した授与資格者は、授与権者である都道府県教育委員会へ授与手続きをすることにより免許状が交付されます。

本学の場合は、東京都教育委員会から一括して授与されるので、授与希望者は「教員免許状大学一括申請」説明会に参加し、「教育職員免許状申請書（大学一括申請用）」の確認・署名・手数料納付等の手続きをとってください。

なお、この説明会に参加しなかった者は、大学一括申請の対象外となり、都道府県教育委員会へ個人で申請をすることになります。また、下記の場合も個人申請となります。

- ①他大学での「科目等履修生」の単位を使って免許状を申請する場合
- ②免許法上最低修得単位数を満たす場合

※和光大学での教職課程の教員免許取得に必要な所定の単位数には達していないものの、免許法上最低修得単位数を満たしている場合は、個人申請して免許状を取得することになります。

教育職員免許状大学一括申請に関するスケジュール

《10月頃 大学一括申請説明会》…黒のボールペン、シャチハタでない印鑑

*申請手数料は別途納入のこと

(※金額は2022年度現行)

宣誓書（大学一括申請用）の署名
教育職員免許状申請書の記載・*申請手数料(3,300円)の納入



《2月末～3月初旬揭示発表（卒業判定結果発表後）》

教 職 判 定 結 果 発 表



《3月上旬》

東京都教育委員会免許状申請



《3月下旬》(教学支援室で交付)

免 許 状 交 付

(注) 免許状の再交付（申請した教育委員会にて手続き）

東京都では、教育職員免許状は、単なる紛失を理由としては再交付されないのので、自分の免許状の記号番号・授与年月日などは、必ず控えておいてください。再交付が認められるのは、火災・水害等の自然災害により亡失し、市・区・町・村長などの証明のある場合に限られています。

教育職員免許状 について

1. 効力

教育職員免許状は、すべての都道府県において効力をもちます。国立私立学校の別はありません。

2. 欠格条項（教育職員免許法第5条第1項、第1条第1項但書から抜粋）

- ・成年被後見人又は被保佐人
- ・禁錮以上の刑に処せられた者
- ・免許状取り上げの処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者
- ・日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- ・国立又は公立の学校の教員であって懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から3年を経過しない者

3. 授与権者

文部科学大臣の監督のもとに、免許状授与の権限を国から委任された機関で、都道府県教育委員会がそれに当たります。

Ⅱ. 介護等体験 (小・中学校のみ)

介護等の体験を義務付ける法律が1997年6月に成立し、小・中学校の教員免許状を取得するためには、1998年度以降入学者から、社会福祉施設及び特別支援学校（盲・ろう・養護学校）で計7日間の介護等体験を行うことが必要となりました。

介護等体験を行うには、①介護等体験説明会に出席し、②大学所定の申込書に必要事項を記入し、③大学を通して、社会福祉施設および教育委員会に申請します。したがって、大学で行う説明会に出席しないと介護等体験を行うことができません。

また、④社会福祉施設及び特別支援学校のオリエンテーションを受けることが必須です。このオリエンテーションに参加しない場合は、介護等体験の派遣を認めません。

下記のスケジュールを参考に、日時や詳細については、資格課程掲示板および和光ポータルで連絡します。登校したら、必ず資格課程掲示板を確認してください。

介護等体験のスケジュール

時 期	内 容
体験前年度11月	介護等体験説明会・介護等体験申請料納入（次年度4月から介護等体験を行う予定の学生は必ず参加してください。）
体験前年度3月	オリエンテーション（社会福祉施設）を受ける
体験年度4月	健康診断を受ける
5月	オリエンテーション（特別支援学校）を受ける
6月	介護等体験受入決定通知
7月～翌年3月	介護等体験実施

介護等体験を必要としな
い場合は

* 身体障害者手帳に、障がいの程度が1級から6級であるとして記載がある場合には、介護等体験は必要ではありません。この場合、身体障害者手帳を持参して、教学支援室で確認をとってください。なお、本人の希望がある場合は、「本人の身体状況、受入施設の状況等を総合的に勘案しつつ、可能な限りその意思を尊重することが望ましい」とされているので、介護等体験を行うことも可能です。

体験期間中の授業欠席

* 体験期間が授業期間と重複する場合には、実習後に「介護等体験参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を教学支援室で交付します。必要な者は手続きをしてください。ただし、その場合も、必ず事前に該当する授業の担当教員に介護等体験に行く旨を申し出てください（出席等の扱いについては、P6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(1) 手続き方法

①2023年度介護等体験

2023年度に介護等体験を実施できる学生は、2022年度中の説明会に出席し、手続きを完了した者のみです。その中で、資格課程の受講申請をしていない者は、3月の「資格課程オリエンテーション」に参加の上、受講申請をしてください。

②2024年度介護等体験

2024年度に介護等体験を希望する学生は、2023年11月頃に実施する介護等体験説明会に出席し、手続きをしてください。1年次生など、この説明会の時点では資格課程の受講申請をしていない学生も、2024年度の介護等体験の手続きは可能です。その場合、2024年4月に資格課程の受講申請が必要です。

(2) 介護等体験申請料

15,000円（保険料及び体験料を含む）

* 一度納入された申請料は一切返還しません。

Ⅲ. 大学が独自に 設定する科目／ 教科又は教職に 関する科目

2019年度以降入学生

①幼稚園課程

教育職員免許状を取得するために、「大学が独自に設定する科目」／「教科又は教職に関する科目」の履修方法について十分に理解して履修計画を立ててください。
履修方法について不明な点は教学支援室で確認してください。

2019年度以降入学生は「大学が独自に設定する科目」について下記のように履修をしてください。

〈1〉	「領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	16単位 (免許法上最低修得単位数)
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	21単位 (免許法上最低修得単位数)
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が14単位以上になるように修得してください。

②小学校課程

〈1〉	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	30単位 (免許法上最低修得単位数)
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	27単位 (免許法上最低修得単位数)
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が2単位以上になるように修得してください。

③中学校・高等学校課程

〈1〉	「教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数	(マイナス)	中学28単位、高校24単位（免許法上最低修得単位数）
〈2〉	「教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数	(マイナス)	中学27単位、高校23単位（免許法上最低修得単位数）
〈3〉	「大学が独自に設定する科目」の修得単位数		※中学校は「福祉介護論」を必ず履修してください。

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が中学4単位以上、高校12単位以上になるように修得してください。

2018年度以前入学生

2018年度以前入学生は「教科又は教職に関する科目」について下記のように履修をしてください。

①幼稚園課程

- 〈1〉「教職に関する科目37単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
- 〈2〉「教科に関する科目6単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
- 〈3〉「教科又は教職に関する科目」の専用科目

※ 〈1〉 + 〈2〉 + 〈3〉 の合計数が10単位以上になるように修得してください。

②中学校・高等学校課程

校種・教科によって要件が異なりますので、各校種・教科の授業一覧表をよく確認してください。

〈1〉「教職に関する科目の必修及び選択必修の単位数」を超えて修得した「教職に関する科目」※「各科教育法2」、「情報技術論2科目目以上（2021年度修得分まで）」のみが該当します。「他教科の教育法」や「教育実習1」の4単位のうち2単位を高校の「又は科目」として数えることはできません。

〈2〉「教科に関する科目の必修及び選択必修の単位数」を超えて修得した「教科に関する科目」

〈3〉「教科又は教職に関する科目」の専用科目

※中学校は「福祉介護論」を必ず履修してください。

※〈1〉＋〈2〉＋〈3〉の合計数が中学8単位以上、高校16単位以上になるように修得してください。

Ⅳ. 旧課程と新課程の適用について (2018年度以前入学生対象)

「教育職員免許法施行規則及び免許状更新講習規則の一部を改正する省令（平成29年文部科学省令第41号）」が2017年11月17日に公布され、2019（平成31）年4月1日から施行されました。これに伴い、施行日（2019年4月1日）以後は、本学でも改正後の教職課程（以下、新課程）を開設しました。

原則として、2018年度以前入学生（一部を除きます。下記の「※」を確認してください）は、旧課程が適用され、旧課程に定められた科目の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。履修方法は、2018年度以前入学生《2018年度から2019年度以降へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2018年度以前入学生）》の該当するページ及び授業一覧表を参照してください。

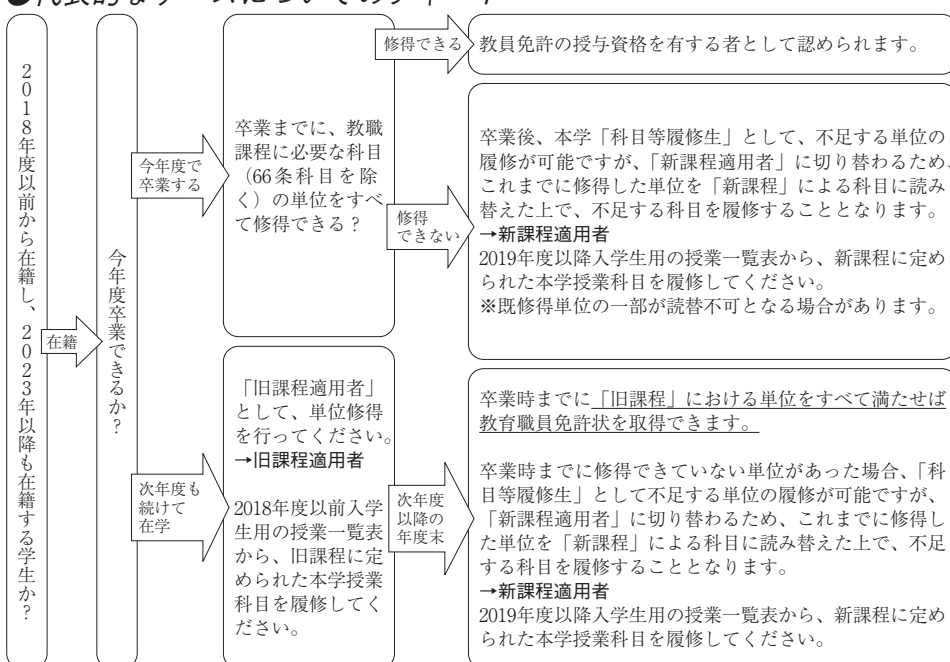
※ただし2018年度以前入学生でも、2018年度から2019年度以降へ継続した学籍のない者（下記に該当する者）の場合、旧課程履修の有無に関わらず新課程が適用されますので注意してください。

施行日（2019年4月1日）以降に、
・再入学した者
・科目等履修生として在籍している者
※編入学生については、教学支援室へお問い合わせください

新課程適用者となります

新課程適用者の履修方法は2019年度以降入学生《2018年度から2019年度以降へ継続した学籍のない者の場合（再入学生、科目等履修生）》の該当するページ及び授業一覧表を参照してください。

●代表的なケースについてのチャート



※旧課程適用者から新課程適用者となる場合、不足単位について必ず教学支援室資格係まで問い合わせてください。学力に関する証明書を発行し、不足単位について確認が必要です。

教職課程(幼稚園)2023年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程生 登録手続き・教育実習	子ども教育専修幼児教育課程生以外 登録手続き・教育実習	【参考】保育士課程関係
1 年 次	4月 子ども教育専修オリエンテーション 教職課程(幼稚園)申請 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ入力 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	子ども教育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習開拓条件を満たすよう履修する
2 年 次	4月 履修カルテ入力 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する	受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい 履修カルテ記入	保育実習1開拓有資格者発表 保育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習参加条件を満たすよう履修する 保育実習1(施設)報告会 保育実習1開拓説明会 ※保育実習1希望調査票提出
	10月 教育実習園開拓説明会	教育実習園開拓説明会	保育実習2・3開拓説明会
	3月 教育実習園開拓有資格者発表	教育実習園開拓有資格者発表	
3 年 次	4月 履修カルテ入力 教育実習希望調査票提出 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する 幼児教育課程所属学生以外は保育インターンシップを履修することが望ましい		保育実習1参加有資格者発表 大学の健康診断を受診 保育実習1(施設)報告会 保育実習2・3希望調査票提出 保育実習1(保育所)事前指導 保育実習1(保育所)実施 保育実習1(保育所)事後指導 保育実習1(施設)事前指導
	8月 9月 10月 教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導 3・4年次生合同実習報告会		
	11月 2月		保育実習1(保育所)実習報告会 保育実習1(施設)実施 保育実習1(施設)事後指導
	3月 教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導(3月下旬)		
4 年 次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出		保育実習2・3参加有資格者発表 保育実習2・3事前指導 保育実習1(施設)報告会
	5月 教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導		
	6月 教育実習実施		
	7月		
	8月		保育実習2(保育所)または保育実習3(施設)実施 保育実習2・3事後指導
	9月 教職・保育実践演習(小・幼・保)		
	10月 教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導 3・4年次生合同実習報告会 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		3・4年次生合同実習報告会 保育士登録説明会 登録手続きを行う
	12月 教職課程判定対象者揭示		
	2月 教職課程判定結果発表		
	3月 教育職員免許状取得		保育士資格判定結果発表

※小学校・幼稚園教職課程をあわせて受講する学生は、上記とは異なるスケジュールで免許取得を目指します。
担当教員の指示に従ってください。

1. 教職課程(幼稚園)の受講と手続き

履修の方法

幼稚園教員免許課程は、次の1～3の受講パターンがあり、それぞれ履修の方法が一部異なります。

1. 保育士課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
(現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみ)
2. 小学校教職課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
3. 幼稚園免許のみ受講する場合

1の場合は、1、2年次に資格課程の専門科目の大部分の履修が予定されているため、1年次に保育士課程と幼稚園課程の受講申請を済ませ、目的的な養成教育を受けることになります。

2の場合は、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。幼・小課程共通開設科目がいくつかありますので、早めの履修を勧めます。1年次から計画的に履修を進めましょう。

3の場合も、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。

3つの場合とも、資格取得のための最低必修単位数は同じですので、次ページをよく見て計画的に履修を進めましょう。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照

単位の修得

(1) 単位の見方

次ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 履修に関する注意事項

教職課程(幼稚園)を申請している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

2023年度以降入学生対象

教育職員免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

教育職員免許状（幼稚園一種）を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①（基礎資格）及び②～⑤（最低修得単位数）それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること（学部を卒業することによって得られます）

②領域及び保育内容の指導法に関する科目（→詳細はP58参照）

免許法施行規則に定める 科目区分等		免許法上最低 修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
領域に関する 専門的事項	健康	16	子どもと健康	1	
	人間関係		子どもと人間関係	1	
	環境		子どもと環境	1	
	言葉		子どもとことば	1	
	表現		子どもと音楽表現	2	
音楽表現 1				1	
保育内容の指導法（情報 機器及び教材の活用を含 む。）	音楽表現 2			1	
	子どもと造形表現		2		
	保育内容（健康）		2		
	保育内容（人間関係）		2		
	保育内容（生活と環境）	2			
	保育内容（ことば）	2			
	保育内容（表現）	2			
上記 2 つの事項を合わせ た内容に係る科目	保育内容総論	2			
			本学での修得単位数	20	

③教育の基礎的理解に関する科目等（→詳細はP58参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低 修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	保育原理	2	2
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		保育者論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		初等教育の制度と社会	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		初等教育心理学 発達心理学	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別なニーズのある乳幼児への 保育と教育	2	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		保育カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）	2	2
	・幼児理解の理論及び方法		子ども理解と保育・教育相談	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		初等教育相談		
教育実習		5	教育実習事前・事後指導（初等） 教育実習（初等）	1 4	
教職実践演習		2	教職・保育実践演習（小・幼・保）	2	
計		21	本学での修得単位数	23	4

※「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」の内容は、「子ども理解と保育・教育相談」に含まれています。

④大学が独自に設定する科目（→詳細はP58参照）

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
14	14

〈1〉＝「②領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数^{（マイナスイ）} 16単位（免許法上最低修得単位数）

〈2〉＝「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数^{（マイナスイ）} 21単位（免許法上最低修得単位数）

〈3〉＝「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

※〈1〉＋〈2〉＋〈3〉が14単位以上になるように修得してください。

⑤免許法施行規則第66条に定める科目
（66条科目→詳細はP54参照）

免許法施行規則に定める科目		免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法		2	2
体育		2	2
外国語コミュニケーション		2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	—
	情報機器の操作		2

教育実習

教育実習は、本学が幼稚園に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

※小学校の教職課程をあわせて履修している者は教員・教学支援室の指導に従うこと。

（1）教育実習園開拓
の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習園の開拓を行う必要があります。実習園の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
- ② 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」・「保育内容総論」・「保育者論」のうち8単位以上を修得済みであること。
- ③ 開拓年度中に②の未修得単位を修得見込みであること。

（2）教育実習園の開拓

実際の実習園開拓の方法は実習園の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず2年次10月の「開拓説明会」に参加をし、2～3月に複数の園を見学し、検討の上、3年次4月に希望調査票を提出してください。

（3）教育実習園の決定

実習園の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（初等）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立園での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定園あるいは、実習日程等については、変更になる場合もありますので、本人が確認してください。

（4）教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習園を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「保育原理」・「発達心理学」・「初等教育心理学」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」・「保育内容総論」・「保育者論」・「子ども理解と保育・教育相談」・「保育カリキュラム論」のうち14単位以上を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導(初等)」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導(初等)」は実習年度の科目として扱われますので、実習年度に「教育実習(初等)」「教職・保育実践演習(小・幼・保)」とともに履修登録を行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導(初等)」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習園を訪問し、指導することになっています。そのため、実習の具体的計画(特に責任実習担当日時)が決定したときには、必ず訪問指導担当教員及び保育実習センターに連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、その都度指示に従って忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習園との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書(非欠席扱いのお願い)」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください(扱いについてはP6「実習参加について(2)出席・成績・評価の扱い」を参照)。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習園に対してお礼状を出してください。

また、実習報告書及び教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず保育実習センターに提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習(初等)」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導(初等)」の第4回指導は、実習報告会を行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導(初等)」の単位修得ができないため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習園が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ園にとっては、計画した年間の教育課程、園運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 領域及び保育内容の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
A. 認められます。
- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。
従って、例えば小学校課程の「教育原理」を中高課程の「教育原理」の単位に流用することはできません。
双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。
- ◆Q 3. 「スポーツ実技」「子どもの生活と英語」の単位は、共通教養・外国語科目に数えられますか？
A. 数えられません。これらは保育士課程に定められた教養科目で、本学の共通教養・外国語科目ではありません。従って、卒業のためには共通教養・外国語科目は別に履修することが必要です。
- ◆Q 4. 幼児教育課程以外の学生は、教職課程の履修は2年次から始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(幼稚園)2019年度～2022年度入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程生 登録手続き・教育実習	子ども教育専修幼児教育課程生以外 登録手続き・教育実習	【参考】保育士課程関係
1 年 次	4月 子ども教育専修オリエンテーション 教職課程(幼稚園)申請 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ記入 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	子ども教育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習開拓条件を満たすよう履修する
2 年 次	4月 履修カルテ記入 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する	受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する 学校インターンシップDを履修することが望ましい 履修カルテ記入	保育実習1開拓有資格者発表 保育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習参加条件を満たすよう履修する 保育実習1(施設)報告会 保育実習1開拓説明会 ※保育実習1希望調査票提出
	10月 教育実習園開拓説明会	教育実習園開拓説明会	保育実習2・3開拓説明会
	3月 教育実習園開拓有資格者発表	教育実習園開拓有資格者発表	
3 年 次	4月 履修カルテ記入 教育実習希望調査票提出 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する 幼児教育課程所属学生以外は保育インターンシップを履修することが望ましい		保育実習1参加有資格者発表 大学の健康診断を受診 保育実習1(施設)報告会 保育実習2・3希望調査票提出 保育実習1(保育所)事前指導 保育実習1(保育所)実施 保育実習1(保育所)事後指導 保育実習1(施設)事前指導
	8月 9月 10月 教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導 3・4年次生合同実習報告会		
	11月 2月		保育実習1(保育所)実習報告会 保育実習1(施設)実施 保育実習1(施設)事後指導
	3月 教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導(3月下旬)		
4 年 次	4月 履修カルテ記入 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出		保育実習2・3参加有資格者発表 保育実習2・3事前指導 保育実習1(施設)報告会
	5月 教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導		
	6月 教育実習実施		
	7月		
	8月		保育実習2(保育所)または保育実習3(施設)実施 保育実習2・3事後指導
	9月 教職・保育実践演習(小・幼・保)		
	10月 教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導 3・4年次生合同実習報告会 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		3・4年次生合同実習報告会 保育士登録説明会 登録手続きを行う
	12月 教職課程判定対象者揭示		
	2月 教職課程判定結果発表 3月 教育職員免許状取得		保育士資格判定結果発表

※小学校・幼稚園教職課程をあわせて受講する学生は、上記とは異なるスケジュールで免許取得を目指します。
担当教員の指示に従ってください。

1. 教職課程(幼稚園)の受講と手続き

履修の方法

幼稚園教員免許課程は、次の1～3の受講パターンがあり、それぞれ履修の方法が一部異なります。

1. 保育士課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
(現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみ)
2. 小学校教職課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
3. 幼稚園免許のみ受講する場合

1の場合は、1、2年次に資格課程の専門科目の大部分の履修が予定されているため、1年次に保育士課程と幼稚園課程の受講申請を済ませ、目的的な養成教育を受けることになります。

2の場合は、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。幼・小課程共通開設科目がいくつかありますので、早めの履修を勧めます。1年次から計画的に履修を進めましょう。

3の場合も、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。

3つの場合とも、資格取得のための最低必修単位数は同じですので、次ページをよく見て計画的に履修を進めましょう。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照

単位の修得

(1) 単位の見方

次ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 履修に関する注意事項

教職課程(幼稚園)を申請している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

2019年度～2022年度以降入学生対象

教育職員免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

教育職員免許状（幼稚園一種）を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①（基礎資格）及び②～⑤（最低修得単位数）それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること（学部を卒業することによって得られます）

②領域及び保育内容の指導法に関する科目（→詳細はP 59参照）

免許法施行規則に定める 科目区分等		免許法上最低 修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
領域に関する 専門的事項	国語	16	国語の内容・構成		2
	算数		算数の内容・構成		2
	生活		生活科の内容・構成	2 ※	
	音楽		子どもの音楽	2	
			音楽（楽器演奏 1）		2
			音楽（楽器演奏 2）		2
			音楽（楽器演奏 3）		2
	図画工作		子どもの造形	2 ※	
体育	子どもの体育		2		
保育内容の指導法（情報 機器及び教材の活用を含 む。）			保育内容（健康）	2	
			保育内容（人間関係）	2	
			保育内容（生活と環境）	2	
			保育内容（ことば）	2	
			保育内容（表現）	2	
			保育内容総論	2	
			上記 2 つの事項を合わせ た内容に係る科目		
			本学での修得単位数	18	

※「生活科の内容・構成」——「子どもの造形」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。

※「生活科の内容・構成」「子どもの造形」のうち1科目2単位が選択必修となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等（→詳細はP 59参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	10	保育原理	2	
			保育者論	2	
			初等教育の制度と社会	2	
			初等教育心理学 発達心理学	2	2
			特別なニーズのある乳幼児への保育と教育	2	
			保育カリキュラム論 (2020年度までは「幼児教育課程論」)	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法※ b	4	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）※ a (2021年度までは「初等教育方法」)	2	
			子ども理解と保育・教育相談	2	
			初等教育相談		2
教育実習		5	教育実習事前・事後指導（初等） 教育実習（初等）	1 4	
教職実践演習		2	教職・保育実践演習（小・幼・保）	2	
計		21	本学での修得単位数	23	4

※ a 「初等教育方法」を履修済みの学生は「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）」を履修する必要はありません。

※ b 「教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法」の内容は、「子ども理解と保育・教育相談」に含まれています。

④大学が独自に設定する科目（→詳細はP59参照）

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
14	14

〈1〉＝「②領域及び保育内容の指導法に関する科目」の修得単位数^{（マイナズ）} 16単位（免許法上最低修得単位数）

〈2〉＝「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数^{（マイナズ）} 21単位（免許法上最低修得単位数）

〈3〉＝「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

※〈1〉＋〈2〉＋〈3〉が14単位以上になるように修得してください。

⑤免許法施行規則第66条に定める科目
（66条科目→詳細はP54参照）

免許法施行規則に定める科目		免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法		2	2
体育		2	2
外国語コミュニケーション		2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	—
	情報機器の操作		2

教育実習

教育実習は、本学が幼稚園に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

※小学校の教職課程をあわせて履修している者は教員・教学支援室の指導に従うこと。

（1）教育実習園開拓
の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習園の開拓を行う必要があります。実習園の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること
- ② 「保育者論」・「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育の制度と社会」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」・「子ども理解と保育・教育相談」のうち6単位以上を修得済みであること
- ③ 「保育者論」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」を全て単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること

（2）教育実習園の開拓

実際の実習園開拓の方法は実習園の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず2年次10月の「開拓説明会」に参加をし、2～3月に複数の園を見学し、検討の上、3年次4月に希望調査票を提出してください。

（3）教育実習園の決定

実習園の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（初等）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立園での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定園あるいは、実習日程等については、変更になる場合もありますので、必ず、本人が確認してください。

（4）教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習園を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導（初等）」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」は実習年度の科目として扱われますので、実習年度に「教育実習（初等）」「教職・保育実践演習（小・幼・保）」とともに履修登録を行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導（初等）」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習園を訪問し、指導することになっています。そのため、実習の具体的計画（特に責任実習担当日時）が決定したときには、必ず訪問指導担当教員及び保育実習センターに連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、その都度指示に従って忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習園との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください（扱いについてはP6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習園に対してお礼状を出してください。

また、実習報告書及び教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず保育実習センターに提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習（初等）」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」の第4回指導は、実習報告会を行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導（初等）」の単位修得ができないため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習園が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ園にとっては、計画した年間の教育課程、園運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 領域及び保育内容の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
A. 認められます。
- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。
従って、例えば小学校課程の「教育原理」を中高課程の「教育原理」の単位に流用することはできません。
双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。
- ◆Q 3. 「スポーツ実技」「子どもの生活と英語」の単位は、共通教養・外国語科目に数えられますか？
A. 数えられません。これらは保育士課程に定められた教養科目で、本学の共通教養・外国語科目ではありません。従って、卒業のためには共通教養・外国語科目は別に履修することが必要です。
- ◆Q 4. 幼児教育課程以外の学生は、教職課程の履修は2年次から始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(幼稚園)2018年度以前入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	心理教育学科 子ども教育専修 幼児教育課程生 登録手続き・教育実習	子ども教育専修幼児教育課程生以外 登録手続き・教育実習	【参考】保育士課程関係
1 年 次	4月 子ども教育専修オリエンテーション 教職課程(幼稚園)申請 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ記入 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	子ども教育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習開拓条件を満たすよう履修する
2 年 次	4月 履修カルテ記入 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する	受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修登録 ☆教育実習園開拓条件を満たすよう履修する 学校インターンシップBを履修することが望ましい 履修カルテ記入	保育実習1開拓有資格者発表 保育専修オリエンテーション 「モデル時間割」を参考に履修登録する ☆保育実習参加条件を満たすよう履修する 保育実習1(施設)報告会 保育実習1開拓説明会 ※保育実習1希望調査票提出
	10月 教育実習園開拓説明会	教育実習園開拓説明会	保育実習2・3開拓説明会
	3月 教育実習園開拓有資格者発表	教育実習園開拓有資格者発表	
3 年 次	4月 履修カルテ記入 第2回教育実習園開拓説明会 ※初等教育課程生のみ 教育実習希望調査票提出 ※初等教育課程生を除く 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する 幼児教育課程所属学生以外は保育インターンシップを履修することが望ましい		保育実習1参加有資格者発表 大学の健康診断を受診 保育実習1(施設)報告会 保育実習2・3希望調査票提出 保育実習1(保育所)事前指導 保育実習1(保育所)実施 保育実習1(保育所)事後指導 保育実習1(施設)事前指導
	8月 9月 10月 教育実習事前・事後指導(幼稚園)第1回指導 3・4年次生合同実習報告会		
	11月 2月		保育実習1(保育所)実習報告会 保育実習1(施設)実施 保育実習1(施設)事後指導
	3月 教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(幼稚園)第2回指導(3月下旬)		
4 年 次	4月 履修カルテ記入 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出		保育実習2・3参加有資格者発表 保育実習2・3事前指導 保育実習1(施設)報告会
	5月 教育実習事前・事後指導(幼稚園)第3回指導		
	6月 教育実習実施		
	7月		
	8月		保育実習2(保育所)または保育実習3(施設)実施 保育実習2・3事後指導
	9月 教職実践演習(幼児教育)		
	10月 教育実習事前・事後指導(幼稚園)第4回指導 3・4年次生合同実習報告会 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		3・4年次生合同実習報告会 保育士登録説明会 登録手続きを行う
	12月 教職課程判定対象者揭示		
	2月 教職課程判定結果発表		保育士資格判定結果発表
	3月 教育職員免許状取得		

1. 教職課程(幼稚園)の受講と手続き

履修の方法

幼稚園教員免許課程は、次の1～3の受講パターンがあり、それぞれ履修の方法が一部異なります。

1. 保育士課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
(現代人間学部心理教育学科子ども教育専修幼児教育課程の学生のみ)
2. 小学校教職課程受講者があわせて幼稚園免許を受講する場合
3. 幼稚園免許のみ受講する場合

1の場合は、1、2年次に資格課程の専門科目の大部分の履修が予定されているため、1年次に保育士課程と幼稚園課程の受講申請を済ませ、目的的な養成教育を受けることになります。

2の場合は、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。幼・小課程共通開設科目がいくつかありますので、早めの履修を勧めます。1年次から計画的に履修を進めましょう。

3の場合も、資格課程一般の受講申請と同じで、2年次の始めに申請します。

3つの場合とも、資格取得のための最低必修単位数は同じですので、次ページをよく見て計画的に履修を進めましょう。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 履修に関する注意事項

教職課程(幼稚園)を申請している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

2018年度以前入学生対象

教育職員免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数

教育職員免許状(幼稚園一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①(基礎資格)及び②～⑤(最低修得単位数)それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)

②教職に関する科目(→詳細はP82参照)

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含める必要事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	
				必修	選択
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	保育者論	2	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	保育原理	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）		初等教育心理学 発達心理学	2	2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		初等教育の制度と社会	2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	18	保育内容総論	2	
	・保育内容の指導法		幼児教育課程論	2	
			保育内容（ことば）	2	
			保育内容（人間関係）	2	
保育内容（生活と環境）		2			
保育内容（表現）		2			
保育内容（健康）		2			
乳児保育		2			
障がい児保育	2				
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）		初等教育方法（情報通信技術の活用含む）※ a	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	2	保育相談論	2	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法※ b		初等教育相談		2
教育実習		5	教育実習事前・事後指導（幼稚園） 教育実習（幼稚園）	1 4	
教職実践演習		2	教職実践演習（幼児教育）	2	
計		35	本学での修得単位数	37	4

※a「初等教育方法」を履修済みの学生は「初等教育方法(情報通信技術の活用含む)」を履修する必要はありません。

※b「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法」の内容は、「保育相談論」に含まれています。

③教科に関する科目(→詳細はP82参照)

④教科又は教職に関する科目(→詳細はP82参照)

免許法上 最低修得 単位数	免許法施行 規則に定める 科目区分	左記に対応する開設授業科目		
		授業科目	単位数	
			必修	選択
6	国語	国語の内容・構成		2
	算数	算数の内容・構成		2
	生活	生活科の内容・構成	2 ※	
	音楽	子どもの音楽	2	
		音楽（楽器演奏１）		2
		音楽（楽器演奏２）		2
		音楽（楽器演奏３）		2
	図画工作	子どもの造形	2 ※	
	体育	子どもの体育	2	
	これら科目に 含まれる内容 を合わせた内 容に係る科目 その他これら 科目に準ずる 内容の科目			
本学での修得単位数			6	

※「生活科の内容・構成」「子どもの造形」のうち1科目2単位が選択必修となります。

免許法上 最低修得単位数	本学での修得単位数
10	10

「教科又は教職に関する科目」は下記の中から10単位以上修得してください。

- ・「②教職に関する科目37単位」を超えて修得した「教職に関する科目」
- ・「③教科に関する科目6単位」を超えて修得した「教科に関する科目」
- ・「④教科又は教職に関する科目」

⑤免許法施行規則第66条に定める科目
(66条科目→詳細はP 54参照)

免許法上の科目区分		免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法		2	2
体育		2	2
外国語コミュニケーション		2	2
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	数理、データ活用及び人工 知能に関する科目	2	—
	情報機器の操作		2

教育実習

教育実習は、本学が幼稚園に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

※小学校の教職課程をあわせて履修している者は教員・教学支援室の指導に従うこと。

(1) 教育実習園開拓 の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習園の開拓を行う必要があります。実習園の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること
- ② 「保育者論」・「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育の制度と社会」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」・「保育相談論」のうち6単位以上を修得済みであること
- ③ 「保育者論」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」を全て単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること

(2) 教育実習園の開拓

実際の実習園開拓の方法は実習園の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず2年次10月の「開拓説明会」に参加をし、2～3月に複数の園を見学し、検討の上、3年次4月に希望調査票を提出してください。

(3) 教育実習園の決定

実習園の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立園での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定園あるいは、実習日程等については、変更になる場合もありますので、必ず、本人が確認してください。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習園を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「初等教育心理学」・「保育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

(5) 教育実習事前・ 事後指導

「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」は実習年度の科目として扱われますので、実習年度に「教育実習（幼稚園）」「教職実践演習（幼児教育）」とともに履修登録を行います。

(6) 教育実習担当教 員と実習直前の 準備

「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。

い。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習園を訪問し、指導することになっています。そのため、実習の具体的計画（特に責任実習担当日時）が決定したときには、必ず訪問指導担当教員及び保育実習センターに連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、その都度指示に従って忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習園との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください（扱いについてはP 6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習園に対してお礼状を出してください。

また、実習報告書及び教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず保育実習センター（初等教育課程学生は教学支援室）に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習（幼稚園）」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」の第4回指導は、実習報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導（幼稚園）」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習園が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ園にとっては、計画した年間の教育課程、園運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教科に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
A. 認められます。
- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。
従って、例えば「初等教育原理」を「教育原理」の単位に流用することはできません。双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。
- ◆Q 3. 「スポーツ実技」「子どもの生活と英語」の単位は、共通教養・外国語科目に数えられますか？
A. 数えられません。これらは保育士課程に定められた教養科目で、本学の共通教養・外国語科目ではありません。従って、卒業のためには共通教養・外国語科目は別に履修する必要があります。
- ◆Q 4. 幼児教育課程以外の学生は、教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(小学校)2019年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期		心理教育学科 子ども教育専修 初等教育課程生	心理教育学科 子ども教育専修初等教育課程生以外	介護等体験
		登録手続き・教育実習		
1 年 次	4月	子ども教育専修オリエンテーション 学校インターンシップAを履修することが望ましい 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	1年次生向け資格課程オリエンテーション 履修登録 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	介護等体験説明会 申請料を支払い、次年度の体験を登録 社会福祉施設オリエンテーション
	11月			
	3月	新2年次生向け資格課程オリエンテーション	新2年次生向け資格課程オリエンテーション	
2 年 次	4月	受講申請料を支払い、資格課程に登録 学校インターンシップB・Cを履修することが望ましい。 履修カルテ記入 履修登録	学校インターンシップA・B・Cを履修することが望ましい 受講申請料を支払い、資格課程に登録 履修カルテ記入 履修登録	大学の健康診断を受診 特別支援学校オリエンテーション 介護等体験実施 (3月までのどこかで2+5日間)
	5月	☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	
	6月			
	1月	第1回教育実習校開拓説明会 (教育実習希望票提出)	第1回教育実習校開拓説明会 (教育実習希望票提出)	
	3月	教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会	教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会	
3 年 次	4月	履修カルテ記入 履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する		
	5月	教育実習校開拓期限		
	9月 ～ 12月	教育実習事前・事後指導(初等)第1回指導		
	3月	教育実習参加有資格者発表 教育実習事前・事後指導(初等)第2回指導		
4 年 次	4月	履修カルテ記入 大学の健康診断を受診 履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教育実習書類提出		
	4月 ～ 5月	教育実習事前・事後指導(初等)第3回指導		
	6月	教育実習(初等)実施		
	9月	教職・保育実践演習(小・幼・保)		
	10月	教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、免許取得手続きを行う		
	～	教育実習事前・事後指導(初等)第4回指導		
	12月	教職課程判定対象者揭示		
	2月 3月	教職課程判定結果発表 教育職員免許状取得		

1. 教職課程(小学校)の受講と手続き

履修の方法

一般に資格課程のカリキュラムは、独自の履修方式によって学修されるように構成されています。

それぞれの資格にかかわる受講申請は2年次生から、すなわち、大学における学習方法を一応知るようになってから、この課程の学習を始めるように考慮されています。その時点で小学校・幼稚園免許両方もしくは、どちらか一方を取得するように選択します。ただし、小学校・幼稚園免許のための教職課程は、4年間の「目的的培养」になっていますので、1年次開講の科目で履修可能なものは履修しておくことを勧めます。また、学外における教育実習が必修となっており、その実習に参加するためには、それ以前に最低履修科目が定められていて、たとえばその単位が修得できない場合には実習に参加できなくなるというように、学修上の順序性、系統性が厳格に定められています。したがって、教職課程の履修については、各自十分に注意し、努力してください。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照
- 介護等体験 ※ P 11参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 履修に関する注意事項

教職課程(小学校)を申請している者のみ、履修できる科目があります。詳細は「学修の手びき」の現代人間学部心理教育学科子ども教育専修授業一覧表の項目「履修制限」を参照してください。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

教育職員免許状取得に必要な基礎資格、最低修得単位数及び介護等体験

教育職員免許状（小学校一種）を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①（基礎資格）、②～⑤（最低修得単位数）及び⑥（介護等体験）それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること（学部を卒業することによって得られます）

②教科及び教科の指導法に関する科目※2023年度入学生用（→詳細はP60参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低 修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	国語の内容・構成	2	
	社会		社会科の内容・構成 1		2
	算数		社会科の内容・構成 2		2
	理科		算数の内容・構成	2	
	生活		理科の内容・構成	2 ※ a	
	音楽		生活科の内容・構成	2	
	図画工作		音楽（楽器演奏 1）	2	
	家庭		子どもの造形		2
	体育		家庭科の内容・構成	2 ※ a	
	外国語		子どもの体育		2
各教科の指導法（情報通信 技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		小学校英語の研究		2
	社会		初等教科教育法（国語）	2	
	算数		初等教科教育法（社会）	2	
	理科		初等教科教育法（算数）	2	
	生活		初等教科教育法（理科）	2	
	音楽		初等教科教育法（生活）	2	
	図画工作		初等教科教育法（音楽）	2	
	家庭		初等教科教育法（図画工作）	2	
	体育		初等教科教育法（家庭）	2	
	外国語		初等教科教育法（体育）	2	
上記 2 つの事項を合わせた内容に係る科目		初等教科教育法（英語）	2		
本学での修得単位数			30		

※ a「理科の内容・構成」「家庭科の内容・構成」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。

②教科及び教科の指導法に関する科目※2019～2022年度入学生用（→詳細はP61参照）

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低 修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
			授業科目	単位数	
				必修	選択
教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	国語の内容・構成	2	
	社会		社会科の内容・構成 1		2
	算数		社会科の内容・構成 2		2
	理科		算数の内容・構成	2	
	生活		理科の内容・構成	2 ※ c	
	音楽		生活科の内容・構成	2	
	図画工作		音楽（楽器演奏 1） ※ b 子どもの音楽 ※ b	2	
	家庭		子どもの造形		2
	体育		家庭科の内容・構成	2 ※ c	
	外国語		子どもの体育		2
各教科の指導法（情報通信 技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）		小学校英語の研究		2
	社会		初等教科教育法（国語）	2	
	算数		初等教科教育法（社会）	2	
	理科		初等教科教育法（算数）	2	
	生活		初等教科教育法（理科）	2	
	音楽		初等教科教育法（生活）	2	
	図画工作		初等教科教育法（音楽）	2	
	家庭		初等教科教育法（図画工作）	2	
	体育		初等教科教育法（家庭）	2	
	外国語		初等教科教育法（体育）	2	
上記 2 つの事項を合わせた内容に係る科目		初等教科教育法（英語）	2		
		本学での修得単位数	30		

※ b「音楽（楽器演奏 1）」「子どもの音楽」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。
※ c「理科の内容・構成」「家庭科の内容・構成」のうち 1 科目 2 単位が選択必修となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等※2019～2023年度入学生共通

(→詳細は2019～2022年度入学生はP 61参照／2023年度入学生はP 60参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上 最低修得 単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	必修 選択
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理※ d	2	
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		初等教育の制度と社会	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		初等教育心理学 発達心理学	2	2
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		児童への特別支援教育	2	
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	10	初等道徳教育論	2	
	・総合的な学習の時間の指導法		初等特別活動論および総合的な学習の時間	2	
	・特別活動の指導法		初等教育方法(情報通信技術の活用含む)※ e (2021年度までは「初等教育方法」)	2	
	・教育の方法及び技術		初等生徒指導論	2	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		初等教育相談	2	
	・生徒指導の理論及び方法		教育実習事前・事後指導(初等)	1	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育実習(初等)	4	
教育実習	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。の理論及び方法	5	教職・保育実践演習(小・幼・保)	2	
教職実践演習		2			
計		27		29	2

※ d 教育原理は3000番台(心理教育学科)科目。

※ e 「初等教育方法」を履修済みの場合は「初等教育方法(情報通信技術の活用含む)」を履修する必要はありません。

④大学が独自に設定する科目※2019～2023年度入学生共通

(→詳細は2019～2022年度入学生はP 61参照／2023年度入学生はP 60参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
2	2

※〈1〉+〈2〉+〈3〉が2単位以上になるように修得してください。

〈1〉=「②教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数^(マイナ) 30単位(免許法上最低修得単位数)

〈2〉=「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数^(マイナ) 27単位(免許法上最低修得単位数)

〈3〉=「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

⑤免許法施行規則第66条に定める科目

(66条科目→詳細はP 54参照)

免許法施行規則に定める科目		免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法		2	2
体育		2	2
外国語コミュニケーション		2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目	2	—
	情報機器の操作		2

⑥介護等体験(→詳細はP 11参照)

教育実習

教育実習は、本学が小学校に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

(1) 教育実習校開拓の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習校の開拓を行う必要があります。実習校の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
- ② 「教職概論」・「初等教育心理学」・「教育原理」・「初等教育の制度と社会」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」・「初等教育相談」のうち6単位以上を修得済みであること。
- ③ 「初等教育心理学」・「教育原理」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位を全て修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ④ 「教育課程論」・「初等教科教育法（国語、算数、理科を含む10単位以上）」・「初等生徒指導論」の単位を全て修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ⑤ 「初等特別活動論および総合的な学習の時間」・「初等道德教育論」・「初等教育相談」のうち2単位以上を修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。

※教育原理は3000番台（心理教育学科）科目。

(2) 教育実習校の開拓

実際の実習校開拓の方法は実習校の地域や公立・私立の別等によって様々であるため、必ず、第1回（2年次の1月）及び第2回（3年次の4月）の「開拓説明会」に参加し、適切な指示を受けてください。

特に母校での実習を希望する者は、3年次4月までには実習希望の旨を伝えて指示を受けてください。

(3) 教育実習校の決定

実習校の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導（初等）」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立校での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

実習予定校あるいは、実習日程等については、変更になる場合もありますので、本人が確認してください。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習校を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「初等教育心理学」・「教育原理※」・「初等教育方法（情報通信技術の活用含む）／初等教育方法」の単位を全て修得済みであること。
 - ② 「教育課程論」・「初等教科教育法（国語、算数、理科を含む10単位以上）」・「初等生徒指導論」の単位を全て修得済みであり、かつ「初等特別活動論および総合的な学習の時間」・「初等道德教育論」・「初等教育相談」のうち2単位以上を修得済みであること。
 - ③ 「教育実習事前・事後指導（初等）」の第1回・2回・3回指導に全て参加済みであること。
- ※①②③を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。

※教育原理は3000番台（心理教育学科）科目。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導（初等）」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習（初等）」「教職・保育実践演習（小・幼・保）」とともに実習年度に行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導（初等）」担当教員が実習生の指導責任者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。また、それとは別に訪問指導担当教員が実習期間中に実習校を訪問し、指導することになっています。そのため、実習期間が決定したり、実習の具体的計画（特に研究授業担当日時）が決定したりしたときには、必ず訪問指導担当教員及び教学支援室に連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、実習開始2週間前から教学支援室で交付しますので忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習校との事前オリエンテーション時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになります。必ず実習参加前に該当する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください（扱いについてはP 6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習校に対してお礼状を出してください。

また、教育実習終了報告書及び教育実習日誌は、実習終了後所定の期間内に必ず教学支援室に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習（初等）」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導（初等）」の第4回指導は、実習報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導（初等）」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習校が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ校にとっては、計画した年間の教育課程、授業運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教科及び教科の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
A. 認められます。

- ◆Q 2. 幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることはできますか？
A. できません。教職科目は、対象が幼児および児童と生徒に区別されて内容が構成されています。
従って、例えば小学校課程「教育原理」を中高課程「教育原理」の単位に流用することはできません。
双方の単位を履修することは実質的に不可能なので、本学では幼稚園・小学校免許の取得と中学・高校免許の取得を並行させることは認めません。

- ◆Q 3. 子ども教育専修幼児教育課程以外の学生は、教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した教職の科目の単位として認められているのは2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職の授業一覧表は年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。

教職課程(中学校・高等学校)2019年度以降入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。教職課程受講申請を3年次に行った場合などは、2年次の予定が3年次に繰り下がるなど、ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	登録手続き・教育実習	教職関係科目	介護等体験 (中学校免許取得者のみ)
1年次	4月 1年次生向け資格課程オリエンテーション	履修登録 「教科に関する専門的事項」 「66条科目」履修開始 ☆1年次生から履修できる科目を登録し履修する	
2年次	3月 新2年次生向け資格課程オリエンテーション		
	4月 受講申請料を支払い、資格課程を受講開始 履修カルテ入力	履修登録 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」 「教育の基礎的理解に関する科目等」履修開始 ☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	
	11月		介護等体験説明会 申請料を支払い、次年度の体験を登録
	1月 第1回教育実習校開拓説明会		
	3月 教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会		社会福祉施設オリエンテーション
3年次	4月 履修カルテ入力	履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する	大学の健康診断を受診
	5月		特別支援学校オリエンテーション
	7月 教育実習校開拓期限		介護等体験実施 (3月までのどこかで2 + 5日間)
	10月 「教育実習事前・事後指導（中高）」第1回指導 和光中高授業参観		
	3月 教育実習有資格者発表 「教育実習事前・事後指導（中高）」第2回指導		
4年次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 教育実習書類提出	履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する	
	5月 「教育実習事前・事後指導（中高）」第3回指導 教育実習実施 「教育実習事前・事後指導（中高）」第4回指導		
	9月	教職実践演習	
	10月 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、手続きを行う		
	12月 教職課程判定対象者掲示		
	2月 教職課程判定結果発表		
	3月 教育職員免許状取得		

1. 教職課程(中学校・高等学校)の受講と手続き

履修の方法

一般に資格課程のカリキュラムは、独自の履修方式によって学修されるように構成されています。

それぞれの資格にかかわる受講申請は2年次生から、すなわち、大学における学習方法を一応知るようになってから、この課程の学習を始めるように考慮されています。教職課程では、学外における教育実習が必修となっており、その実習に参加するためには、それ以前に最低履修科目が定められていて、たとえばその単位が修得できない場合には実習に参加できなくなるというように、学修上の順序性、系統性が厳格に定められています。本学の教職課程は、前項の特色を反映して、原則として3年間で履修するように設定されています。したがって、教職課程の履修については、各自十分に注意し、努力してください。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照
- 介護等体験(中学校免許取得者のみ) ※ P 11参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの表の②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 教職課程専用科目に関する注意

資格課程のためだけに開講されている科目(コード番号8000番台の科目)は、一切卒業所要単位にはなりません。また、教職課程を申請していない者は、これらの科目を履修することはできません。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

教育職員免許状取得に必要な基礎資格、最低修得単位数及び介護等体験

教育職員免許状(中学校教諭一種・高等学校教諭一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記の①(基礎資格)、②～⑤(最低修得単位数)及び⑥(介護等体験)それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)

②教科及び教科の指導法に関する科目(→詳細はP62、P64～P79参照)

免許法施行規則に定める科目区分等	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
教科に関する専門的事項	中学28 高校24	中学28～44 高校24～28
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		教科によって異なります(教科教育法 中学8単位、高校4単位含む※)
上記2つの事項を合わせた内容に係る科目		

※教科教育法は、中学校社会科は「社会科・地歴科教育法」(4単位)及び「社会科・公民科教育法」(4単位)の計8単位を修得しなければなりません。社会科以外の中学校の教科については、各科教育法「1」、「2」の計8単位を修得しなければなりません。高校については、各科教育法(「1」と「2」がある場合には「1」)の4単位が最低修得単位数となります。

③教育の基礎的理解に関する科目等(→詳細はP62～P63参照)

免許法施行規則に定める科目区分等		免許法上最低修得単位数	左記に対応する開設授業科目		
科目名	各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	10	教師論	2	*a 教育原理は8000番台科目。
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理*a	4	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育心理学	2	
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育概論	2	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		道徳教育論	2	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		総合的な学習の時間の指導法	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法(中学校免許取得希望者のみ必修)	中学10 高校8	特別活動論	2	*b 2022年度以降入学生のみ必修。
	・総合的な学習(探究)の時間の指導法		教育方法論	2	
	・特別活動の指導法		情報技術活用論*b	2	
	・教育の方法及び技術		生徒・進路指導論	2	
	・情報通信技術を活用した教育に関する理論及び方法		教育相談論	2	
	・生徒指導の理論及び方法		教育実習事前・事後指導(中高)	中学5 高校3	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育実習	2	
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教職実践演習(中高)	2	
教育実習		中学5 高校3			
教職実践演習		2			
計		中学27 高校23		中学31 高校27	

④大学が独自に設定する科目(→詳細はP62、P64～P79参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
中学4 高校12	中学4(「福祉介護論」必修) 高校12

※中学校免許取得者は「福祉介護論」を必ず履修してください。

※〈1〉+〈2〉+〈3〉が中学4単位以上、高校12単位以上になるように修得してください。

〈1〉=「②教科及び教科の指導法に関する科目」の修得単位数(マイナス) 中学28単位、高校24単位(免許法上最低修得単位数)
 〈2〉=「③教育の基礎的理解に関する科目等」の修得単位数(マイナス) 中学27単位、高校23単位(免許法上最低修得単位数)
 〈3〉=「④大学が独自に設定する科目」の修得単位数

⑤免許法施行規則第66条に定める科目(66条科目→詳細はP54参照)

免許法施行規則に定める科目	免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
日本国憲法	2	2
体育	2	2
外国語コミュニケーション	2	2
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	—
		2

⑥介護等体験

(→詳細はP11参照)

教育実習

(1) 教育実習校開拓の条件

教育実習は、本学が中学校、高等学校に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習校の開拓を行う必要があります。実習校の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
 - ② 「教師論」・「教育心理学」・「教育原理」・「道德教育論」・「特別活動論」・「教育方法論」・「情報技術活用論（2022年度以降入学生のみ）」・「生徒・進路指導論」・「教育相談論」のうち6単位以上修得済みであること。
 - ③ 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合は「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」をすべて単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ※ただし、中学校での教育実習を希望する者は、3年次までに「道德教育論」の単位を修得することが望ましい。
- ※教育原理は8000番台科目。

(2) 教育実習校の開拓

実際の実習校開拓の方法は実習校の種類等によって様々であるため、必ず、第1回（2年次の1月）および第2回（3年次の4月）の「開拓説明会」に参加し、適切な指示を受けてください。開拓時期は年々早まる傾向にあります。特に母校で実習を希望する者は、遅くとも2年次終了までには実習希望の旨を伝えて指示を受けてください。

(3) 教育実習校の決定

実習校の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立学校での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

(4) 教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習校を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合には「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」の単位を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導」の第1回・2回・3回指導にすべて参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。
- ※教育原理は8000番台科目。

(5) 教育実習事前・事後指導

「教育実習事前・事後指導」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。なお、「教育実習事前・事後指導」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習」「教職実践演習」とともに実習年度に行います。

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

「教育実習事前・事後指導」担当教員が実習生の指導責任者・実習評価担当者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。原則として、担当教員が実習期間中に実習校を訪問し、指導することになっています。そのため、実習期間が決定したり、実習の具体的計画（特に教育現場実習や研究授業担当日時）が決定したときには、必ず担当教員に連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、実習開始2週間前から教学支援室で交付しますので忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習校との事前打ち合わせ時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになりますので、実習参加前に欠席する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください（扱いについてはP 6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習校に対してお礼状を出してください。

また、教育実習終了報告書（教育実習体験報告書原稿を兼ねる）は、実習終了後所定の期間内に必ず教学支援室に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導」の第4回指導は、体験報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習校が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ校にとっては、計画した年間の教育課程、授業運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
- A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した科目の単位が教職の単位として認められるのは、2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職のカリキュラムは年度によって変更することがあります。単位を修得した該年度の「資格課程の手びき」を参照してください。
- ◆Q 2. 教科及び教科の指導法に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許の所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
- A. 認められます。
- ◆Q 3. 社会科と国語科を申請していますが、「社会科・地歴科教育法」または「社会科・公民科教育法」の単位を国語科の「大学が独自に設定する科目」の単位として使うことはできますか？
- A. できません。「大学が独自に設定する科目」の単位として認められる科目は当該の申請教科の授業一覧表として開講されている科目に限ります。他教科の教科及び教科の指導法に関する科目を認めることはできません。
- ◆Q 4. 社会科と地歴科を申請しています。教科教育法は「社会科・地歴科教育法」を取得すればよいのですか？
- A. それだけでは不十分です。社会科を申請している場合は、「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」を両方とも取得する必要があります。
- ◆Q 5. 「福祉介護論」の単位の扱いについて教えてください。
- A. 「福祉介護論」の単位は「大学が独自に設定する科目」として認められます。中学校・高等学校両方の免許課程を申請している人は、「福祉介護論」を修得すると、中学校だけでなく、高等学校（商業科と情報科を除く）の「大学が独自に設定する科目」の単位としても認めることができます。
- ◆Q 6. 中学校と高等学校両方の免許課程を申請しているのですが、中学校免許取得者のみ必修の「道徳教育論」を修得した場合、この科目の単位は高等学校免許の単位としては認められないのですか？
- A. 高等学校の「大学が独自に設定する科目」の単位としても認められます（但し、商業科と情報科を除く）。
- ◆Q 7. 社会科と国語科の免許取得に取り組んでいます。この場合、教育実習は2回行う必要がありますか？
- A. 必要ありません。例えば、国語科で教育実習を行えば、社会科の教育実習の単位としても認めることができます。この場合、改めて社会科で教育実習を行う必要はありません。なお、遅くとも実習校開拓時（通常は3年次4月）にどちらの教科で実習を行うかを各自で決断する必要があります。また、実習校への申込手続きが完了した後で、実習教科を変更することはできません。
- ◆Q 8. 教職の単位も履修登録単位数上限に含まれますか？
- A. 教職の単位には、①履修登録単位数上限に含まれないものと、②履修登録単位数上限のうちに含むものがあります。
- ① 履修登録単位数上限に含まれないもの…教職課程専用科目の単位
(科目のコード番号が8000番台の科目)
- ② 履修登録単位数上限のうちに含むもの…それ以外の科目（科目のコード番号が8000番台でない科目）
(66条科目の共通教養科目・外国語科目と、教科及び教科の指導法に関する科目のうち各学科の専門科目として開講されている科目)

教職課程(中学校・高等学校)2018年度以前入学生

免許取得までのモデルスケジュール

通常、多くの学生にあてはまる典型的なスケジュールです。教職課程受講申請を3年次に行った場合などは、2年次の予定が3年次に繰り下がるなど、ケースによりタイミングが異なることがあります。

時期	登録手続き・教育実習	教職関係科目	介護等体験 (中学校免許取得者のみ)
1年次	4月 1年次生向け資格課程オリエンテーション	履修登録 「教科に関する科目」 「66条科目」履修開始 1年次生から履修できる科目を登録し履修する	
2年次	3月 新2年次生向け資格課程オリエンテーション 4月 履修カルテ入力 受講申請料を支払い、資格課程を受講開始 11月 1月 第1回教育実習校開拓説明会 3月 教育実習校開拓有資格者発表 第2回教育実習校開拓説明会	履修登録 「教職に関する科目」履修開始 ☆教育実習校開拓条件を満たすよう履修する	介護等体験説明会 申請料を支払い、次年度の体験を登録 社会福祉施設オリエンテーション
3年次	4月 履修カルテ入力 5月 7月 教育実習校開拓期限 10月 「教育実習事前・事後指導(中高)」第1回指導 和光中高授業参観 3月 教育実習有資格者発表 「教育実習事前・事後指導(中高)」第2回指導	履修登録 ☆教育実習参加条件を満たすよう履修する	大学の健康診断を受診 特別支援学校オリエンテーション 介護等体験実施 (3月までのどこかで2+5日間)
4年次	4月 履修カルテ入力 大学の健康診断を受診 教育実習書類提出 5月 「教育実習事前・事後指導(中高)」第3回指導 教育実習実施 「教育実習事前・事後指導(中高)」第4回指導 9月 10月 教育職員免許状大学一括申請説明会 申請手数料を納入し、手続きを行う 12月 教職課程判定対象者掲示 2月 教職課程判定結果発表 3月 教育職員免許状取得	履修登録 ☆免許要件を満たすよう履修する 教職実践演習	

1. 教職課程(中学校・高等学校)の受講と手続き

履修の方法

一般に資格課程のカリキュラムは、独自の履修方式によって学修されるように構成されています。

それぞれの資格にかかわる受講申請は2年次生から、すなわち、大学における学習方法を一応知るようになってから、この課程の学習を始めるように考慮されています。教職課程では、学外における教育実習が必修となっており、その実習に参加するためには、それ以前に最低履修科目が定められていて、たとえばその単位が修得できない場合には実習に参加できなくなるというように、学修上の順序性、系統性が厳格に定められています。本学の教職課程は、前項の特色を反映して、原則として3年間で履修するように設定されています。したがって、教職課程の履修については、各自十分に注意し、努力してください。

教育職員免許状を取得するには、資格課程の受講申請をした上で、主に以下のことが必要となります。

- 単位の修得
- 教育実習
- 教育職員免許状「大学一括申請」 ※ P 10参照
- 介護等体験(中学校免許取得者のみ) ※ P 11参照

単位の修得

(1) 単位の見方

右ページの表の②～⑤それぞれに定められた単位数を修得することが必要です。

教職関係の修得単位数については、次の原則で確認してください。

修得年度の「資格課程の手びき」に、履修科目が記載されていれば、教職の単位になります。前年度以前に履修した科目については、当該年度の授業一覧表を参照してください。

(2) 教職課程専用科目に関する注意

資格課程のためだけに開講されている科目(コード番号8000番台の科目)は、一切卒業所要単位にはなりません。また、教職課程を申請していない者は、これらの科目を履修することはできません。

※不明な点は、必ず教学支援室で確認してください。

教育職員免許状取得に必要な基礎資格、最低修得単位数及び介護等体験

教育職員免許状(中学校教諭一種・高等学校教諭一種)を取得するためには、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に基づき、下記および次ページの①(基礎資格)、②～⑤(最低修得単位数)及び⑥(介護等体験)それぞれの条件を満たすことが必要です。

①基礎資格…学士の学位を有すること(学部を卒業することによって得られます)

②教職に関する科目(→詳細はP83～P84参照)

免許法施行規則に定める科目区分			左記に対応する開設授業科目	
科目	各科目に含める必要事項	最低修得単位数	授業科目	単位数
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教師論	2
教育の基礎理論に関する科目	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)	6	教育心理学	2
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育原理※2	4
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法※1	中学12 高校6	教科教育法	4～8※3
	・各教科の指導法		道徳教育論	2
	・道徳の指導法(中学校免許取得希望者のみ必修)		特別活動論	2
	・特別活動の指導法		教育方法論	2
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)		情報技術活用論 (2021年までは「情報技術論」)	2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒・進路指導論 (2018年までは「生徒指導の研究」)	2
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む)の理論及び方法		教育相談論	2
教育実習		中学5 高校3	教育実習事前・事後指導(中高) 教育実習	中学5 高校3
(2010年度以降入学者) 教職実践演習		2	教職実践演習(中・高)	2
(2009年度以前入学者) 総合演習		2	総合演習	2
計		中学31 高校23		中学31～35※3 高校27

※1「教育課程の意義及び編成の方法」の内容は教育原理に含まれています。

※2 教育原理は8000番台科目。

※3 社会科のみ「社会科・地歴科教育法」(4単位)及び「社会科・公民科教育法」(4単位)の計8単位を修得しなければなりません。社会以外の教科については、各科教育法(「1」と「2」がある場合には「1」)の4単位が最低修得単位数となります。

③教科に関する科目(→詳細はP85～P100参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
20	20～36 ※教科によって異なります

④教科又は教職に関する科目(→詳細はP83、P85～P100参照)

免許法上最低修得単位数	本学での修得単位数
中学8 高校16	中学8(「福祉介護論」必修) 高校16

※中学校免許取得者は「福祉介護論」を必ず履修してください。

⑤免許法施行規則第66条に定める科目（66条科目→詳細はP54参照）

免許法施行規則に定める科目		免許法上 最低修得単位数	本学での 修得単位数
日本国憲法		2	2
体育		2	2
外国語コミュニケーション		2	2
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	数理、データ活用及び人工 知能に関する科目	2	—
	情報機器の操作		2

⑥介護等体験
（→詳細はP11参照）

教育実習

教育実習は、本学が中学校、高等学校に委託して行うものですから、慎重な配慮と十分な準備が必要です。従って、教育実習に参加するためには、いくつかの条件を満たすことが求められます。

(1)教育実習校開拓
の条件

次年度に教育実習を行うためには早めに教育実習校の開拓を行う必要があります。実習校の開拓を行うことができるのは、以下の条件を満たしている者に限ります。

- ① 3年次以上であること。
 - ② 「教師論」・「教育心理学」・「教育原理」・「道徳教育論」・「特別活動論」・「教育方法論」・「情報技術活用論／情報技術論」・「生徒・進路指導論／生徒指導の研究」・「教育相談論」のうち6単位以上修得済みであること。
 - ③ 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合は「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」をすべて単位修得済み、または、その年度中に単位修得見込みであること。
- ※ただし、中学校での教育実習を希望する者は、3年次までに「道徳教育論」の単位を修得することが望ましい。
- ※教育原理は8000番台科目。

(2)教育実習校の開拓

実際の実習校開拓の方法は実習校の種類等によって様々であるため、必ず、第1回（2年次の1月）および第2回（3年次の4月）の「開拓説明会」に参加し、適切な指示を受けてください。開拓時期は年々早まる傾向にあります。特に母校で実習を希望する者は、遅くとも2年次終了までには実習希望の旨を伝えて指示を受けてください。

(3)教育実習校の決定

実習校の最終決定および実習日程等については、実習前年度3月に実施する「教育実習事前・事後指導」の第2回指導でお知らせします。なお、東京都内の公立学校での実習を希望する者については、実習前年度の12月に掲示で呼び出しの上、別途通知します。

(4)教育実習参加条件

以下の条件を満たしていない者は、実習校を開拓済みであっても教育実習には参加できません。

- ① 「教育心理学」・「教育原理」・実習教科の「各科教育法（「1」と「2」がある場合には「1」のみ、社会科の場合には「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」両方）」の単位を修得済みであること。
 - ② 「教育実習事前・事後指導」の第1回・2回・3回指導にすべて参加済みであること。
- ※①②を満たしていても実習に赴くのにふさわしくないと総合的に判断される場合には教育実習には参加できません。
- ※教育原理は8000番台科目。

(5)教育実習事前・
事後指導

「教育実習事前・事後指導」では、実習前年度より、実習年度にかけて計4回の指導を行います。4回すべてに参加しない場合には、単位の修得ができず、免許の取得もできません。な

(6) 教育実習担当教員と実習直前の準備

お、「教育実習事前・事後指導」は実習年度の科目として扱われますので、履修登録は「教育実習」「教職実践演習」とともに実習年度に行います。

「教育実習事前・事後指導」担当教員が実習生の指導責任者・実習評価担当者となります。この教員からは、教育実習に関する指導を受けることとなるので連絡を絶やさないようにしてください。原則として、担当教員が実習期間中に実習校を訪問し、指導することになっています。そのため、実習期間が決定したり、実習の具体的計画（特に教育現場実習や研究授業担当日時）が決定したときには、必ず担当教員に連絡してください。

また、実習日誌などの教育実習に必要な書類は、実習開始2週間前から教学支援室で交付しますので忘れずに受け取ってください。なお、これらの書類については実習校との事前打ち合わせ時に提出を求められる場合がありますので、早めに受け取る必要がある場合は、教学支援室で相談してください。

(7) 教育実習中の授業

実習期間中は、大学の授業を欠席することになりますので、実習参加前に欠席する授業の担当教員に教育実習に行く旨を申し出てください。必要な者に対しては、実習終了後に「教育実習参加証明書（非欠席扱いのお願い）」を交付しますので教学支援室で手続きを行ってください（扱いについてはP 6「実習参加について（2）出席・成績・評価の扱い」を参照）。

(8) 教育実習終了後

実習終了後には、お世話になった実習校に対してお礼状を出してください。

また、教育実習終了報告書（教育実習体験報告書原稿を兼ねる）は、実習終了後所定の期間内に必ず教学支援室に提出してください。未提出の場合は実習が終了したことにならず、「教育実習」の単位も修得できません。

なお、「教育実習事前・事後指導」の第4回指導は、体験報告会という形で行います。指導に従って必ず指定の日時に出席し報告を行ってください。報告会を欠席した場合には、「教育実習事前・事後指導」の単位修得ができなくなるため、教育職員免許状も取得できません。

(9) 実習辞退

実習校が決定した後に教育実習を辞退することは原則としてできません。受け入れ校にとっては、計画した年間の教育課程、授業運営のプランに支障をきたし、受け入れ準備や体制作りに費やした努力や貴重な時間を無駄にすることになり、また、次年度以降の実習生の受け入れに多大な迷惑をかけ、当該年度の全教育実習計画にも支障をきたすことがあるからです。

病気等どうしてもやむをえない事情があつて実習を辞退する場合は、教育実習担当教員に相談の上、至急教学支援室へ連絡して指示に従ってください。

2. よくある質問

- ◆Q 1. 教職課程は2年次から履修が始まりますが、1年次の時に修得した科目の単位は、教職の単位として認められますか？
- A. 認められます。ただし、その場合は1年次に配付された「資格課程の手びき」の教職課程の授業一覧表に記載されている科目に限ります。同様に、2年次で修得した科目の単位が教職の単位として認められるのは、2年次に配付された「資格課程の手びき」に記載されている科目に限ります。教職のカリキュラムは年度によって変更することがあります。単位を修得した該当年度の「資格課程の手びき」を参照してください。
- ◆Q 2. 教科に関する科目で「重複履修可」となっている同一科目を2回修得したら、教員免許の所要単位として2回分の単位が認められるのですか？
- A. 認められます。
- ◆Q 3. 社会科と国語科を申請していますが、「社会科・地歴科教育法」または「社会科・公民科教育法」の単位を国語科の「教科又は教職に関する科目」の単位として使うことはできますか？
- A. できません。「教科又は教職に関する科目」の単位として認められる科目は当該の申請教科の授業一覧表として開講されている科目に限ります。他教科の教科教育法や他教科の「教科に関する科目」を認めることはできません。
- ◆Q 4. 社会科と地歴科を申請しています。教科教育法は「社会科・地歴科教育法」を取得すればよいのですか？
- A. それだけでは不十分です。社会科を申請している場合は、「社会科・地歴科教育法」および「社会科・公民科教育法」を両方とも取得する必要があります。
- ◆Q 5. 「福祉介護論」の単位の扱いについて教えてください。
- A. 「福祉介護論」の単位は「教科又は教職に関する科目」として認められます。中学校・高等学校両方の免許課程を申請している人は、「福祉介護論」を修得すると、中学校だけでなく、高等学校（商業科と情報科を除く）の「教科又は教職に関する科目」の単位としても認めることができます。
- ◆Q 6. 中学校と高等学校両方の免許課程を申請しているのですが、中学校免許取得者のみ必修の「道徳教育論」を修得した場合、この科目の単位は高等学校免許の単位としては認められないのですか？
- A. 高等学校の「教科又は教職に関する科目」の単位としても認められます（但し、商業科と情報科を除く）。
- ◆Q 7. 社会科と国語科の免許取得に取り組んでいます。この場合、教育実習は2回行う必要がありますか？
- A. 必要ありません。例えば、国語科で教育実習を行えば、社会科の教育実習の単位としても認めることができます。この場合、改めて社会科で教育実習を行う必要はありません。なお、遅くとも実習校開拓時（通常は3年次4月）にどちらの教科で実習を行うかを各自で決断する必要があります。また、実習校への申込手続きが完了した後で、実習教科を変更することはできません。
- ◆Q 8. 教職の単位も履修登録単位数上限に含まれますか？
- A. 教職の単位には、①履修登録単位数上限に含まれないものと、②履修登録単位数上限のうちに含むものがあります。
- ① 履修登録単位数上限に含まれないもの…教職課程専用科目の単位
(科目のコード番号が8000番台の科目)
- ② 履修登録単位数上限のうちに含むもの…それ以外の科目（科目のコード番号が8000番台でない科目）
(66条科目の共通教養科目・外国語科目と、教科に関する科目のうち各学科の専門科目として開講されている科目)

教職課程 授業一覧表

全入学年度 全校種（幼・小・中・高）・全教科 共通

教育職員免許法施行規則第66条に定める科目…………… P 54

教職課程専用科目（8000番台科目）…………… P 55

2019年度以降入学生授業一覧表

幼稚園課程、小学校課程、中学校・高等学校課程 … P 57

2018年度以前入学生授業一覧表

幼稚園課程、中学校・高等学校課程…………… P 81

2023年度 教職課程(幼・小・中・高)66条科目 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表に示す科目は教職課程においては「66条科目」として数えられます。
各科目の履修条件・休講等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1000番台の科目→共通教養課程を参照
下表の2000番台の科目→外国語課程を参照
下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照
下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照
下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55)を参照

対象＝幼稚園・小学校・中学校・高校 教職課程受講者

教育職員免許法施行規則第66条に定める科目									
免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2020年度～2022年度開講			
		コード番号	科目	[授業]名	単位	科目	[授業]名	単位	
2単位 憲国日本	必修	1112	法と人権(日本国憲法2単位を含む)		4	法と人権(日本国憲法2単位を含む)		4	
		1113	現代社会と憲法(日本国憲法2単位を含む)		4	現代社会と憲法(日本国憲法2単位を含む)		4	
		1037～1038	スポーツ文化(テニス1,2)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(テニス1,2)		各1	
		1039～1041	スポーツ文化(卓球1,2,3)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(卓球1,2,3)		各1	
		1042～1045	スポーツ文化(バレーボール1,2,3,4)		各1	【2020年度～2022年度開講】スポーツ文化(バレーボール1,2,3) 【2022年度開講】スポーツ文化(バレーボール4)		各1	
		1046～1047	スポーツ文化(バスケットボール1,2)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(バスケットボール1,2)		各1	
		1048～1050	スポーツ文化(バドミントン1,2,3)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(バドミントン1,2,3)		各1	
		1051～1052	スポーツ文化(サッカー1,2)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(サッカー1,2)		各1	
		1053～1054	スポーツ文化(フットサル1,2)		各1	【2022年度開講】 スポーツ文化(フットサル1,2)		各1	
		1055～1056	スポーツ文化(ゴルフ1,2)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(ゴルフ1,2)		各1	
		1057～1058	スポーツ文化(フィットネス1,2)		各1	【2022年度開講】 スポーツ文化(フィットネス1,2)		各1	
		1059～1060	スポーツ文化(障がい者スポーツ1,2)		各1	【2020年度～2022年度開講】 スポーツ文化(障がい者のスポーツ1,2)		各1	
		1061～1062	スポーツ文化(スポーツレクリエーション1,2)		各1	【2022年度開講】 スポーツ文化(スポーツレクリエーション1,2)		各1	
2単位 体育	選択必修	1063	スポーツ文化(ボルダリング)		1	【2022年度開講】 スポーツ文化(ボルダリング)		1	
		3454～3456	スポーツ実技 【※幼稚園・小学校課程のみ】 保育士課程・幼稚園課程・小学校課程より 1課程以上の受講申請がある学生のみ履修可		各1	スポーツ実技【※幼稚園・小学校課程のみ】		1	
		5425～5428	英語で語る1,2,3,4		各2	英語で語る1,2,3,4		各2	
		2001～2096	英語A1,B1～英語A50,B50		各1	【2020年度～2022年度開講】 英語A1,B1～英語A50,B50		各1	
		2101～2110	英語初級A1,B1～初級A5,B5		各1	【2020年度～2022年度開講】 英語初級A1,B1～初級A5,B5		各1	
		2111～2136	英語中級A1,B1～中級A13,B13		各1	【2020年度～2022年度開講】 英語中級A1,B1～中級A13,B13		各1	
		2137～2138	英語上級A1,B1～上級A2,B2		各1	【2020年度～2022年度開講】 英語上級A1,B1～上級A2,B2		各1	
		2251～2254	中国語中級A1,B1～中級A2,B2		各1	【2020年度～2022年度開講】 中国語中級A1,B1～中級A2,B2		各1	
		2351～2352	朝鮮語中級A1,B1		各1	【2020年度～2022年度開講】 朝鮮語中級A1,B1		各1	
		2361～2362	朝鮮語上級A1,B1 【※小学校課程除く】		各1	【2020年度～2022年度開講】 朝鮮語上級A1,B1【※小学校課程除く】		各1	
		2451～2452	フランス語中級A1,B1		各1	【2020年度～2022年度開講】 フランス語中級A1,B1		各1	
		2551～2552	ドイツ語中級A1,B1		各1	【2020年度～2022年度開講】 ドイツ語中級A1,B1		各1	
		2651～2652	ロシア語中級A1,B1 【※小学校課程除く】		各1	【2020年度～2022年度開講】 ロシア語中級A1,B1【※小学校課程除く】		各1	
2単位 外国語コミュニケーション	選択必修	2751～2752	イタリア語中級A1,B1		各1	【2020年度～2022年度開講】 イタリア語中級A1,B1		各1	
		2851～2852	スペイン語中級A1,B1 【※小学校課程除く】		各1	【2020年度～2022年度開講】 スペイン語中級A1,B1【※小学校課程除く】		各1	
		3484～3485	子どもの生活と英語【※幼稚園課程のみ】 保育士課程・幼稚園課程より 1課程以上の受講申請がある学生のみ履修可		各2	子どもの生活と英語 【※幼稚園課程生のみ】		2	
2単位 情報機器	選択必修	8591～8593, 8602	情報機器の操作		各2	【2020年度～2022年度開講】 情報機器の操作		各2	

2023年度 教職課程専用科目 授業一覧表

下表と各課程の授業一覧表を照らし合わせて、履修計画を立てること。

注1) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注2) 人数制限(抽選)優先条件とは…「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注3) 時間割外オンラインとは……全週の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日6限までに課題提出する授業です。

注4) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝幼稚園・小学校・中学校・高校 教職課程受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オ ン ラ イ ン 時 間 割 外	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8591	情報機器の操作[1]	人数制限(抽選)	有	前期	2	―	―	2	3	4	立 野 貴 之	×	
8592	情報機器の操作[2]	人数制限(抽選)	有	後期	2	―	―	2	3	4	立 野 貴 之	×	
8593	情報機器の操作[3]	―	―	後期	2	○	―	2	3	4	等 々 力 賢	×	
8602	情報機器の操作[4]	人数制限(抽選)	有	後期	2	―	―	2	3	4	立 野 貴 之	×	

※「情報機器の操作」の履修登録・単位認定は1授業のみ。

※「情報機器の操作」は人数制限(抽選)科目です。履修希望者は掲示の指示に従ってください。なお、4年次生の履修を優先とします。

対象＝全学科の社会科・地理歴史科・公民科受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オ ン ラ イ ン 時 間 割 外	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8598	人文地理学	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	阿 部 恵 伯	×	
8599	地誌	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	阿 部 恵 伯	×	
8600	自然地理学	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	井 上 宏 昭	×	
8603	哲学概論	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	伊 吹 浩 一	×	

対象＝現代社会学科の社会科・地理歴史科・公民科受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オ ン ラ イ ン 時 間 割 外	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8594	日本史概説	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	福 井 紳 一	×	
8596	外国史概説	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	稲 田 真 乗	×	
8601	法律学(国際法を含む)	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	藤 本 俊 明	×	

対象＝経済学科の社会科・地理歴史科受講者

授 業 コ ー ド	科 目 [授 業] 名	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	単 位 数	オ ン ラ イ ン 時 間 割 外	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8595	日本史概説	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	蔭 木 達 也	×	
8597	外国史概説	人数制限(抽選)	有	通年	4	―	―	2	3	4	日 臺 健 雄	×	

※上記の科目は全て卒業所要単位数に含まれない。履修計画の際には充分注意すること。

2019年度以降入学生 授業一覧表

幼稚園課程

心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園…………… P 58

小学校課程

心理教育学科 子ども教育専修 小学校…………… P 60

中学校・高等学校課程

【全学科共通】教育の基礎的理解に関する科目等、各教科の指導法… P 62

【全教科共通】教育実習事前・事後指導、教育実習…………… P 63

現代社会学科 社会科・地理歴史科・公民科…………… P 64

人間科学科 保健体育科…………… P 67

総合文化学科 国語科・英語科…………… P 69

芸術学科 美術科…………… P 73

経済学科 社会科・地理歴史科・公民科…………… P 75

経営学科 商業科・情報科…………… P 78

2023年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象＝2023年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択/選択必修	コード番号	2023年度開講					2022年度開講			2021年度開講			2020年度開講		
		科目	授業	名	単位	重複	科目	授業	名	科目	授業	名	科目	授業	名
幼稚園 専修 20単位	必修	3464	保育原理		2	×									
	必修	未開講	保育者論		2	—									
	必修	未開講	初等教育の制度と社会		2	—									
	1科目 選択必修	3423	初等教育心理学[1]		2	×									
		休講	初等教育心理学[2]		2	—									
	選択	3401	発達心理学		2	×	○								
	1科目 選択必修	休講	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]		2	—									
		休講	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]		2	—									
	必修	未開講	保育カリキュラム論		2	—									
	1科目 選択必修	3405	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]		2	×									
		3406	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]		2	×									
	1科目 選択必修	休講	子ども理解と保育・教育相談[1]		2	—									
		休講	子ども理解と保育・教育相談[2]		2	—									
	選択	休講	初等教育相談		2	—									
	1科目 選択必修	未開講	●教育実習事前・事後指導（初等）[1]		1	—									
		未開講	教育実習事前・事後指導（初等）[2]		1	—									
		未開講	教育実習事前・事後指導（初等）[3]		1	—									
	1科目 選択必修	未開講	●教育実習（初等）[1]		4	—									
		未開講	教育実習（初等）[2]		4	—									
		未開講	教育実習（初等）[3]		4	—									
	1科目 選択必修	未開講	●教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]		2	—									
		未開講	教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]		2	—									
		未開講	教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]		2	—									

領域及び保育内容の指導法に関する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2023年度開講					2022年度開講			2021年度開講			2020年度開講		
		科目	授業	名	単位	重複	科目	授業	名	科目	授業	名	科目	授業	名
幼稚園 専修 20単位	必修	3604	子どもと健康		1	×									
	必修	3602	子どもと人間関係		1	×									
	必修	3603	子どもと環境		1	×									
	必修	3601	子どもとことば		1	×									
	1科目 選択必修	未開講	子どもと音楽表現[1]		2	—									
		未開講	子どもと音楽表現[2]		2	—									
		未開講	子どもと音楽表現[3]		2	—									
		未開講	子どもと音楽表現[4]		2	—									
		未開講	子どもと音楽表現[5]		2	—									
	選択	3613	音楽表現1[1]		1	×									
		3614	音楽表現1[2]		1	×									
		3615	音楽表現1[3]		1	×									
		3616	音楽表現1[4]		1	×									
		未開講	音楽表現1[5]		1	—									
	選択	3618	音楽表現2[1]		1	×									
		3619	音楽表現2[2]		1	×									
		3620	音楽表現2[3]		1	×									
		3621	音楽表現2[4]		1	×									
		未開講	音楽表現2[5]		1	—									
	1科目 選択必修	3605	子どもと造形表現[1]		2	×									
		3606	子どもと造形表現[2]		2	×									
		3607	子どもと造形表現[3]		2	×									
	1科目 選択必修	未開講	保育内容（健康）[1]		2	—									
		未開講	保育内容（健康）[2]		2	—									
	1科目 選択必修	3535	保育内容（人間関係）[1]		2	×									
		3536	保育内容（人間関係）[2]		2	×									
		未開講	保育内容（人間関係）[3]		2	—									
	1科目 選択必修	未開講	保育内容（生活と環境）[1]		2	—									
		未開講	保育内容（生活と環境）[2]		2	—									
		未開講	保育内容（生活と環境）[3]		2	—									
	1科目 選択必修	休講	保育内容（ことば）[1]		2	—									
		休講	保育内容（ことば）[2]		2	—									
		休講	保育内容（ことば）[3]		2	—									
	1科目 選択必修	未開講	保育内容（表現）[1]		2	—									
		未開講	保育内容（表現）[2]		2	—									
		未開講	保育内容（表現）[3]		2	—									
	1科目 選択必修	未開講	保育内容総論[1]		2	—									
		未開講	保育内容総論[2]		2	—									
		休講	保育内容総論[3]		2	—									

大学が独自に設定する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2023年度開講					2022年度開講			2021年度開講			2020年度開講		
		科目	授業	名	単位	重複	科目	授業	名	科目	授業	名	科目	授業	名
幼稚園 専修 14単位	選択 科目	未開講	発達障がい基礎		2	—									
		休講	発達とコミュニケーション		2	—									
		未開講	遊びの研究		2	—									
		3121	保育学		2	×	○								
		休講	保育記録の研究		2	—									
		休講	世界の教育と子育て		2	—									
		未開講	グローバル化と教育		2	—									
		3196	学校インターンシップA		2	×									
		3199	学校インターンシップD		4	○									
		未開講	保育インターンシップ[1]		2	—									
		休講	保育インターンシップ[2]		2	—									
		未開講	乳児保育[1]		2	—									
		未開講	乳児保育[2]		2	—									
		未開講	乳児保育[3]		2	—									

2024年度以降
順次掲載され
ていきます。

2023年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象＝2019年度～2022年度入学生

教育職員免許法施行規則6条に定める科目（本冊子P54参照）

3単位 ①本国語法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

各科目の履修条件等は「学修の手引き」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

学年・学期	履修条件 単位	コード番号	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講								
			科目	授業	名	単位	重複 修得可能 科目との関係	科目	授業	名	単位	重複 修得可能 科目との関係	科目	授業	名	単位	重複 修得可能 科目との関係	科目	授業	名	単位	重複 修得可能 科目との関係	
幼稚園 1 単位	必修	3464	保育原理			2	×	保育原理			2	×	保育原理			2	×	保育原理			2	×	×
	必修	3486	保育者論			2	×	保育者論			2	×	保育者論			2	×	保育者論			2	×	×
	必修	3458	初等教育の制度と社会			2	×	初等教育の制度と社会			2	×	初等教育の制度と社会			2	×	初等教育の制度と社会			2	×	×
	1科目 選択必修	3423	初等教育心理学[1]			2	×	初等教育心理学[1]			2	×	初等教育心理学[1]			2	×	初等教育心理学			2	×	×
	体講	初等教育心理学[2]			2	—	初等教育心理学[2]			2	—	初等教育心理学[2]			2	—	初等教育心理学			2	—	×	
	選択	3401	発達心理学			2	×	発達心理学			2	×	発達心理学			2	×	発達心理学			2	×	×
	1科目 選択必修	3503	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[1]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育			2	×	×
	1科目 選択必修	3504	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育[2]			2	×	特別なニーズのある乳幼児への保育と教育			2	×	×
	必修	3426	保育カリキュラム論			2	×	保育カリキュラム論			2	×	保育カリキュラム論			2	×	幼児教育課程論			2	×	×
	1科目 選択必修	3405	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]			2	×	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]			2	×	初等教育方法[1]			2	×	初等教育方法			2	×	×
2 3 単位	選択必修	3406	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]			2	×	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]			2	×	初等教育方法[2]			2	×	初等教育方法			2	×	×
	1科目 選択必修	3519	子ども理解と保育・教育相談[1]			2	×	子ども理解と保育・教育相談[1]			2	×	子ども理解と保育・教育相談[1]			2	×	子ども理解と保育・教育相談[1]			2	×	×
	体講	子ども理解と保育・教育相談[2]			2	—	子ども理解と保育・教育相談[2]			2	—	子ども理解と保育・教育相談[2]			2	—	子ども理解と保育・教育相談[2]			2	—	×	
	選択	3505	初等教育相談			2	×	初等教育相談			2	×	初等教育相談			2	×	初等教育相談			2	×	×
	1科目 選択必修	3542	●教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1	×	●教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1	×	●教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1	×	●教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1	×	×
	体講	教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1	×	教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1	×	教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1	×	教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1	×	×	
	1科目 選択必修	3543	教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1	—	教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1	—	教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1	—	教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1	—	×
	1科目 選択必修	3545	●教育実習（初等）[1]			4	×	●教育実習（初等）[1]			4	×	●教育実習（初等）[1]			4	×	●教育実習（初等）[1]			4	×	×
	体講	教育実習（初等）[2]			4	×	教育実習（初等）[2]			4	×	教育実習（初等）[2]			4	×	教育実習（初等）[2]			4	×	×	
	1科目 選択必修	3546	教育実習（初等）[3]			4	—	教育実習（初等）[3]			4	—	教育実習（初等）[3]			4	—	教育実習（初等）[3]			4	—	×
1 単位	選択必修	3548	●教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]			2	×	●教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]			2	×	●教職実践演習（初等）[1]			2	×	●教職実践演習（初等）[1]			2	×	×
	体講	教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]			2	×	教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]			2	×	教職実践演習（初等）[2]			2	×	教職実践演習（初等）[2]			2	×	×	
	1科目 選択必修	3549	教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]			2	—	教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]			2	—	教職実践演習（初等）[3]			2	—	教職実践演習（初等）[3]			2	—	×

領域及び保育内容の指導法に関する科目

学年・学期 履修条件 単位	コード番号	2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講					2020年度開講										
		科目	目	授業	名	単位	履修条件 （履修単位）	科目	目	授業	名	単位	履修条件 （履修単位）	科目	目	授業	名	単位	履修条件 （履修単位）	科目	目	授業	名	単位	履修条件 （履修単位）		
選択	3428	●国語の内容・構成[1]			1	2	×	●国語の内容・構成[1]			1	2	×	●国語の内容・構成[1]			1	2	×	●国語の内容・構成[1]			1	2	×	×	
	3429	国語の内容・構成[2]			2	2	×	国語の内容・構成[2]			2	2	×	国語の内容・構成[2]			2	2	×	国語の内容・構成[2]			2	2	×	×	
	体講	国語の内容・構成[3]			2	2	—	国語の内容・構成[3]			2	2	—	国語の内容・構成[3]			2	2	—	国語の内容・構成[3]			2	2	—	×	
選択	3433	●算数の内容・構成[1]			1	2	×	●算数の内容・構成[1]			1	2	×	●算数の内容・構成[1]			1	2	×	●算数の内容・構成[1]			1	2	×	×	
	3434	算数の内容・構成[2]			2	2	×	算数の内容・構成[2]			2	2	×	算数の内容・構成[2]			2	2	×	算数の内容・構成[2]			2	2	×	×	
	体講	算数の内容・構成[3]			2	2	—	算数の内容・構成[3]			2	2	—	算数の内容・構成[3]			2	2	—	算数の内容・構成[3]			2	2	—	×	
1科目 選択必修	3441	●子どもの音楽[1]			1	2	×	●子どもの音楽[1]			1	2	×	●子どもの音楽[1]			1	2	×	●子どもの音楽[1]			1	2	×	×	
	3467	子どもの音楽[2]			2	2	×	子どもの音楽[2]			2	2	×	子どもの音楽[2]			2	2	×	子どもの音楽[2]			2	2	×	×	
	3468	子どもの音楽[3]			2	2	×	子どもの音楽[3]			2	2	×	子どもの音楽[3]			2	2	×	子どもの音楽[3]			2	2	×	×	
	3469	子どもの音楽[4]			2	2	×	子どもの音楽[4]			2	2	×	子どもの音楽[4]			2	2	×	子どもの音楽[4]			2	2	×	×	
	3470	子どもの音楽[5]			2	2	×	子どもの音楽[5]			2	2	×	子どもの音楽[5]			2	2	×	子どもの音楽[5]			2	2	×	×	
	3471	子どもの音楽[6]			2	2	×	子どもの音楽[6]			2	2	×	子どもの音楽[6]			2	2	×	子どもの音楽[6]			2	2	×	×	
	3440	●音楽（楽器演奏1）[1]			1	2	×	●音楽（楽器演奏1）[1-1]			1	2	×	●音楽（楽器演奏1）[1]			1	2	×	●音楽（楽器演奏1）[1]			1	2	×	×	
選択	3472	音楽（楽器演奏1）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[2]			2	2	×	×	
	3473	音楽（楽器演奏1）[3]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[3]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[3]			2	2	×	音楽（楽器演奏1）[3]			2	2	×	×	
	体講	音楽（楽器演奏1）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[4]			2	2	—	×	
	体講	音楽（楽器演奏1）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[5]			2	2	—	×	
	体講	音楽（楽器演奏1）[6]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[6]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[6]			2	2	—	音楽（楽器演奏1）[6]			2	2	—	×	
	選択	3477	音楽（楽器演奏2）[1]			1	2	×	音楽（楽器演奏2）[1]			1	2	×	音楽（楽器演奏2）[1]			1	2	×	音楽（楽器演奏2）[1]			1	2	×	×
		3478	音楽（楽器演奏2）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏2）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏2）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏2）[2]			2	2	×	×
体講		音楽（楽器演奏2）[3]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[3]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[3]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[3]			2	2	—	×	
体講		音楽（楽器演奏2）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[4]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[4]			2	2	—	×	
体講		音楽（楽器演奏2）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[5]			2	2	—	音楽（楽器演奏2）[5]			2	2	—	×	
選択	3482	音楽（楽器演奏3）[1]			1	2	○	音楽（楽器演奏3）[1]			1	2	×	音楽（楽器演奏3）[1]			1	2	×	音楽（楽器演奏3）[1]			1	2	×	×	
	3483	音楽（楽器演奏3）[2]			2	2	○	音楽（楽器演奏3）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏3）[2]			2	2	×	音楽（楽器演奏3）[2]			2	2	×	×	
1科目 選択必修	3437	●生活科の内容・構成[1]			1	2	×	●生活科の内容・構成[1]			1	2	×	●生活科の内容・構成[1]			1	2	×	●生活科の内容・構成[1]			1	2	×	×	
	3438	生活科の内容・構成[2]			2	2	×	生活科の内容・構成[2]			2	2	×	生活科の内容・構成[2]			2	2	×	生活科の内容・構成[2]			2	2	×	×	
	体講	生活科の内容・構成[3]			2	2	—	生活科の内容・構成[3]			2	2	—	生活科の内容・構成[3]			2	2	—	生活科の内容・構成[3]			2	2	—	×	
	3442	●子どもの造形[1]			1	2	×	●子どもの造形[1]			1	2	×	●子どもの造形[1]			1	2	×	●子どもの造形[1]			1	2	×	×	
	3443	●子どもの造形[2]			2	2	×	●子どもの造形[2]			2	2	×	●子どもの造形[2]			2	2	×	●子どもの造形[2]			2	2	×	×	
	3444	子どもの造形[3]			2	2	×	子どもの造形[3]			2	2	×	子どもの造形[3]			2	2	×	子どもの造形[3]			2	2	×	×	
	3465	子どもの造形[4]			2	2	×	子どもの造形[4]			2	2	×	子どもの造形[4]			2	2	×	子どもの造形[4]			2	2	×	×	
3466	子どもの造形[5]			2	2	×	子どもの造形[5]			2	2	×	子どもの造形[5]			2	2	×	子どもの造形[5]			2	2	×	×		
1科目 選択必修	3447	子どもの体育[1]			1	2	×	子どもの体育[1]			1	2	×	子どもの体育[1]			1	2	×	子どもの体育[1]			1	2	×	×	
	3448	子どもの体育[2]			2	2	×	子どもの体育[2]			2	2	×	子どもの体育[2]			2	2	×	子どもの体育[2]			2	2	×	×	
	3449	●子どもの体育[3]			2	2	×	●子どもの体育[3]			2	2	×	●子どもの体育[3]			2	2	×	●子どもの体育[3]			2	2	×	×	
1科目 選択必修	3538	保育内容（健康）[1]			1	2	×	保育内容（健康）[1]			1	2	×	保育内容（健康）[1]			1	2	×	保育内容（健康）[1]			1	2	×	×	
	3539	保育内容（健康）[2]			2	2	×	保育内容（健康）[2]			2	2	×	保育内容（健康）[2]			2	2	×	保育内容（健康）[2]			2	2	×	×	
1科目 選択必修	3535	保育内容（人間関係）[1]			1	2	×	保育内容（人間関係）[1]			1	2	×	保育内容（人間関係）[1]			1	2	×	■保育内容（人間関係）[1]			1	2	×	×	
	3536	保育内容（人間関係）[2]			2	2	×	保育内容（人間関係）[2]			2	2	×	保育内容（人間関係）[2]			2	2	×	保育内容（人間関係）[2]			2	2	×	×	
	体講	保育内容（人間関係）[3]			2	2	—	保育内容（人間関係）[3]			2	2	—	保育内容（人間関係）[3]			2	2	—	保育内容（人間関係）[3]			2	2	—	×	
1科目 選択必修	3532	保育内容（生活と環境）[1]			1	2	×	保育内容（生活と環境）[1]			1	2	×	保育内容（生活と環境）[1]			1	2	×	■保育内容（生活と環境）[1]			1	2	×	×	
	体講	保育内容（生活と環境）[2]			2	2	—	保育内容（生活と環境）[2]			2	2	—	■保育内容（生活と環境）[2]			2	2	—	■保育内容（生活と環境）[2]			2	2	—	×	
1科目 選択必修	体講	保育内容（生活と環境）[3]			2	2	—	保育内容（生活と環境）[3]			2	2	—	保育内容（生活と環境）[3]			2	2	—	保育内容（生活と環境）[3]			2	2	—	×	
	3526	保育内容（ことば）[1]			1	2	×	保育内容（ことば）[1]			1	2	×	保育内容（ことば）[1]			1	2	×	■保育内容（ことば）[1]			1	2	×	×	
	3527	保育内容（ことば）[2]			2	2	×	保育内容（ことば）[2]			2	2	×	保育内容（ことば）[2]			2	2	×	■保育内容（ことば）[2]			2	2	×	×	
1科目 選択必修	体講	保育内容（ことば）[3]			2	2	—	保育内容（ことば）[3]			2	2	—	保育内容（ことば）[3]			2	2	—	保育内容（ことば）[3]			2	2	—	×	
	3529	保育内容（表現）[1]			1	2	×	保育内容（表現）[1]			1	2	×	保育内容（表現）[1]			1	2	×	保育内容（表現）[1]			1	2	×	×	
	3530	保育内容（表現）[2]			2	2	×	保育内容（表現）[2]			2	2	×	保育内容（表現）[2]			2	2	×	保育内容（表現）[2]			2	2	×	×	
1科目 選択必修	体講	保育内容（表現）[3]			2	2	—	保育内容（表現）[3]			2	2	—	保育内容（表現）[3]			2	2	—	保育内容（表現）[3]			2	2	—	×	
	3496	保育内容総論[1]			1	2	×	保育内容総論[1]			1	2	×	■保育内容総論[1]			1	2	×	■保育内容総論[1]			1	2	×	×	
1科目 選択必修	体講	保育内容総論[2]			2	2	—	保育内容総論[2]			2	2	—	■保育内容総論[2]			2	2	—	■保育内容総論[2]			2	2	—	×	
	体講	保育内容総論[3]			2	2	—	保育内容総論[3]			2	2	—	保育内容総論[3]			2	2	—	保育内容総論[3]			2	2	—	×	

2023年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 小学校 授業一覧表

対象＝2023年度以降入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P54参照）

※① 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【幼稚園課程申請者】が履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者】が履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

	必修/ 選択/他/ 選択	コード番号	2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講					2020年度開講				
			科目	[授 業]	名	単位	重複	時間割外 オンライン	科目	[授 業]	名	単位	重複	科目	[授 業]	名	単位	重複	科目	[授 業]	名	単位
小 一 種 免	必修	3457	教育原理		2	×																
	必修	3422	教職概論		2	×																
	必修	未開講	初等教育の制度と社会		2	—																
	1科目 選択必修	3423	初等教育心理学[1]		2	×																
	休講		初等教育心理学[2]		2	—																
	選択	3401	発達心理学		2	×	○															
	必修	3173	児童への特別支援教育		2	×																
	必修	未開講	教育課程論		2	—																
	必修	未開講	初等道徳教育論		2	—																
	必修	未開講	初等特別活動論および総合的な学習の時間		2	—																
2 9 単 位	1科目 選択必修	3405	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]		2	×																
	3406	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]		2	×																	
	必修	未開講	初等生徒指導論		2	—																
	必修	休講	初等教育相談		2	—																
	1科目 選択必修	未開講	教育実習事前・事後指導（初等）[1]		1	—																
	未開講	●教育実習事前・事後指導（初等）[2]		1	—																	
	未開講	教育実習事前・事後指導（初等）[3]		1	—																	
	1科目 選択必修	未開講	教育実習（初等）[1]		4	—																
	未開講	●教育実習（初等）[2]		4	—																	
	未開講	●教育実習（初等）[3]		4	—																	
	1科目 選択必修	未開講	教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]		2	—																
	未開講	教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]		2	—																	
	未開講	●教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]		2	—																	

教科及び教科の指導法に関する科目

	必修/ 選択/選択 必修	コード番号	2023年度開講					単位	重複	時間割外 オンライン
			科 目	[授 業]	名					
小 一 種 免 3 0 単 位	必修	未開講	国語の内容・構成[1]				2	—		
	選択	未開講	社会科の内容・構成 1				2	—		
	選択	未開講	社会科の内容・構成 2				2	—		
	必修	3433	算数の内容・構成[1]				2	×		
	1科目 選択必修	未開講	理科の内容・構成				2	—		
		未開講	家庭科の内容・構成[1]				2	—		
		未開講	家庭科の内容・構成[2]				2	—		
	必修	3437	生活科の内容・構成[1]				2	×		
	必修	未開講	音楽（楽器演奏1）[1]				2	—		
	選択	3442	子どもの造形[1]				2	×		
		3443	子どもの造形[2]				2	×		
		3447	●■子どもの体育[1]				2	×		
	選択	3448	●■子どもの体育[2]				2	×		
		3449	子どもの体育[3]				2	×		
	選択	未開講	小学校英語の研究				2	—		
	必修	休講	初等教科教育法（国語）				2	—		
	必修	休講	初等教科教育法（社会）				2	—		
	必修	未開講	初等教科教育法（算数）				2	—		
	必修	休講	初等教科教育法（理科）				2	—		
	必修	未開講	初等教科教育法（生活）				2	—		
1科目 選択必修	未開講	初等教科教育法（音楽）[1]				2	—			
	未開講	初等教科教育法（音楽）[2]				2	—			
1科目 選択必修	未開講	初等教科教育法（図画工作）[1]				2	—			
	未開講	初等教科教育法（図画工作）[2]				2	—			
1科目 選択必修	休講	初等教科教育法（家庭）[1]				2	—			
	休講	初等教科教育法（家庭）[2]				2	—			
必修	未開講	初等教科教育法（体育）				2	—			
必修	休講	初等教科教育法（英語）				2	—			

大学が独自に設定する科目

	必修/ 選択/修 選択	コード番号	2023年度開講					時間割外 オンライン	
			科 目	[授 業]	名	単位	重複		
小 一 種 免 2 単 位	選 択 科 目	3196	学校インターンシップA		2	×			
		未開講	学校インターンシップB		4	—			
		未開講	学校インターンシップC		2	—			
		3199	学校インターンシップD		4	○			
		未開講	障がいの者の学習支援		2	—			
		未開講	学校特別支援インターンシップ		2	—			
		未開講	グローバルゼーションと教育		2	—			
		未開講	発達障がいの基礎		2	—			
		休講	世界の教育と子育て		2	—			

2024年度以降
順次掲載され
ていきます。

2023年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 小学校 授業一覧表

対象＝2019～2022年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

※科目 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【幼稚園課程申請者】が履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者】が履修可の科目です。

教育の基礎的理解に関する科目等

必修/選択/選択必修/選択	コード番号	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
		科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位
小 一 種 免	必修	3457	教育原理		2	×		教育原理			2	×		教育原理			2
	必修	3422	教職概論		2	×		教職概論			2	×		教職概論			2
	必修	3458	初等教育の制度と社会		2	×		初等教育の制度と社会			2	×		初等教育の制度と社会			2
	1科目 選択必修	3423	初等教育心理学[1]		2	×		初等教育心理学[1]			2	×		初等教育心理学[1]			2
	選択必修	3423	初等教育心理学[2]		2	—		初等教育心理学[2]			2	—		初等教育心理学[2]			2
	選択	3401	発達心理学		2	×	○	発達心理学			2	×		発達心理学			2
	必修	3564	児童への特別支援教育		2	×		児童への特別支援教育			2	×		児童への特別支援教育			2
	必修	3425	教育課程論		2	×		教育課程論			2	×		教育課程論			2
	必修	3459	初等道徳教育論		2	×		初等道徳教育論			2	×		初等道徳教育論			2
	必修	3460	初等特別活動論および総合的な学習の時間		2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間			2	×		初等特別活動論および総合的な学習の時間			2
	1科目 選択必修	3405	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]		2	×		初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]			2	×		初等教育方法[1]			2
	選択必修	3406	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]		2	×		初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]			2	×		初等教育方法[2]			2
	必修	3461	初等生徒指導論		2	×		初等生徒指導論			2	×		初等生徒指導論			2
	必修	3505	初等教育相談		2	×		初等教育相談			2	×		初等教育相談			2
2 9 単 位	1科目 選択必修	3542	教育実習事前・事後指導（初等）[1]		1	×		教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1	×		教育実習事前・事後指導（初等）[1]			1
	選択必修	3543	●教育実習事前・事後指導（初等）[2]		1	×		●教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1	×		●教育実習事前・事後指導（初等）[2]			1
	1科目 選択必修	3544	●教育実習事前・事後指導（初等）[3]		1	—		●教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1	—		●教育実習事前・事後指導（初等）[3]			1
	必修	3545	教育実習（初等）[1]		4	×		教育実習（初等）[1]			4	×		教育実習（初等）[1]			4
	必修	3546	●教育実習（初等）[2]		4	×		●教育実習（初等）[2]			4	×		●教育実習（初等）[2]			4
	必修	3547	●教育実習（初等）[3]		4	—		●教育実習（初等）[3]			4	—		●教育実習（初等）[3]			4
	1科目 選択必修	3548	教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]		2	×		教職・保育実践演習（小・幼・保）[1]			2	×		教職実践演習（初等）[1]			2
	選択必修	3549	●教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]		2	×		●教職・保育実践演習（小・幼・保）[2]			2	×		●教職実践演習（初等）[2]			2
	必修	3550	教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]		2	—		●教職・保育実践演習（小・幼・保）[3]			2	—		●教職実践演習（初等）[3]			2

教科及び教科の指導法に関する科目

必修/選択/選択必修/選択	コード番号	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
		科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位
小 一 種 免	1科目 選択必修	3428	国語の内容・構成[1]		2	×		国語の内容・構成[1]			2	×		国語の内容・構成[1]			2
	選択必修	3429	●国語の内容・構成[2]		2	×		●国語の内容・構成[2]			2	×		●国語の内容・構成[2]			2
	選択必修	3430	●国語の内容・構成[3]		2	—		●国語の内容・構成[3]			2	—		●国語の内容・構成[3]			2
	選択	3431	社会科の内容・構成1		2	—		社会科の内容・構成1			2	—		社会科の内容・構成1			2
	選択	3432	社会科の内容・構成2		2	×		社会科の内容・構成2			2	×		社会科の内容・構成2			2
	1科目 選択必修	3433	算数の内容・構成[1]		2	×		算数の内容・構成[1]			2	×		算数の内容・構成[1]			2
	選択必修	3434	●算数の内容・構成[2]		2	×		●算数の内容・構成[2]			2	×		●算数の内容・構成[2]			2
	選択必修	3435	●算数の内容・構成[3]		2	—		●算数の内容・構成[3]			2	—		●算数の内容・構成[3]			2
	1科目 選択必修	3436	理科の内容・構成		2	×		理科の内容・構成			2	×		理科の内容・構成			2
	選択必修	3445	家庭科の内容・構成[1]		2	×		家庭科の内容・構成[1]			2	×		家庭科の内容・構成[1]			2
	選択必修	3446	家庭科の内容・構成[2]		2	×		家庭科の内容・構成[2]			2	×		家庭科の内容・構成[2]			2
	1科目 選択必修	3437	生活科の内容・構成[1]		2	×		生活科の内容・構成[1]			2	×		生活科の内容・構成[1]			2
	選択必修	3438	●生活科の内容・構成[2]		2	×		●生活科の内容・構成[2]			2	×		●生活科の内容・構成[2]			2
	選択必修	3439	●生活科の内容・構成[3]		2	—		●生活科の内容・構成[3]			2	—		●生活科の内容・構成[3]			2
小 一 種 免	1科目 選択必修	3440	音楽（楽器演奏1）[1]		2	×		音楽（楽器演奏1）[1-1]			2	×		音楽（楽器演奏1）[1]			2
	選択必修	3472	●音楽（楽器演奏1）[2]		2	×		●音楽（楽器演奏1）[2]			2	×		●音楽（楽器演奏1）[2]			2
	選択必修	3473	●音楽（楽器演奏1）[3]		2	×		●音楽（楽器演奏1）[3]			2	×		●音楽（楽器演奏1）[3]			2
	選択必修	3474	●音楽（楽器演奏1）[4]		2	—		●音楽（楽器演奏1）[4]			2	—		●音楽（楽器演奏1）[4]			2
	選択必修	3475	●音楽（楽器演奏1）[5]		2	—		●音楽（楽器演奏1）[5]			2	—		●音楽（楽器演奏1）[5]			2
	選択必修	3476	●音楽（楽器演奏1）[6]		2	—		●音楽（楽器演奏1）[6]			2	—		●音楽（楽器演奏1）[6]			2
	1科目 選択	3441	子どもの音楽[1]		2	×		子どもの音楽[1]			2	×		子どもの音楽[1]			2
	選択	3467	●子どもの音楽[2]		2	×		●子どもの音楽[2]			2	×		●子どもの音楽[2]			2
	選択	3468	●子どもの音楽[3]		2	×		●子どもの音楽[3]			2	×		●子どもの音楽[3]			2
	選択	3469	●子どもの音楽[4]		2	×		●子どもの音楽[4]			2	×		●子どもの音楽[4]			2
	選択	3470	●子どもの音楽[5]		2	×		●子どもの音楽[5]			2	×		●子どもの音楽[5]			2
	選択	3471	●子どもの音楽[6]		2	×		●子どもの音楽[6]			2	×		●子どもの音楽[6]			2
	1科目 選択	3442	子どもの造形[1]		2	×		子どもの造形[1]			2	×		子どもの造形[1]			2
	選択	3443	子どもの造形[2]		2	×		子どもの造形[2]			2	×		子どもの造形[2]			2
	選択	3444	子どもの造形[3]		2	×		●子どもの造形[3]			2	×		●子どもの造形[3]			2
3 0 単 位	1科目 選択	3465	●子どもの造形[4]		2	×		●子どもの造形[4]			2	×		●子どもの造形[4]			2
	選択	3466	●子どもの造形[5]		2	×		●子どもの造形[5]			2	×		●子どもの造形[5]			2
	1科目 選択	3447	●子どもの体育[1]		2	×		●子どもの体育[1]			2	×		●子どもの体育[1]			2
	選択	3448	●子どもの体育[2]		2	×		●子どもの体育[2]			2	×		●子どもの体育[2]			2
	選択	3449	子どもの体育[3]		2	×		子どもの体育[3]			2	×		子どもの体育[3]			2
	1科目 選択	3417	小学校英語の研究		2	×		小学校英語の研究			2	×		小学校英語の研究			2
	必修	3506	初等教科教育法（国語）		2	×		初等教科教育法（国語）			2	×		初等教科教育法（国語）			2
	必修	3507	初等教科教育法（社会）		2	×		初等教科教育法（社会）			2	×		初等教科教育法（社会）			2
	必修	3508	初等教科教育法（算数）		2	×		初等教科教育法（算数）			2	×		初等教科教育法（算数）			2
	必修	3509	初等教科教育法（理科）		2	×		初等教科教育法（理科）			2	×		初等教科教育法（理科）			2
	必修	3510	初等教科教育法（生活）		2	×		初等教科教育法（生活）			2	×		初等教科教育法（生活）			2
	1科目 選択必修	3511	初等教科教育法（音楽）[1]		2	×		初等教科教育法（音楽）[1]			2	×		初等教科教育法（音楽）[1]			2
	選択必修	3512	初等教科教育法（音楽）[2]		2	×		初等教科教育法（音楽）[2]			2	×		初等教科教育法（音楽）[2]			2
	1科目 選択必修	3513	初等教科教育法（図画工作）[1]		2	×		初等教科教育法（図画工作）[1]			2	×		初等教科教育法（図画工作）[1]			2
	選択必修	3514	初等教科教育法（図画工作）[2]		2	×		初等教科教育法（図画工作）[2]			2	×		初等教科教育法（図画工作）[2]			2
大 学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	1科目 選択必修	3515	初等教科教育法（家庭）[1]		2	×		初等教科教育法（家庭）[1]			2	×		初等教科教育法（家庭）			2
	選択必修	3516	初等教科教育法（家庭）[2]		2	×		初等教科教育法（家庭）[2]			2	×		初等教科教育法（家庭）			2
	必修	3517	初等教科教育法（体育）		2	×		初等教科教育法（体育）			2	×		初等教科教育法（体育）			2
	必修	3518	初等教科教育法（英語）		2	×		初等教科教育法（英語）			2	×		初等教科教育法（英語）			2

大学が独自に設定する科目

必修/選択/選択必修/選択	コード番号	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
		科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位	重複	時間配分 （単位）	科目	授業	名	単位
小 一 種 免	選択	3196	学校インターンシップA		2	×		学校インターンシップA			2	×		学校インターンシップA			2
	選択	3197	学校インターンシップB		4	○		学校インターンシップB[1]			2	×		学校インターンシップB[1]			2
	選択	3198	学校インターンシップC		2	×		学校インターンシップB[2]			2	×		学校インターンシップB[2]			2
	選択	3199	学校インターンシップD		4	○		学校インターンシップC			2	×		学校インターンシップC			2
	選択	3164	障がい者の学習支援		2	×		障がい者の学習支援			2	×		障がい者の学習支援			2
	2 単 位	3200	学校特別支援インターンシップ		2	○		学校特別支援インターンシップ			2	○		学校特別支援インターンシップ			2
	選択	3416	グローバルセッションと教育		2	×	○	グローバルセッションと教育			2	×		グローバルセッションと教育			2
	選択	3160	発達障がい基礎		2	×		発達障がい基礎			2	×		発達障がい基礎			2
	選択	3161	世界の教育と子育て		2	—		世界の教育と子育て			2	—		世界の教育と子育て			2

2023年度 中学・高校 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科の指導法・大学が独自に設定する科目 授業一覧表

注1) 種別「クラス指定」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは………あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「条件付」とは………授業の備考欄を確認してください。

注4) 種別「人数制限(抽選)」とは………履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注5) 人数制限(抽選) 優先条件とは …「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注6) 時間割外オンラインとは………全週の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日6限までに課題提出する授業です。

注7) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝2019年度以降入学生対象 教職課程(中学校・高校) 全学科・全教科 受講者

教育の基礎的理解に関する科目等															
	必修/ 選択必修/ 選択	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	オン ライ ン	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重複 履修	備 考
									1 年	2 年	3 年	4 年			
中一 種免2 9単位 高一 種免2 5単位	1科目 選択必修	8501	教師論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8502	教師論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	
	1科目 選択必修	8503	教育心理学[1]	2	—	—	前期	○	—	2	3	4	上 野 ま ど か	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8504	教育心理学[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	阿 部 慶 賀	×	
	1科目 選択必修	8505	教育原理[1]	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	山本由美/富樫千紘	×	[1][2]同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8506	教育原理[2]	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	西 村 史 子	×	
	1科目 選択必修	8534	特別支援教育概論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	齋 藤 澄 子	×	[1][2]同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8535	特別支援教育概論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	熊 上 崇	×	
	中学校 1科目 選択必修	8520	★道德教育論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8521	★道德教育論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	
	1科目 選択必修	8536	総合的な学習の時間の指導法[1]	2	人数制限(抽選)	有	集中	—	—	2	3	4	田 中 雄 二	×	[1][2]同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8537	総合的な学習の時間の指導法[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	関 口 武	×	
	1科目 選択必修	8522	特別活動論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	関 口 武	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8523	特別活動論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	関 口 武	×	
	1科目 選択必修	8524	教育方法論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	滝 口 正 樹	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8525	教育方法論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	滝 口 正 樹	×	
	必修	8526	▼情報技術活用論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	立 野 貴 之	×	2022年度以降入学生のみ履修可
	1科目 選択必修	8530	生徒・進路指導論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	中 村 岳 夫	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8531	生徒・進路指導論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	中 村 岳 夫	×	
	1科目 選択必修	8532	教育相談論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	高 坂 康 雅	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
		8533	教育相談論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	中 村 扶 実 子	×	
	必修	(別途)	※教育実習事前・事後指導(中高)	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	(別 途)	×	次ページ参照 中学校教諭免許状取得者 高校教諭免許状のみ取得者
	必修	(別途)	※教育実習 1	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	(別 途)	×	
	必修	(別途)	※教育実習 2	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	(別 途)	×	
	必修	8539	教職実践演習(中高)	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	4	山 本 由 美	×	

各教科の指導法

(取得希望免許の教科教育法必修、中学校必修、高校選択履修)	8507	◆社会科・地歴科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	上野隆生	×	初履第教 回修2育科 授可回実 業。開習 育に 拓校法 に出 席する 会を 除 出資 格、 者 者 の か みつ
	8508	◆社会科・公民科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	上野隆生	×	
	8509	国語科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	津田博幸	×	
	8510	国語科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	黒川孝広	×	
	8511	英語科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	関口昭男	×	
	8512	英語科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	関口昭男	×	
	8514	美術科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	安田早苗	×	
	8515	美術科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	安田早苗	×	
	8516	保健体育科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	制野俊弘	×	
	8517	保健体育科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	浅川俊彦	×	
	8518	商業科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	鈴木岩行	×	
	8519	情報科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	杉本昌昭	×	

大学が独自に設定する科目

中学校必修	8538	★福祉介護論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	伊吹浩一	×	
選択	8116	◎学校経営と学校図書館	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	稲生知子	×	司書教諭課程科目
	8117	◎学校図書館メディアの構成	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山口洋	×	司書教諭課程科目
	8118	◎学習指導と学校図書館	2	—	—	前期	○	—	2	3	4	渡辺光輝	×	司書教諭課程科目
	8106	◎読書と豊かな人間性	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	石澤伊久美	×	司書教諭課程科目
	8119	◎情報メディアの活用	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	松井勇起	×	司書教諭課程科目

◆社会科履修者は、「社会科・地歴科教育法」「社会科・公民科教育法」両方が必修となる。

★中学校教諭免許状取得においては「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目となる。高校教諭免許状取得(商業科と情報科を除く)においては「大学が独自に設定する科目」の選択科目となる。

▼「情報技術活用論[1]」は2022年度以降入学生のみ必修となる。2019～2021年度入学生は履修不可。

※「教育実習事前・事後指導(中高)」、「教育実習」、「教職実践演習(中高)」の3科目は同時履修。

※「教育実習事前・事後指導(中高)」と「教育実習」のうち、いずれか1科目のみ単位修得はできない。

◎「大学が独自に設定する科目」の選択科目となる。

◎司書教諭資格の取得を希望する場合は、別途、司書教諭課程の受講申請が必要となる。

2023年度「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」 授業一覧表

「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」は、実際に教育実習を行う教科と担当教員を確認して登録すること。

注1) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注2) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝2019年度以降入学生対象 教職課程（中学校・高校） 全学科・全教科 受講者

教育の基礎的理解に関する科目等（「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」）

実 習 教 科	授 業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オン ライ ン	時 間 割 外	履修可能学年				担 当 者	重複 履修
									1 年	2 年	3 年	4 年		
社会科 地理歴史科 公民科	8544	教育実習事前・事後指導（中高）[社会・地歴・公民2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	打越正行	×
	8545	教育実習1 [社会2]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	打越正行	×
	8546	教育実習2 [地歴・公民2]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	打越正行	×
	8547	教育実習事前・事後指導（中高）[社会・地歴・公民3]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	稲田圭祐	×
	8548	教育実習1 [社会3]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8549	教育実習2 [地歴・公民3]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
国語科	8550	教育実習事前・事後指導（中高）[国語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	津田博幸	×
	8551	教育実習1 [国語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8552	教育実習2 [国語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
英語科	8553	教育実習事前・事後指導（中高）[英語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	宮崎かすみ	×
	8554	教育実習1 [英語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8555	教育実習2 [英語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
美術科	8558	教育実習事前・事後指導（中高）[美術]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	畑中朋子	×
	8559	教育実習1 [美術]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8560	教育実習2 [美術]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
保健体育科	8561	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育1]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	制野俊弘	×
	8562	教育実習1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8563	教育実習2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8568	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	矢田秀昭	×
	8569	教育実習1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
	8570	教育実習2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
商業科	8564	教育実習事前・事後指導（中高）[商業]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	鈴木岩行	×
	8565	教育実習2 [商業]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×
情報科	8566	教育実習事前・事後指導（中高）[情報]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	杉本昌昭	×
	8567	教育実習2 [情報]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4		×

※「教育実習」は、取得希望の免許の校種により、単位修得しなければならない授業が異なる。履修登録の際に、注意すること。

取得希望教員免許状	単位修得しなければならない授業
中学校/高等学校 両方	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習1 4単位
中学校のみ	
高等学校のみ	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習2 2単位

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 社会科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度～2020年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子 P 62 参照）

2	教師論（2 単位）	教育心理学（2 単位）	教育原理（4 単位）	特別支援教育概論（2 単位）	道徳教育論（2 単位）
9	総合的な学習の時間の指導法（2 単位）	特別活動論（2 単位）	教育方法論（2 単位）		
単	生徒・進路指導論（2 単位）	教育相談論（2 単位）			
位	教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位）	教育実習1（4 単位）	教職実践演習（中高）（2 単位）		

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55、62)を参照

科目名に●が付いている科目は【現代社会学科生のみ履修可】です。現代社会学科以外の学生が、教職課程（現代社会学科・社会科）を履修している場合、初回授業までに教学支援室資格係に申し出た者に限り、履修可となります。

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目 [授 業] 名	単位	開講時期	科目 [授 業] 名	単位	開講時期	科目 [授 業] 名	単位	開講時期	科目 [授 業] 名	単位	開講時期			
40単位	日本史・外国史	必修	8594	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×
		必修	8596	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×
		選択	4811	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A	2	×
			4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×
			休講	アジアにおける民族関係	2	—	現代ヨーロッパ社会論A	2	—	現代ヨーロッパ社会論A	2	—	現代ヨーロッパ社会論A	2	—	現代ヨーロッパ社会論A	2	—
			4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×												
	地理学 (地誌を含む。)	必修	8598	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×
		必修	8599	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×
		必修	8600	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×
		選択	4812	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×
			4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○
			4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○
			4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○
			4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○
			5223	太平洋の文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×
			5224	アフリカの文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×
							太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×
							アフリカの文化と歴史	2	×	アフリカの文化と歴史	2	×	アフリカの文化と歴史	2	×	アフリカの文化と歴史	2	×
	「法学、政治学」	必修	8601	法学 (国際法を含む)	4	×	法学 (国際法を含む)	4	×	法学 (国際法を含む)	4	×	法学 (国際法を含む)	4	×	法学 (国際法を含む)	4	×
		選択	4322	政治社会学	2	○			政治社会学	2	○							
	「社会学、経済学」	1セット 選択必修	4806	セツト ●社会学入門A	2	×	セツト ●社会学入門A	2	×	セツト ●社会学入門A	2	×	セツト ●社会学入門A	2	×	セツト ●社会学入門A	2	×
			4807	●社会学入門B	2	×	●社会学入門B	2	×	●社会学入門B	2	×	●社会学入門B	2	×	●社会学入門B	2	×
		選択	休講	社会学理論	2	—	社会学理論	2	—	福祉社会学A	2	—	現代社会学理論	2	—	現代社会学理論	2	—
			4327	経済と人間社会	2	○	経済と人間社会	2	○	グローバル社会学	2	○	現代社会と階層分化B	2	○	現代社会と階層分化B	2	○
			4826	福祉社会学A	2	×	福祉社会学B	2	×	現代社会とNGO・NPO	2	×	福祉社会学A	2	×	福祉社会学A	2	×
			休講	福祉社会学B	2	—	現代社会とNGO・NPO	2	—	現代社会とジェンダーA	2	—	福祉社会学B	2	—	福祉社会学B	2	—
			4306	グローバル社会学	2	×	現代社会とジェンダーA	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×	グローバル社会学	2	×	グローバル社会学	2	×
			4407	現代社会とNGO・NPO	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×				現代社会とNGO・NPO	2	×	現代社会とNGO・NPO	2	×
	休講	現代社会とジェンダーA	2	—						現代社会とジェンダーA	2	—	現代社会とジェンダーA	2	—			
	4313	現代社会とジェンダーB	2	×						現代社会とジェンダーB	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×			
	「哲学、倫理学、宗教学」	必修	8603	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×
教科の指導法 (情報機器及び機材の活用を含む。)	必修	8507	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	
	必修	8508	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

4	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
単	「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
位	福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
	学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子 P 11 参照)

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 地理歴史科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度～2020年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子 P 62 参照）

25 単位 教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 特別支援教育概論（2 単位）
総合的な学習の時間の指導法（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位）
生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位）
教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4800番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55、62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	単位	科目[授業]名	単位	単位	科目[授業]名	単位	単位	科目[授業]名	単位	単位	科目[授業]名	単位	単位
24 単位	日本史	必修	8594	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×
		選択	4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×
	外国史	必修	8596	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×
		選択	4811 休講 4335	現代世界入門A アジアにおける民族関係 現代ヨーロッパ社会論A	2 2 2	×	現代世界入門A 現代ヨーロッパ社会論A	2 2	×	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A 現代ヨーロッパ社会論A	2 2	×	現代世界入門A 現代ヨーロッパ社会論A	2 2	×
	人文地理学・ 自然地理学	必修	8598	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×
		必修	8600	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×
		選択	4812	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2	×
			4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2	○
			4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2	○
			4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2	○
			4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2	○
			5223	太平洋の文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×	モンゴルの社会と文化A	2	×
			5224	アフリカの文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×	モンゴルの社会と文化B	2	×
							太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×	太平洋の文化と歴史	2	×
	地誌	必修	8599	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×
	教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)	必修	8507	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×	社会科・地歴科教育法	4	×

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

12 単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
	「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位） 学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

※社会と地理歴史の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 公民科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度～2020年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位	日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）
-----	--

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

25単位	教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）
------	--

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台、4000番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55、62)を参照

科目名に●が付いている科目は【現代社会学科生のみ履修可】です。現代社会学科以外の学生が、教職課程（現代社会学科・公民科）を履修している場合、初回授業までに教学支援室資格係に申し出た者に限り、履修可となります。

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位	履修	科目[授業]名	単位
24単位	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	必修	8601	法学（国際法を含む）	4	×	法学（国際法を含む）	4	×	法学（国際法を含む）	4	×	法学（国際法を含む）	4	×	法学（国際法を含む）	4	×
		選択	4322	政治社会学	2	○					政治社会学	2	○					
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1セット 選択必修	4806	セッ ●社会学入門A	2	×	セッ 社会学入門A	2	×	セッ 社会学入門A	2	×	セッ 社会学入門A	2	×	セッ 社会学入門A	2	×
			4807	●社会学入門B	2	×	セッ 社会学入門B	2	×	セッ 社会学入門B	2	×	セッ 社会学入門B	2	×	セッ 社会学入門B	2	×
		選択	休講	社会学理論	2	—	社会学理論	2	—	福祉社会学A	2	—	現代社会学理論	2	—	現代社会学理論	2	—
			4327	経済と人間社会	2	○	経済と人間社会	2	○	グローバル社会学	2	○	現代社会と階層分化B	2	○	現代社会と階層分化B	2	○
			4826	福祉社会学A	2	×	福祉社会学B	2	×	現代社会とNGO・NPO	2	×	福祉社会学A	2	×	福祉社会学A	2	×
			休講	福祉社会学B	2	—	現代社会とNGO・NPO	2	—	現代社会とジェンダーA	2	—	福祉社会学B	2	—	福祉社会学B	2	—
			4306	グローバル社会学	2	×	現代社会とジェンダーA	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×	グローバル社会学	2	×	グローバル社会学	2	×
			4407	現代社会とNGO・NPO	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×				現代社会とNGO・NPO	2	×	現代社会とNGO・NPO	2	×
			休講	現代社会とジェンダーA	2	—							現代社会とジェンダーA	2	—	現代社会とジェンダーA	2	—
			4313	現代社会とジェンダーB	2	×							現代社会とジェンダーB	2	×	現代社会とジェンダーB	2	×
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	必修	8603	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4	×
		選択	3003	心理学概論	2	×	心理学概論	2	×	心理学概論	2	×	心理学概論	2	×	心理学概論	2	×
	教科の指導法（情報機器及び機材の活用を含む。）	必修	8508	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×	社会科・公民科教育法	4	×

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12単位	「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）
------	---

※社会と公民の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 現代人間学部 人間科学科 保健体育科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

391単位
 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 道徳教育論（2単位）
 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位）
 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4200番台、4400番台の科目→人間科学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目																						
	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講							
			授業コード	科目名	授業名	単位	授業コード	科目名	授業名	単位	授業コード	科目名	授業名	単位	授業コード	科目名	授業名	単位				
3 1 単 位	体育実技	1科目 選択必修	4255	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○				
			4256	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○				
		選択	4253	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○				
			4254	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○				
		1科目 選択必修	4259	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○				
			4260	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○				
		1科目 選択必修	4245	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○				
			4246	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○				
		1科目 選択必修	4243	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○				
			4244	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○				
		1科目 選択必修	4257	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	
			4258	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	
			4247	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	
			4248	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	
			4249	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	
			4250	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	
			4251	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	
			4252	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	
			4261	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	
			4262	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	
			4263	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	
			4264	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	
			4265	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	
			必修	4408	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×
				4240	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×
				4242	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×
4278	スポーツマネジメント論			2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×		
4215	健康管理学概論			2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×		
4216	障害児運動支援学	2		×	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×			
4221	発達発達論	2		×	発達発達論	2	×	発達発達論	2	×	発達発達論	2	×	発達発達論	2	×	発達発達論	2	×			
4226	健康教育学	2		×	健康教育学	2	×	健康教育学	2	×	健康教育学	2	×	健康教育学	2	×	健康教育学	2	×			
4241	表現運動学	2		×	表現運動学	2	×	表現運動学	2	×	表現運動学	2	×	表現運動学	2	×	表現運動学	2	×			
4241	コーチング論	2		×	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×			
選択	4222	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×			
	4237	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×			
必修	4208	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×			
	4209	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×			
必修	4214	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×			
	4223	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×			
	4402	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題A	2	×	現代社会と心身問題A	2	×			
	4402	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×			
必修	8516	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×	保健体育科教育法1	4	×			
	8517	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×	保健体育科教育法2	4	×			

大学が独自に設定する科目 (他教科教育法を含めることはできない)

4単位
 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 現代人間学部 人間科学科 保健体育科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則 6 条に定める科目（本冊子 P54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子 P62 参照）

2 教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 特別支援教育概論（2 単位）
5 総合的な学習の時間の指導法（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） ▼情報技術活用論（2 単位）
7 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位）
単位 教職実践演習（中高）（2 単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4200番台、4400番台の科目→人間科学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目																				
	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講		2020年度開講					
			授業コード	科目	授業名	単位	備考	科目	授業名	単位	備考	科目	授業名	単位	備考	科目	授業名	単位	備考	
27 単位	体育実技	1科目 選択必修	4255	スポーツ方法学実習（器械体操1）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）		1	○	
			4256	スポーツ方法学実習（器械体操2）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）		1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）		1	○	
			選択	4253	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）		1	○
				4254	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）		1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）		1	○
		1科目 選択必修	4259	スポーツ方法学実習（陸上競技1）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）		1	○	
			4260	スポーツ方法学実習（陸上競技2）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）		1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）		1	○	
		1科目 選択必修	4245	スポーツ方法学実習（水泳1）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）		1	○	
			4246	スポーツ方法学実習（水泳2）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）		1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）		1	○	
		1科目 選択必修	4243	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）		1	○	
			4244	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）		1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）		1	○	
			4257	スポーツ方法学実習（柔道1）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）		1	○	
			4258	スポーツ方法学実習（柔道2）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）		1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）		1	○	
		1科目 選択必修	4247	スポーツ方法学実習（バレー1）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）		1	○	
			4248	スポーツ方法学実習（バレー2）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）		1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）		1	○	
			4249	スポーツ方法学実習（バドミントン）		1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）		1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）		1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）		1	○	
			4250	スポーツ方法学実習（サッカー）		1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）		1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）		1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）		1	○	
			4251	スポーツ方法学実習（卓球）		1	○	スポーツ方法学実習（卓球）		1	○	スポーツ方法学実習（卓球）		1	○	スポーツ方法学実習（卓球）		1	○	
			4252	スポーツ方法学実習（テニス）		1	○	スポーツ方法学実習（テニス）		1	○	スポーツ方法学実習（テニス）		1	○	スポーツ方法学実習（テニス）		1	○	
			4261	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）		1	○	
			4262	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）		1	○	
			4263	スポーツ方法学実習（フットサル）		1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）		1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）		1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）		1	○	
			4264	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）		1	○	
			4265	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）		1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）		1	○	
			必修	4408	スポーツ社会学		2	×	スポーツ社会学		2	×	スポーツ社会学		2	×	スポーツ社会学		2	×
		4240		運動学		2	×	運動学		2	×	運動学		2	×	運動学		2	×	
		4242		スポーツ心理学		2	×	スポーツ心理学		2	×	スポーツ心理学		2	×	スポーツ心理学		2	×	
		4278		スポーツマネジメント論		2	×	スポーツマネジメント論		2	×	スポーツマネジメント論		2	×	スポーツマネジメント論		2	×	
4215	健康管理学概論			2	×	健康管理学概論		2	×	健康管理学概論		2	×	健康管理学概論		2	×			
4216	障害児運動支援学			2	×	発育発達論		2	×	障害児運動支援学		2	×	発育発達論		2	×			
休講	発育発達論			2	—	コーチング論		2	×	健康教育学		2	×	コーチング論		2	×			
4221	健康教育学			2	×	スポーツマーケティング論		2	×	コーチング論		2	×	スポーツマーケティング論		2	×			
4226	表現運動学			2	×					スポーツマーケティング論		2	×							
4241	コーチング論			2	×															
休講	スポーツマーケティング論			2	—															
生理学(運動生理学を含む。)	必修	4222	運動生理学		2	×	運動生理学		2	×	運動生理学		2	×	運動生理学		2	×		
	選択	4237	スポーツトレーニング論		2	×	スポーツトレーニング論		2	×	スポーツトレーニング論		2	×	スポーツトレーニング論		2	×		
衛生学・公衆衛生学	必修	4208	公衆衛生学		2	×	公衆衛生学		2	×	公衆衛生学		2	×	公衆衛生学		2	×		
	必修	4209	衛生学		2	×	衛生学		2	×	衛生学		2	×	衛生学		2	×		
学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	必修	4214	学校保健学		2	×	学校保健学		2	×	学校保健学		2	×	学校保健学		2	×		
	必修	4223	スポーツ医学と救急処置		2	×	スポーツ医学と救急処置		2	×	スポーツ医学と救急処置		2	×	スポーツ医学と救急処置		2	×		
	選択	休講	現代社会と心身問題A		2	—	現代社会と心身問題A		2	—	現代社会と心身問題B		2	×	現代社会と心身問題A		2	×		
4402	現代社会と心身問題B		2	×																
教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。)	必修	8516	保健体育科教育法1		4	×	保健体育科教育法1		4	×	保健体育科教育法1		4	×	保健体育科教育法1		4	×		
	選択	8517	保健体育科教育法2		4	×	保健体育科教育法2		4	×	保健体育科教育法2		4	×	保健体育科教育法2		4	×		

大学が独自に設定する科目（他教科教育法を含めることはできない）

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 総合文化学科 国語科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
3 9 道徳教育論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位）
1 5 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
単位 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	選	科目[授業]名	単位	選	科目[授業]名	単位	選	科目[授業]名	単位	選	科目[授業]名	単位	選
28単位	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	X	日本語学序論1	2		日本語学序論1	2		日本語学序論1	2		日本語学序論1	2	
		必修	5327	日本語学序論2	2	X	日本語学序論2	2		日本語学序論2	2		日本語学序論2	2		日本語学序論2	2	
		選択	5336	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2		日本語を学ぶ1	2		日本語を学ぶ1	2		日本語を学ぶ1	2	
			5337	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2		日本語を学ぶ2	2		日本語を学ぶ2	2		日本語を学ぶ2	2	
			5338	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2		日本語を学ぶ3	2		日本語を学ぶ3	2		日本語を学ぶ3	2	
			5339	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2		日本語を学ぶ4	2		日本語を学ぶ4	2		日本語を学ぶ4	2	
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4		日本語のしくみを考える	4		日本語のしくみを考える	4		日本語のしくみを考える	4	
	国文学（国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2		日本文学序論1	2		日本文学序論1	2		日本文学序論1	2	
		必修	5302	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2		日本文学序論2	2		日本文学序論2	2		日本文学序論2	2	
		選択	5110	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2		日本の文化と文学1	2		日本の文化と文学1	2		日本の文化と文学1	2	
			5111	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2		日本の文化と文学2	2		日本の文化と文学2	2		日本の文化と文学2	2	
			5112	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2		日本の文化と文学3	2		日本の文化と文学3	2		近現代の文学1	2	
			5113	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2		近現代の文学1	2		近現代の文学2	2		近現代の文学2	2	
			5313	近現代の文学1	2	○	近現代の文学1	2		近現代の文学2	2		東北日本の詩人たち	4		東北日本の詩人たち	4	
			5314	近現代の文学2	2	○	近現代の文学2	2		漢文学の世界	2		現代文学のメディア・ミックス	4		現代文学のメディア・ミックス	4	
			5321	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2		東北日本の詩人たち	4		古代の文化と言語表現	4		古代の文化と言語表現	4	
			5910	現代文学のメディア・ミックス	4	○	日本近現代文学の多様性	4		現代文学のメディア・ミックス	4		近世の文化と言語表現	4		近世の文化と言語表現	4	
			5915	日本近現代文学の多様性	4	○	古代の文化と言語表現	4		古代の文化と言語表現	4							
			5911	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4		近世の文化と言語表現	4							
			5902	近世の文化と言語表現	4	○												
漢文学	1科目選択必修		5201	中国古典のこぼれ1	2	○	中国古典のこぼれ1	2		中国古典のこぼれ1	2		中国古典のこぼれ1	2		中国古典のこぼれ1	2	
			5202	中国古典のこぼれ2	2	○	中国古典のこぼれ2	2		中国古典のこぼれ2	2		中国古典のこぼれ2	2		中国古典のこぼれ2	2	
書道（書写を中心とする。）	1科目選択必修		5324	書道1	2	○	書道1	2		書道1	2		書道1	2		書道1	2	
			5325	書道2	2	○	書道2	2		書道2	2		書道2	2		書道2	2	
教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	必修		8509	国語科教育法1	4	X	国語科教育法1	4		国語科教育法1	4		国語科教育法1	4		国語科教育法1	4	
	必修		8510	国語科教育法2	4	X	国語科教育法2	4		国語科教育法2	4		国語科教育法2	4		国語科教育法2	4	

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

4単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 表現学部 総合文化学科 国語科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
2 5 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
7 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位）
単 位 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目等」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	単修	科目[授業]名	単位	単修	科目[授業]名	単位	単修	科目[授業]名	単位	単修	科目[授業]名	単位	単修
24単位	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×
		必修	5327	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×
		選択	5336	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○
			5337	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○
			5338	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○
			5339	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○
	国文学（国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○
		必修	5302	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○
		選択	5110	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○
			5111	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○
			5112	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	近現代の文学1	2	○
			5113	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2	○	近現代の文学1	2	○	近現代の文学2	2	○
			5313	近現代の文学1	2	○	近現代の文学1	2	○	近現代の文学2	2	○	東北日本の詩人たち	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○
			5314	近現代の文学2	2	○	近現代の文学2	2	○	漢文学の世界	2	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	古代の文化と言語表現	4	○
			5321	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	東北日本の詩人たち	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○
			5910	現代文学のメディア・ミックス	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	近世の文化と言語表現	4	○			
			5915	日本近現代文学の多様性	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○						
			5911	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○						
			5902	近世の文化と言語表現	4	○												
	漢文学	1科目選択必修	5201	中国古典のこぼれ1	2	○	中国古典のこぼれ1	2	○	中国古典のこぼれ1	2	○	中国古典のこぼれ1	2	○	中国古典のこぼれ1	2	○
			5202	中国古典のこぼれ2	2	○	中国古典のこぼれ2	2	○	中国古典のこぼれ2	2	○	中国古典のこぼれ2	2	○	中国古典のこぼれ2	2	○
	教科の指導法（情報機器及び機材の活用を含む。）	必修	8509	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×	国語科教育法1	4	×
		選択	8510	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×	国語科教育法2	4	×

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 総合文化学科 英語科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
 3 9 道徳教育論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位）
 1 5 ▼情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
 単位 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。
 各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	※	授業コード	科目[授業]名	単位	※	授業コード	科目[授業]名	単位	※	授業コード	科目[授業]名	単位	※
28 単位	英語学	必修	5410	英語学序論1	2	×	5410	英語学序論1	2	×	5410	英語学序論1	2	×	5410	英語学序論1	2	×
			5411	英語学序論2	2	×	5411	英語学序論2	2	×	5411	英語学序論2	2	×	5411	英語学序論2	2	×
		選択	5417	音声学1	2	○	5417	音声学1	2	○	5417	音声学1	2	○	5417	音声学1	2	○
			5418	音声学2	2	○	5418	音声学2	2	○	5418	音声学2	2	○	5418	音声学2	2	○
			5901	英語のしくみを考える	4	○	5901	英語のしくみを考える	4	○	5901	英語のしくみを考える	4	○	5901	英語のしくみを考える	4	○
			休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	休講	英語コミュニケーションと文化	4	—
			休講	英語の歴史	2	—	休講	英語の歴史	2	—	休講	英語の歴史	2	—	休講	英語の歴史	2	—
			休講	外国語習得理論	2	—	休講	外国語習得理論	2	—	休講	外国語習得理論	2	—	休講	外国語習得理論	2	—
	英語文学	必修	5401	英米文学序論1	2	×	5401	英米文学序論1	2	×	5401	英米文学序論1	2	×	5401	英米文学序論1	2	×
			5402	英米文学序論2	2	×	5402	英米文学序論2	2	×	5402	英米文学序論2	2	×	5402	英米文学序論2	2	×
		選択	5403	英語の古典文芸1	2	○	5403	英語の古典文芸1	2	○	5403	英語の古典文芸1	2	○	5403	英語の古典文芸1	2	○
			5404	英語の古典文芸2	2	○	5404	英語の古典文芸2	2	○	5404	英語の古典文芸2	2	○	5404	英語の古典文芸2	2	○
			休講	英語を学ぶ1	2	—	休講	英語を学ぶ2	2	—	休講	英語を学ぶ1	2	—	休講	英語を学ぶ2	2	—
			5422	英語を学ぶ2	2	○	5422	英語を学ぶ4	2	○	5422	英語を学ぶ2	2	○	5422	英語を学ぶ2	2	○
			休講	英語を学ぶ3	2	—	休講	ことばの詩学	4	—	休講	英語を学ぶ4	2	—	休講	ことばの詩学	4	—
			5424	英語を学ぶ4	2	○					5424	ことばの詩学	4	○				
			5903	ことばの詩学	4	○						ことばの詩学	4	○				
	英語コミュニケーション	1セット 選択必修	5425	セッ ト英語で語る1	2	○	5425	セッ ト英語で語る1	2	○	5425	セッ ト英語で語る1	2	○	5425	セッ ト英語で語る1	2	○
			5426	セッ ト英語で語る2	2	○	5426	セッ ト英語で語る2	2	○	5426	セッ ト英語で語る2	2	○	5426	セッ ト英語で語る2	2	○
			5427	セッ ト英語で語る3	2	○	5427	セッ ト英語で語る3	2	○	5427	セッ ト英語で語る3	2	○	5427	セッ ト英語で語る3	2	○
			5428	セッ ト英語で語る4	2	○	5428	セッ ト英語で語る4	2	○	5428	セッ ト英語で語る4	2	○	5428	セッ ト英語で語る4	2	○
			5429	セッ ト英語文章表現1	2	○	5429	セッ ト英語文章表現1	2	○	5429	セッ ト英語文章表現1	2	○	5429	セッ ト英語文章表現1	2	○
			5430	セッ ト英語文章表現2	2	○	5430	セッ ト英語文章表現2	2	○	5430	セッ ト英語文章表現2	2	○	5430	セッ ト英語文章表現2	2	○
	異文化理解	必修	5115	日英比較文化論1	2	×	5115	日英比較文化論1	2	×	5115	日英比較文化論1	2	×	5115	日英比較文化論1	2	×
			5116	日英比較文化論2	2	×	5116	日英比較文化論2	2	×	5116	日英比較文化論2	2	×	5116	日英比較文化論2	2	×
		選択	5408	英語圏の文化1	2	×	5408	英語圏の文化1	2	×	5408	英語圏の文化1	2	×	5408	英語圏の文化1	2	×
			5409	英語圏の文化2	2	×	5409	英語圏の文化2	2	×	5409	英語圏の文化2	2	×	5409	英語圏の文化2	2	×
	教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)	必修	8511	英語科教育法1	4	×	8511	英語科教育法1	4	×	8511	英語科教育法1	4	×	8511	英語科教育法1	4	×
		必修	8512	英語科教育法2	4	×	8512	英語科教育法2	4	×	8512	英語科教育法2	4	×	8512	英語科教育法2	4	×

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

4 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 表現学部 総合文化学科 英語科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
 5 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
 7 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位）
 単 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。
 各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24 単位	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講			2022年度開講			2021年度開講			2020年度開講		
			授業コード	科目[授業]名	単位	単位	授業コード	科目[授業]名	単位	単位	授業コード	科目[授業]名	単位	単位
	英語学	必修	5410	英語学序論1	2	×	5410	英語学序論1	2	×	5410	英語学序論1	2	×
			5411	英語学序論2	2	×	5411	英語学序論2	2	×	5411	英語学序論2	2	×
		選択	5417	音声学1	2	○	5417	音声学1	2	○	5417	音声学1	2	○
			5418	音声学2	2	○	5418	音声学2	2	○	5418	音声学2	2	○
			5901	英語のしくみを考える	4	○	5901	英語のしくみを考える	4	○	5901	英語のしくみを考える	4	○
			休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	休講	英語コミュニケーションと文化	4	—
			休講	英語の歴史	2	—	休講	英語の歴史	2	—	休講	英語の歴史	2	—
			休講	外国語習得理論	2	—	休講	外国語習得理論	2	—	休講	外国語習得理論	2	—
	英語文学	必修	5401	英米文学序論1	2	×	5401	英米文学序論1	2	×	5401	英米文学序論1	2	×
			5402	英米文学序論2	2	×	5402	英米文学序論2	2	×	5402	英米文学序論2	2	×
		選択	5403	英語の古典文芸1	2	○	5403	英語の古典文芸1	2	○	5403	英語の古典文芸1	2	○
			5404	英語の古典文芸2	2	○	5404	英語の古典文芸2	2	○	5404	英語の古典文芸2	2	○
			休講	英語を学ぶ1	2	—	休講	英語を学ぶ2	2	—	休講	英語を学ぶ1	2	—
			5422	英語を学ぶ2	2	○	5422	英語を学ぶ4	2	○	5422	英語を学ぶ2	2	○
			休講	英語を学ぶ3	2	—	休講	ことばの詩学	4	—	休講	ことばの詩学	4	—
			5424	英語を学ぶ4	2	○	5424	ことばの詩学	4	○	5424	ことばの詩学	4	○
	英語コミュニケーション	1セット 選択必修	5425	セッ ト 英語で語る1	2	○	5425	セッ ト 英語で語る1	2	○	5425	セッ ト 英語で語る1	2	○
			5426	セッ ト 英語で語る2	2	○	5426	セッ ト 英語で語る2	2	○	5426	セッ ト 英語で語る2	2	○
			5427	セッ ト 英語で語る3	2	○	5427	セッ ト 英語で語る3	2	○	5427	セッ ト 英語で語る3	2	○
			5428	セッ ト 英語で語る4	2	○	5428	セッ ト 英語で語る4	2	○	5428	セッ ト 英語で語る4	2	○
			5429	セッ ト 英語文章表現1	2	○	5429	セッ ト 英語文章表現1	2	○	5429	セッ ト 英語文章表現1	2	○
			5430	セッ ト 英語文章表現2	2	○	5430	セッ ト 英語文章表現2	2	○	5430	セッ ト 英語文章表現2	2	○
	異文化理解	必修	5115	日英比較文化論1	2	×	5115	日英比較文化論1	2	×	5115	日英比較文化論1	2	×
			5116	日英比較文化論2	2	×	5116	日英比較文化論2	2	×	5116	日英比較文化論2	2	×
		選択	5408	英語圏の文化1	2	×	5408	英語圏の文化1	2	×	5408	英語圏の文化1	2	×
			5409	英語圏の文化2	2	×	5409	英語圏の文化2	2	×	5409	英語圏の文化2	2	×
	教科の指導法(情報機器及び機材の活用を含む。)	必修	8511	英語科教育法1	4	×	8511	英語科教育法1	4	×	8511	英語科教育法1	4	×
			8512	英語科教育法2	4	×	8512	英語科教育法2	4	×	8512	英語科教育法2	4	×

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 芸術学科 美術科（中学） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則 6 6条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育に関する基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 道徳教育論（2単位）
 3 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
 1 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位）
 単 教育実習1（4単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目 [授 業] 名	単位	開 講 可 否	科目 [授 業] 名	単位	開 講 可 否	科目 [授 業] 名	単位	開 講 可 否	科目 [授 業] 名	単位	開 講 可 否			
28 単位	絵画（映像 メディア表 現を含 む。）	1科目 選択必修	6501	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○			
			6503	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○			
			6504	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○			
		選択	6512	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○						
			6516	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	日本古典技法1（墨で描く）	4	○						
			6517	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○	日本古典技法2（にかわで描く）	4	○						
		彫刻	1科目 選択必修	6509	現代美術の立体表現研究 1	4	×	現代美術の立体表現研究 1	4	×				現代美術の立体表現研究 1	4	×		
				6510	現代美術の立体表現研究 2	4	×	現代美術の立体表現研究 2	4	×				現代美術の立体表現研究 2	4	×		
				6410	彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○		
				6411	彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○		
	選択		休講	現代美術の造形技法研究1	4	—			現代美術の造形技法研究1	4								
			休講	現代美術の造形技法研究2	4	—			現代美術の造形技法研究2	4								
			デザイン （映像メ ディア表 現を含 む。）	1科目 選択必修	6416	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	
					6417	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	
	6713	アートカタログ編集術			2	×	アートカタログ編集術	2	×				アートカタログ編集術	2	×			
	工芸	必修	6414	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×			
			6513	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○	版画技法2(シルクスクリーン)	4	○			
			6611	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○						
	美術理論 ・美術史 （鑑賞並びに日本 の伝統美術及びア ジアの美術を含 む。）	1科目 選択必修	6302	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×			
			休講	アートコミュニケーション	2	—			アートコミュニケーション	2								
		選択	6301	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×			
			6303	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○			
			6309	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×			
			6701	日本美術史1（上代～近世）	2	×	日本美術史1（上代～近世）	2	×				日本美術史1（上代～近世）	2	×			
	6702	日本美術史2（近代）	2	○						日本美術史2（近代）	2	○						
	教科の指導法（情 報機器及び機材の 活用を含む。）	必修	8514	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×			
		必修	8515	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×			

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

4 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 表現学部 芸術学科 美術科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位） 総合的な学習の時間の指導法（2単位）
2 5 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
7 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中・高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中・高）（2単位）
単位

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	開講	科目〔授業〕名	単位	開講	科目〔授業〕名	単位	開講	科目〔授業〕名	単位	開講			
24単位	絵画（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6501	絵画材料の研究1	4	○	絵画材料の研究1	4	○	絵画材料の研究1	4	○	絵画材料の研究1	4	○	絵画材料の研究1	4	○
			6503	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○
			6504	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○
		選択	6512	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○			
			6516	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	日本古典技法1（墨で描く）	4	○	日本古典技法1（墨で描く）	4	○			
			6517	日本古典技法2（にわで描く）	4	○	日本古典技法2（にわで描く）	4	○	日本古典技法2（にわで描く）	4	○	日本古典技法2（にわで描く）	4	○			
	彫刻	1科目 選択必修	6509	現代美術の立体表現研究1	4	×	現代美術の立体表現研究1	4	×				現代美術の立体表現研究1	4	×	現代美術の立体表現研究1	4	×
			6510	現代美術の立体表現研究2	4	×	現代美術の立体表現研究2	4	×				現代美術の立体表現研究2	4	×	現代美術の立体表現研究2	4	×
			6410	彫刻表現の基礎1	4	○	彫刻表現の基礎1	4	○	彫刻表現の基礎1	4	○	彫刻表現の基礎1	4	○	彫刻表現の基礎1	4	○
			6411	彫刻表現の基礎2	4	○	彫刻表現の基礎2	4	○	彫刻表現の基礎2	4	○	彫刻表現の基礎2	4	○	彫刻表現の基礎2	4	○
		選択	休講	現代美術の造形技法研究1	4	—				現代美術の造形技法研究1	4	—						
			休講	現代美術の造形技法研究2	4	—				現代美術の造形技法研究2	4	—						
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6416	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×
			6417	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○
		選択	6713	アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×				アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×
	美術理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1科目 選択必修	6302	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×
			休講	アートコミュニケーション	2	—				アートコミュニケーション	2	—						
		選択	6301	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×
			6303	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○
			6309	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×
			6701	日本美術史1（上代～近世）	2	×	日本美術史1（上代～近世）	2	×	日本美術史1（上代～近世）	2	×	日本美術史1（上代～近世）	2	×	日本美術史1（上代～近世）	2	×
		6702	日本美術史2（近代）	2	○				日本美術史2（近代）	2	○			日本美術史2（近代）	2	○		
	教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	必修	8514	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×	美術科教育法1	4	×
選択		8515	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	美術科教育法2	4	×	

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経済学科 社会科(中学) 授業一覧表

対象=2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目(本冊子P54参照)

8単位 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 情報機器の操作(2単位)

教育の基礎的理解に関する科目等(本冊子P62参照)

2 教師論(2単位) 教育心理学(2単位) 教育原理(4単位) 特別支援教育概論(2単位) 道徳教育論(2単位)
3 総合的な学習の時間の指導法(2単位) 特別活動論(2単位) 教育方法論(2単位) ▼情報技術活用論(2単位)
9 生徒・進路指導論(2単位) 教育相談論(2単位) 教育実習事前・事後指導(中高)(1単位)
1 教育実習1(4単位) 教職実践演習(中高)(2単位)
5 単位

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられる。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55、62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

4 4 単 位	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/選択/選択必修	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位	科目	授業名	単位
	日本史・ 外国史	必修	8595	日本史概説		4	日本史概説		4	日本史概説		4	日本史概説		4	日本史概説		4
		必修	8597	外国史概説		4	外国史概説		4	外国史概説		4	外国史概説		4	外国史概説		4
		選択	7009	現代経済史Ⅰ		2	現代経済史Ⅰ		2	現代経済史Ⅰ		2	現代経済史Ⅰ		2	現代経済史Ⅰ		2
			7010	現代経済史Ⅱ[他学科生]		2	現代経済史Ⅱ		2	現代経済史Ⅱ		2	現代経済史Ⅱ		2	現代経済史Ⅱ		2
			7011	現代経済史Ⅱ		2	日本経済史A		2	日本経済史A		2	日本経済史A		2	日本経済史A		2
			7012	現代経済史Ⅱ[他学科生]		2	日本経済史B		2	日本経済史B		2	日本経済史B		2	日本経済史B		2
			7355	日本経済史A		2	経済学Ⅰ		2	経済学Ⅰ		2	経済学Ⅰ		2	経済学Ⅰ		2
			7356	日本経済史B		2	経済学Ⅱ		2	経済学Ⅱ		2	経済学Ⅱ		2	経済学Ⅱ		2
			7357	経済学Ⅰ		2	グローバル化の経済史		2	グローバル化の経済史		2	グローバル化の経済史		2	グローバル化の経済史		2
			7358	経済学Ⅱ		2	キャッチアップの経済史		2	キャッチアップの経済史		2	キャッチアップの経済史		2	キャッチアップの経済史		2
			7465	グローバル化の経済史		2	経済政策史		2	経済政策史		2	経済政策史		2	経済政策史		2
			7466	ソ連経済の歴史と現代ロシア経済		2	農業経済史		2	農業経済史		2	農業経済史		2	農業経済史		2
			7467	財政史		2	日本政治史		2	日本政治史		2	日本政治史		2	日本政治史		2
			7468	経済政策史		2												
			7469	農業経済史		2												
			7352	日本政治史		2												
	地理学 (地誌を含む。)	必修	8598	人文地理学		4	人文地理学		4	人文地理学		4	人文地理学		4	人文地理学		4
		必修	8599	地誌		4	地誌		4	地誌		4	地誌		4	地誌		4
		必修	8600	自然地理学		4	自然地理学		4	自然地理学		4	自然地理学		4	自然地理学		4
		選択	7395	経済地理		2	経済地理		2	経済地理		2	経済地理		2	経済地理		2
	「法学、 政治学」	1セット 選択必修	7309	セ 法	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅰ(国際法を含む)	2
			7310	セ 法	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2	セ 法	法学概論Ⅱ(国際法を含む)	2
			7378	セ 政	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムA(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムA(国際政治を含む)	2
			7379	セ 政	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムB(国際政治を含む)	2	セ 政	政治のシステムB(国際政治を含む)	2
		選択	7353	憲法Ⅰ		2	憲法Ⅰ		2	憲法Ⅰ		2	憲法Ⅰ		2	憲法Ⅰ		2
			7354	憲法Ⅱ		2	憲法Ⅱ		2	憲法Ⅱ		2	憲法Ⅱ		2	憲法Ⅱ		2
			7380	民法A		2	民法A		2	民法A		2	民法A		2	民法A		2
			7381	民法B		2	民法B		2	民法B		2	民法B		2	民法B		2
			7351	国際関係論		2	国際関係論		2	国際関係論		2	国際関係論		2	国際関係論		2
	「社会学、 経済学」	1セット 選択必修	7001	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ	2
			7003	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ	2	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ	2
			7002	セ ミ	ミクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2												
			7004	セ ミ	ミクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2												
		1セット 選択必修	7005	セ マ	マクロ経済学Ⅰ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅰ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅰ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅰ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅰ	2
			7007	セ マ	マクロ経済学Ⅱ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅱ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅱ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅱ	2	セ マ	マクロ経済学Ⅱ	2
			7006	セ マ	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2												
			7008	セ マ	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2												
		選択	7359	現代経済理論A(国際経済を含む)		2	現代経済理論A(国際経済を含む)		2	現代経済理論A(国際経済を含む)		2	現代経済理論A(国際経済を含む)		2	現代経済理論A(国際経済を含む)		2
			7360	現代経済理論B(国際経済を含む)		2	現代経済理論B(国際経済を含む)		2	現代経済理論B(国際経済を含む)		2	現代経済理論B(国際経済を含む)		2	現代経済理論B(国際経済を含む)		2
			7363	国際経済学		2	国際経済学		2	国際経済学		2	国際経済学		2	国際経済学		2
			休講	農林業再生論		2	農林業再生論		2	農林業再生論		2	農林業再生論		2	農林業再生論		2
			休講	現代農業経済論		2	現代農業経済論		2	現代農業経済論		2	現代農業経済論		2	現代農業経済論		2
			7368	資源エネルギー論Ⅰ		2	資源エネルギー論Ⅰ		2	資源エネルギー論Ⅰ		2	資源エネルギー論Ⅰ		2	資源エネルギー論Ⅰ		2
			7369	資源エネルギー論Ⅱ		2	資源エネルギー論Ⅱ		2	資源エネルギー論Ⅱ		2	資源エネルギー論Ⅱ		2	資源エネルギー論Ⅱ		2
			7370	環境経済学A		2	環境経済学A		2	環境経済学A		2	環境経済学A		2	環境経済学A		2
			7371	環境経済学B		2	環境経済学B		2	環境経済学B		2	環境経済学B		2	環境経済学B		2
			7376	公共経済学		2	公共経済学		2	公共経済学		2	公共経済学		2	公共経済学		2
			7377	財政学		2	財政学		2	財政学		2	財政学		2	財政学		2
	「哲学、 倫理学、 宗教学」	必修	8603	哲学概論		4	哲学概論		4	哲学概論		4	哲学概論		4	哲学概論		4
		必修	8507	社会科・地歴科教育法		4	社会科・地歴科教育法		4	社会科・地歴科教育法		4	社会科・地歴科教育法		4	社会科・地歴科教育法		4
		必修	8508	社会科・公民科教育法		4	社会科・公民科教育法		4	社会科・公民科教育法		4	社会科・公民科教育法		4	社会科・公民科教育法		4

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

4 教科及び教科の指導法に関する科目 最低修得単位数「28単位」を超えて修得した単位数
単位 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「27単位」を超えて修得した単位数
福祉介護論(2単位) 学校経営と学校図書館(2単位) 学校図書館メディアの構成(2単位)
学習指導と学校図書館(2単位) 読書と豊かな人間性(2単位) 情報メディアの活用(2単位)

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 経済経営学部 経済学科 地理歴史科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
2 5 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
7 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位）
5 教職実践演習（中高）（2単位）
単位

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55、62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修・選択必修・選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講								
			授業コード	科目	授業	名	単位	履修	科目	授業	名	単位	履修	科目	授業	名	単位	履修	科目	授業	名	単位	履修
	日本史	必修	8595	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×	日本史概説		4	×
			選択	7355	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2	×	日本経済史A		2
		7356		日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×	日本経済史B		2	×
		休講		経済政策史		2	—	経済政策史		2	—	経済政策史		2	—	経済政策史		2	—	経済政策史		2	—
		休講		農業経済史		2	—	農業経済史		2	—	農業経済史		2	—	農業経済史		2	—	農業経済史		2	—
		7352		日本政治史		2	×	日本政治史		2	×	日本政治史		2	×	日本政治史		2	×	日本政治史		2	×
	外国史	必修	8597	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×	外国史概説		4	×
			選択	7009	現代経済史Ⅰ		2	×	現代経済史Ⅰ		2	×	現代経済史Ⅰ		2	×	現代経済史Ⅰ		2	×	現代経済史Ⅰ		2
		7010		現代経済史Ⅰ [他学科生]		2	×	現代経済史Ⅱ		2	×	現代経済史Ⅱ		2	×	現代経済史Ⅱ		2	×	現代経済史Ⅱ		2	×
		7011		現代経済史Ⅱ		2	×	経済学史Ⅰ		2	×	経済学史Ⅰ		2	×	経済学史Ⅰ		2	×	経済学史Ⅰ		2	×
		7012		現代経済史Ⅱ [他学科生]		2	×	経済学史Ⅱ		2	×	経済学史Ⅱ		2	×	経済学史Ⅱ		2	×	経済学史Ⅱ		2	×
		7357		経済学史Ⅰ		2	×	グローバル化の経済史		2	×	グローバル化の経済史		2	×	グローバル化の経済史		2	×	グローバル化の経済史		2	×
		7358		経済学史Ⅱ		2	×	キャッチアップの経済史		2	×	キャッチアップの経済史		2	×	キャッチアップの経済史		2	×	キャッチアップの経済史		2	×
		7465		グローバル化の経済史		2	×																
		7466		ソ連経済の歴史と現代ロシア経済		2	×																
		休講	財政史		2	—																	
	人文地理学・自然地理学	必修	8598	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×	人文地理学		4	×
			8600	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×	自然地理学		4	×
選択		7395	経済地理		2	×	経済地理		2	×	経済地理		2	×	経済地理		2	×	経済地理		2	×	
地誌	必修	8599	地誌		4	×	地誌		4	×	地誌		4	×	地誌		4	×	地誌		4	×	
教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	必修	8507	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	社会科・地歴科教育法		4	×	

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目等」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
単位 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※社会と地理歴史の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経済学科 公民科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

257単位
教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位）
教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→現代人間学部共通科目を参照

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55、62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

24単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講					2020年度開講				
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	※	単位	科目〔授業〕名	単位	※	単位	科目〔授業〕名	単位	※	単位	科目〔授業〕名	単位	※	単位			
	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1セット 選択必修	7309	セッ ト	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セッ ト	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セッ ト	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セッ ト	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×			
			7310		法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×		法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×		法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×		法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×			
			7378		政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×		政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×		政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×		政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×			
			7379	セッ ト	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セッ ト	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セッ ト	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セッ ト	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×			
		選択	7353		憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×			
			7354		憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×			
			7380		民法A	2	×		民法A	2	×		民法A	2	×		民法A	2	×			
			7381		民法B	2	×		民法B	2	×		民法B	2	×		民法B	2	×			
			7351		国際関係論	2	×		国際関係論	2	×		国際関係論	2	×		国際関係論	2	×			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1セット 選択必修	7005	セッ ト	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セッ ト	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セッ ト	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セッ ト	マクロ経済学Ⅰ	2	×			
			7007		マクロ経済学Ⅱ	2	×		マクロ経済学Ⅱ	2	×		マクロ経済学Ⅱ	2	×		マクロ経済学Ⅱ	2	×			
			7006	セッ ト	マクロ経済学Ⅰ〔他学科生〕	2	×		現代経済理論A	2	×		現代経済理論A	2	×		現代経済理論A	2	×			
			7008	セッ ト	マクロ経済学Ⅱ〔他学科生〕	2	×		（国際経済を含む）				（国際経済を含む）				（国際経済を含む）					
			7359		現代経済理論A	2	×	セッ ト	現代経済理論B	2	×	セッ ト	現代経済理論B	2	×	セッ ト	現代経済理論B	2	×			
					（国際経済を含む）				（国際経済を含む）				（国際経済を含む）				（国際経済を含む）					
		7360	セッ ト	現代経済理論B	2	×																
		選択	7001		ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×			
			7002		ミクロ経済学Ⅰ〔他学科生〕	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×			
			7003		ミクロ経済学Ⅱ	2	×		国際経済学	2	×		国際経済学	2	×		国際経済学	2	×			
	7004			ミクロ経済学Ⅱ〔他学科生〕	2	×		農林業再生論	2	×		農林業再生論	2	×		農林業再生論	2	×				
	7363			国際経済学	2	×		現代農業経済論	2	×		現代農業経済論	2	×		現代農業経済論	2	×				
			休講	農林業再生論	2	—		資源エネルギー論Ⅰ	2	×		資源エネルギー論Ⅰ	2	×		資源エネルギー論Ⅰ	2	×				
			休講	現代農業経済論	2	—		資源エネルギー論Ⅱ	2	×		資源エネルギー論Ⅱ	2	×		資源エネルギー論Ⅱ	2	×				
	7368			資源エネルギー論Ⅰ	2	×		環境経済学A	2	×		環境経済学A	2	×		環境経済学A	2	×				
	7369			資源エネルギー論Ⅱ	2	×		環境経済学B	2	×		環境経済学B	2	×		環境経済学B	2	×				
	7370			環境経済学A	2	×		公共経済学	2	×		公共経済学	2	×		公共経済学	2	×				
	7371			環境経済学B	2	×		財政学	2	×		財政学	2	×		財政学	2	×				
	7376			公共経済学	2	×																
	7377			財政学	2	×																
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		必修	8603		哲学概論	4	×		哲学概論	4	×		哲学概論	4	×		哲学概論	4	×		
		選択	3003		心理学概論	2	×		心理学概論	2	×		心理学概論	2	×		心理学概論	2	×			
	教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	必修	8508		社会科・公民科教育法	4	×		社会科・公民科教育法	4	×		社会科・公民科教育法	4	×		社会科・公民科教育法	4	×			

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

12単位
「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※社会と公民の教員免許状を取得する場合は、教育実習Ⅰ（4単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経営学科 商業科(高校) 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P54参照)

8単位 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 情報機器の操作(2単位)

教育の基礎的理解に関する科目等 (本冊子P62参照)

257単位 教師論(2単位) 教育心理学(2単位) 教育原理(4単位) 特別支援教育概論(2単位)
総合的な学習の時間の指導法(2単位) 特別活動論(2単位) 教育方法論(2単位) ▼情報技術活用論(2単位)
生徒・進路指導論(2単位) 教育相談論(2単位) 教育実習事前・事後指導(中高)(1単位) 教育実習2(2単位)
教職実践演習(中高)(2単位)

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修
24単位	商業の 関係科目	1科目 選択必修	7501	基本経営学	4	×	基本経営学	4	×	基本経営学	4	基本経営学	4	×	基本経営学	4	×	基本経営学
			7503	基本経営学[他学科生]	4	×												
		選択	7504	経営基本管理	4	×	経営基本管理	4	×	経営基本管理	4	経営基本管理	4	×	経営基本管理	4	×	経営基本管理
			7507	入門簿記	2	×	入門簿記	2	×	入門簿記	2	入門簿記	2	×	入門簿記	2	×	入門簿記
			7508	入門簿記[他学科生]	2	×	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅰ	2	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅰ
			7805	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅱ	2	×	企業論Ⅱ	2	企業論Ⅱ	2	×	企業論Ⅱ	2	×	企業論Ⅱ
			7806	企業論Ⅱ	2	×	マーケティング論A	2	×	マーケティング論A	2	マーケティング論A	2	×	マーケティング論A	2	×	マーケティング論A
			7807	マーケティング論A	2	×	マーケティング論B	2	×	マーケティング論B	2	マーケティング論B	2	×	マーケティング論B	2	×	マーケティング論B
			7808	マーケティング論B	2	×	現代流通論A	2	×	現代流通論A	2	現代流通論A	2	×	現代流通論A	2	×	現代流通論A
			7809	現代流通論A	2	×	現代流通論B	2	×	現代流通論B	2	現代流通論B	2	×	現代流通論B	2	×	現代流通論B
			7810	現代流通論B	2	×	会社法A	2	×	会社法A	2	会社法A	2	×	会社法A	2	×	会社法A
			7886	会社法A	2	×	会社法B	2	×	会社法B	2	会社法B	2	×	会社法B	2	×	会社法B
			7887	会社法B	2	×	商業簿記	2	×	商業簿記	2	商業簿記	2	×	商業簿記	2	×	商業簿記
			7898	商業簿記	2	×	会計学	2	×	会計学	2	会計学	2	×	会計学	2	×	会計学
			7899	会計学	2	×	労働法A	2	×	労働法A	2	労働法A	2	×	労働法A	2	×	労働法A
				休講 労働法A	2	—	労働法B	2	×	労働法B	2	労働法B	2	×	労働法B	2	×	労働法B
				休講 労働法B	2	—	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅠ
			7894	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ
			7895	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ	2	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ
			7896	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ	2	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ
			7897	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	財務管理論	2	×	財務管理論	2	財務管理論	2	×	財務管理論	2	×	財務管理論
			7959	財務管理論	2	×	会計監査[公認会計士の仕事]	2	×	会計監査[公認会計士の仕事]	2	会計監査[公認会計士の仕事]	2	×	会計監査[公認会計士の仕事]	2	×	会計監査[公認会計士の仕事]
				休講 会計監査[公認会計士の仕事]	2	—	税務会計[税理士の仕事]	2	×	税務会計[税理士の仕事]	2	税務会計[税理士の仕事]	2	×	税務会計[税理士の仕事]	2	×	税務会計[税理士の仕事]
				休講 税務会計[税理士の仕事]	2	—	工業簿記	2	×	工業簿記	2	工業簿記	2	×	工業簿記	2	×	工業簿記
			7966	工業簿記	2	×	原価計算	2	×	原価計算	2	原価計算	2	×	原価計算	2	×	原価計算
			7967	原価計算	2	×	生産システム論A	2	×	生産システム論A	2	生産システム論A	2	×	生産システム論A	2	×	生産システム論A
			7969	生産システム論A	2	×	生産システム論B	2	×	生産システム論B	2	生産システム論B	2	×	生産システム論B	2	×	生産システム論B
			7970	生産システム論B	2	×												
	職業指導	必修	7888	職業指導	4	×	職業指導	4	×	職業指導	4	職業指導	4	×	職業指導	4	×	職業指導
	教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	必修	8518	商業科教育法	4	×	商業科教育法	4	×	商業科教育法	4	商業科教育法	4	×	商業科教育法	4	×	商業科教育法

大学が独自に設定する科目

(他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない)

12単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
学校経営と学校図書館(2単位) 学校図書館メディアの構成(2単位) 学習指導と学校図書館(2単位)
読書と豊かな人間性(2単位) 情報メディアの活用(2単位)

2023年度 経済経営学部 経営学科 情報科（高校） 授業一覧表

対象＝2019年度以降入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教育の基礎的理解に関する科目等（本冊子P62参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 特別支援教育概論（2単位）
 2 5 総合的な学習の時間の指導法（2単位） 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） ▼情報技術活用論（2単位）
 7 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位）
 単位 教職実践演習（中高）（2単位）

▼「情報技術活用論」は、2019～2021年度入学生は履修不可。2023年度科目等履修生は履修申請手続き時に問い合わせること。

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科及び教科の指導法に関する科目」として数えられます。
 各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

開講科目「コンピュータ[A]」～「コンピュータ[C]」は卒業までにいずれか一つ履修可能とされていますが、教職課程情報科を履修している場合で、初回授業にて担当教員から許可を得た者に限り、二つ以上履修可能とします。

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P62)を参照

教科及び教科の指導法に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修			
2 8 単 位	情報社会・情報倫理	必修	7821	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×			
			7973	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×			
		選択	7974	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×			
	コンピュータ・情報処理 （実習を含む。）		1科目 選択必修	7822	コンピュータ〔A〕	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×		
		7823		コンピュータ〔B〕	2	×												
		7824		コンピュータ〔C〕	2	×												
		選択	7825	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×			
	情報システム （実習を含む。）	必修	7902	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×			
		必修	7859	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×			
		必修	7908	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×			
		必修	7909	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×			
	情報通信ネットワーク （実習を含む。）	必修	7903	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×			
		選択	7861	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×			
	マルチメディア表現・技 術（実習を含む。）	必修	7900	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×			
		必修	7901	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×			
		選択	7827	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×			
			7802	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×			
			7803	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×			
	情報と職業	必修	7904	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×						
		必修	7907	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×			
		選択	休講	情報メディア産業論Ⅱ	2	—	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×						
			7906	メディアビジネス論基礎	2	×												
	教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	必修	8519	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×	情報科教育法	4	×			

大学が独自に設定する科目

（他教科教育法、道德教育論、福祉介護論を含めることはできない）

12 単位 「教科及び教科の指導法に関する科目」最低修得単位数「24単位」を超えて修得した単位数
 「教育の基礎的理解に関する科目等」最低修得単位数「23単位」を超えて修得した単位数
 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位）
 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

2018年度以前入学生授業一覧表

幼稚園課程

心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園…………… P 82

中学校・高等学校課程

【全学科共通】教職に関する科目…………… P 83

【全教科共通】教育実習事前・事後指導、教育実習…………… P 84

現代社会学科 社会科・地理歴史科・公民科…………… P 85

身体環境共生学科 保健体育科…………… P 88

総合文化学科 国語科・英語科…………… P 90

芸術学科 美術科…………… P 94

経済学科 社会科・地理歴史科・公民科…………… P 96

経営学科 商業科・情報科…………… P 99

2023年度 現代人間学部 心理教育学科 子ども教育専修 幼稚園 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 66条に定める科目（本冊子P54参照）

■日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

各科目の履修条件等は「学修の手びき」の各課程授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→心理教育学科専門科目を参照

科目名に●印が付いている科目は【小学校課程申請者のみ】履修可の科目です。

科目名に■印が付いている科目は【保育士課程申請者のみ】履修可の科目です。

教職に関する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講				
		科目	授業	名	単位	履修	科目	授業	名	履修	科目	授業	名	履修	科目	授業	名	履修
幼稚園 37単位	必修	3486	保育者論		2	×	保育者論		2	保育者論		2	保育者論		2	保育者論		2
	必修	3464	保育原理		2	×	保育原理		2	保育原理		2	保育原理		2	保育原理		2
	1科目 選択必修	3423	初等教育心理学[1]		2	×	初等教育心理学[1]		2	初等教育心理学[1]		2	初等教育心理学[1]		2	初等教育心理学		2
		休講	初等教育心理学[2]		2	—	初等教育心理学[2]		2	初等教育心理学[2]		2	初等教育心理学[2]		2	初等教育心理学		2
	選択必修	3401	発達心理学		2	×	発達心理学		2	発達心理学		2	発達心理学		2	発達心理学		2
		必修	3458	初等教育の制度と社会		2	×	初等教育の制度と社会		2	初等教育の制度と社会		2	初等教育の制度と社会		2	初等教育の制度と社会	
	1科目 選択必修	3496	保育内容総論[1]		2	×	保育内容総論[1]		2	保育内容総論[1]		2	保育内容総論[1]		2	保育内容総論		2
		休講	保育内容総論[2]		2	—	保育内容総論[2]		2	■保育内容総論[2]		2	■保育内容総論[2]		2	保育内容総論		2
		休講	保育内容総論[3]		2	—	保育内容総論[3]		2	保育内容総論[3]		2	保育内容総論[3]		2	保育内容総論		2
	必修	3703	幼児教育課程論		2	×	幼児教育課程論		2	幼児教育課程論		2	幼児教育課程論		2	幼児教育課程論		2
	1科目 選択必修	3526	保育内容（ことば）[1]		2	×	保育内容（ことば）[1]		2	保育内容（ことば）[1]		2	保育内容（ことば）[1]		2	保育内容（ことば）		2
		休講	保育内容（ことば）[2]		2	×	保育内容（ことば）[2]		2	保育内容（ことば）[2]		2	保育内容（ことば）[2]		2	保育内容（ことば）		2
		休講	保育内容（ことば）[3]		2	—	保育内容（ことば）[3]		2	保育内容（ことば）[3]		2	保育内容（ことば）[3]		2	保育内容（ことば）		2
	1科目 選択必修	3535	保育内容（人間関係）[1]		2	×	保育内容（人間関係）[1]		2	保育内容（人間関係）[1]		2	保育内容（人間関係）[1]		2	保育内容（人間関係）		2
		休講	保育内容（人間関係）[2]		2	×	保育内容（人間関係）[2]		2	保育内容（人間関係）[2]		2	保育内容（人間関係）[2]		2	保育内容（人間関係）		2
		休講	保育内容（人間関係）[3]		2	—	保育内容（人間関係）[3]		2	保育内容（人間関係）[3]		2	保育内容（人間関係）[3]		2	保育内容（人間関係）		2
	1科目 選択必修	3532	保育内容（生活と環境）[1]		2	×	保育内容（生活と環境）[1]		2	保育内容（生活と環境）[1]		2	保育内容（生活と環境）[1]		2	保育内容（生活と環境）		2
		休講	保育内容（生活と環境）[2]		2	—	保育内容（生活と環境）[2]		2	■保育内容（生活と環境）[2]		2	■保育内容（生活と環境）[2]		2	保育内容（生活と環境）		2
		休講	保育内容（生活と環境）[3]		2	—	保育内容（生活と環境）[3]		2	保育内容（生活と環境）[3]		2	保育内容（生活と環境）[3]		2	保育内容（生活と環境）		2
	1科目 選択必修	3529	保育内容（表現）[1]		2	×	保育内容（表現）[1]		2	保育内容（表現）[1]		2	保育内容（表現）[1]		2	保育内容（表現）		2
		休講	保育内容（表現）[2]		2	×	保育内容（表現）[2]		2	保育内容（表現）[2]		2	保育内容（表現）[2]		2	保育内容（表現）		2
		休講	保育内容（表現）[3]		2	—	保育内容（表現）[3]		2	保育内容（表現）[3]		2	保育内容（表現）[3]		2	保育内容（表現）		2
	1科目 選択必修	3538	保育内容（健康）[1]		2	×	保育内容（健康）[1]		2	保育内容（健康）[1]		2	保育内容（健康）[1]		2	保育内容（健康）		2
		休講	保育内容（健康）[2]		2	×	保育内容（健康）[2]		2	保育内容（健康）[2]		2	保育内容（健康）[2]		2	保育内容（健康）		2
		休講	保育内容（健康）[3]		2	×	保育内容（健康）[3]		2	保育内容（健康）[3]		2	保育内容（健康）[3]		2	保育内容（健康）		2
	1科目 選択必修	3499	乳児保育[1]		2	×	乳児保育[1]		2	乳児保育[1]		2	乳児保育[1]		2	乳児保育		2
休講		乳児保育[2]		2	—	乳児保育[2]		2	乳児保育[2]		2	乳児保育[2]		2	乳児保育		2	
休講		乳児保育[3]		2	—	乳児保育[3]		2	乳児保育[3]		2	乳児保育[3]		2	乳児保育		2	
1科目 選択必修	3705	障がい児保育[1]		2	×	障がい児保育[1]		2	障がい児保育[1]		2	障がい児保育[1]		2	障がい児保育		2	
	休講	障がい児保育[2]		2	—	障がい児保育[2]		2	障がい児保育[2]		2	障がい児保育[2]		2	障がい児保育		2	
	休講	障がい児保育[3]		2	—	障がい児保育[3]		2	障がい児保育[3]		2	障がい児保育[3]		2	障がい児保育		2	
1科目 選択必修	3405	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]		2	×	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[1]		2	初等教育方法[1]		2	初等教育方法[1]		2	初等教育方法		2	
	休講	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]		2	×	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[2]		2	初等教育方法[2]		2	初等教育方法[2]		2	初等教育方法		2	
	休講	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[3]		2	×	初等教育方法（情報通信技術の活用含む）[3]		2	初等教育方法[3]		2	初等教育方法[3]		2	初等教育方法		2	
1科目 選択必修	3707	保育相談論[1]		2	×	保育相談論[1]		2	保育相談論[1]		2	保育相談論[1]		2	保育相談論		2	
	休講	保育相談論[2]		2	—	保育相談論[2]		2	保育相談論[2]		2	保育相談論[2]		2	保育相談論		2	
	休講	保育相談論[3]		2	—	保育相談論[3]		2	保育相談論[3]		2	保育相談論[3]		2	保育相談論		2	
1科目 選択必修	3505	初等教育相談		2	×	初等教育相談		2	初等教育相談		2	初等教育相談		2	初等教育相談		2	
	必修	3717	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1	×	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1
	選択必修	3717	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[2]		1	—	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[2]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[2]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[2]		1	教育実習事前・事後指導（幼稚園）[1]		1
1科目 選択必修	3719	教育実習（幼稚園）[1]		4	×	教育実習（幼稚園）[1]		4	教育実習（幼稚園）[1]		4	教育実習（幼稚園）[1]		4	教育実習（幼稚園）		4	
	選択必修	3719	教育実習（幼稚園）[2]		4	—	教育実習（幼稚園）[2]		4	教育実習（幼稚園）[2]		4	教育実習（幼稚園）[2]		4	教育実習（幼稚園）		4
	休講	教育実習（幼稚園）[3]		4	—	教育実習（幼稚園）[3]		4	教育実習（幼稚園）[3]		4	教育実習（幼稚園）[3]		4	教育実習（幼稚園）		4	
1科目 選択必修	3721	教職実践演習（幼児教育）[1]		2	×	教職実践演習（幼児教育）[1]		2	教職実践演習（幼児教育）[1]		2	教職実践演習（幼児教育）[1]		2	教職実践演習（幼児教育）		2	
	選択必修	3722	教職実践演習（幼児教育）[2]		2	×	教職実践演習（幼児教育）[2]		2	教職実践演習（幼児教育）[2]		2	教職実践演習（幼児教育）[2]		2	教職実践演習（幼児教育）		2
	休講	教職実践演習（幼児教育）[3]		2	—	教職実践演習（幼児教育）[3]		2	教職実践演習（幼児教育）[3]		2	教職実践演習（幼児教育）[3]		2	教職実践演習（幼児教育）		2	

教科に関する科目

必修/選択/選択必修	コード番号	2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講					2020年度開講				
		科目	授業	名	単位	履修 状況	科目	授業	名	単位	履修 状況	科目	授業	名	単位	履修 状況	科目	授業	名	単位	履修 状況
幼稚園 6単位	選択	3428	●国語の内容・構成[1]	1	2	×	●国語の内容・構成[1]	1	2	×	●国語の内容・構成[1]	1	2	×	国語の内容・構成		2				
		3429	国語の内容・構成[2]	2	2	×	国語の内容・構成[2]	2	2	×	国語の内容・構成[2]	2	2	×	国語の内容・構成		2				
		休講	国語の内容・構成[3]	3	2	—	国語の内容・構成[3]	3	2	—	国語の内容・構成[3]	3	2	—	国語の内容・構成		2				
	選択	3433	●算数の内容・構成[1]	1	2	×	●算数の内容・構成[1]	1	2	×	●算数の内容・構成[1]	1	2	×	算数の内容・構成		2				
		3434	算数の内容・構成[2]	2	2	×	算数の内容・構成[2]	2	2	×	算数の内容・構成[2]	2	2	×	算数の内容・構成		2				
		休講	算数の内容・構成[3]	3	2	—	算数の内容・構成[3]	3	2	—	算数の内容・構成[3]	3	2	—	算数の内容・構成		2				
	1科目 選択必修	3441	●子どもの音楽[1]	1	2	×	●子どもの音楽[1]	1	2	×	●子どもの音楽[1]	1	2	×	子どもの音楽		2				
		3467	子どもの音楽[2]	2	2	×	子どもの音楽[2]	2	2	×	子どもの音楽[2]	2	2	×	子どもの音楽		2				
		3468	子どもの音楽[3]	3	2	×	子どもの音楽[3]	3	2	×	子どもの音楽[3]	3	2	×	子どもの音楽		2				
		3469	子どもの音楽[4]	4	2	×	子どもの音楽[4]	4	2	×	子どもの音楽[4]	4	2	×	子どもの音楽		2				
		3470	子どもの音楽[5]	5	2	×	子どもの音楽[5]	5	2	×	子どもの音楽[5]	5	2	×	子どもの音楽		2				
		3471	子どもの音楽[6]	6	2	×	子どもの音楽[6]	6	2	×	子どもの音楽[6]	6	2	×	子どもの音楽		2				
	選択	3440	●音楽（楽器演奏）[1]	1	2	×	●音楽（楽器演奏）[1]	1-1	2	×	●音楽（楽器演奏）[1]	1	2	×	音楽（楽器演奏）[1]		2				
		3472	音楽（楽器演奏）[2]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[1]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[1]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[1]		2				
		3473	音楽（楽器演奏）[3]	3	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	3	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	3	2	×	音楽（楽器演奏）[1]		2				
		休講	音楽（楽器演奏）[4]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[3]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[3]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[1]		2				
		休講	音楽（楽器演奏）[5]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[4]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[4]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[1]		2				
		休講	音楽（楽器演奏）[6]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[5]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[5]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[1]		2				
	選択	3477	音楽（楽器演奏）[1]	1	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	1	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	1	2	×	音楽（楽器演奏）[2]		2				
		3478	音楽（楽器演奏）[2]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[2]	2	2	×	音楽（楽器演奏）[2]		2				
休講		音楽（楽器演奏）[3]	3	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	3	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	3	2	—	音楽（楽器演奏）[2]		2					
休講		音楽（楽器演奏）[4]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	4	2	—	音楽（楽器演奏）[2]		2					
休講		音楽（楽器演奏）[5]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	5	2	—	音楽（楽器演奏）[2]		2					
休講		音楽（楽器演奏）[6]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[2]	6	2	—	音楽（楽器演奏）[2]		2					
選択	3482	音楽（楽器演奏）[3]	1	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	1	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	1	2	○	音楽（楽器演奏）[3]		2					
	3483	音楽（楽器演奏）[2]	2	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	2	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	2	2	○	音楽（楽器演奏）[3]		2					
	休講	音楽（楽器演奏）[3]	3	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	3	2	○	音楽（楽器演奏）[3]	3	2	○	音楽（楽器演奏）[3]		2					
1科目 選択必修	3437	●生活科の内容・構成[1]	1	2	×	●生活科の内容・構成[1]	1	2	×	●生活科の内容・構成[1]	1	2	×	生活科の内容・構成		2					
	3438	生活科の内容・構成[2]	2	2	×	生活科の内容・構成[2]	2	2	×	生活科の内容・構成[2]	2	2	×	生活科の内容・構成		2					
	休講	生活科の内容・構成[3]	3	2	—	生活科の内容・構成[3]	3	2	—	生活科の内容・構成[3]	3	2	—	生活科の内容・構成		2					
	3442	●子どもの造形[1]	1	2	×	●子どもの造形[1]	1	2	×	●子どもの造形[1]	1	2	×	子どもの造形		2					
	3443	●子どもの造形[2]	2	2	×	●子どもの造形[2]	2	2	×	●子どもの造形[2]	2	2	×	子どもの造形		2					
	3444	●子どもの造形[3]	3	2	×	子どもの造形[3]	3	2	×	子どもの造形[3]	3	2	×	子どもの造形		2					
1科目 選択必修	3465	子どもの造形[4]	4	2	×	子どもの造形[4]	4	2	×	子どもの造形[4]	4	2	×	子どもの造形		2					
	3466	子どもの造形[5]	5	2	×	子どもの造形[5]	5	2	×	子どもの造形[5]	5	2	×	子どもの造形		2					
	3447	子どもの体育[1]	1	2	×	子どもの体育[1]	1	2	×	子どもの体育[1]	1	2	×	子どもの体育		2					
	3448	子どもの体育[2]	2	2	×	子どもの体育[2]	2	2	×	子どもの体育[2]	2	2	×	子どもの体育		2					
	3449	●子どもの体育[3]	3	2	×	●子どもの体育[3]	3	2	×	●子どもの体育[3]	3	2	×	子どもの体育		2					
	休講	●子どもの体育[3]	3	2	—	●子どもの体育[3]	3	2	—	●子どもの体育[3]	3	2	—	子どもの体育		2					

2023年度 中学校・高校 教職に関する科目 授業一覧表

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注3) 種別「条件付」とは……授業の備考欄を確認してください。

注4) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注5) 人数制限(抽選) 優先条件とは …「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注6) 時間割外オンラインとは……全週の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日6限までに課題提出する授業です。

注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝2018年度以前入学生対象 教職課程(中学校・高校) 全学科・全教科 受講者

教職に関する科目																
	必修/ 選択必修/ 選択	授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開 講 期 (形 態)	オン ライ ン	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考	
									1 年	2 年	3 年	4 年				
中 一 種 免 3 1 単 位 (社 会 科 3 5 単 位)	1 科目 選択必修	8501	教師論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ	
		8502	教師論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×		
	1 科目 選択必修	8503	教育心理学[1]	2	—	—	前期	○	—	2	3	4	上 野 ま ど か	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ	
		8504	教育心理学[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	阿 部 慶 賀	×		
	1 科目 選択必修	8505	教育原理[1]	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	山本由美/富樫千紘	×	[1][2]同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ	
		8506	教育原理[2]	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	西 村 史 子	×		
	(取 得 希 望 の 免 許 状 の 選 択 教 職 履 修 法 必 修)	8507	◆社会科・地歴科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	上 野 隆 生	×	こ 履 第 教 教 と 修 2 育 科 。 可 回 実 教 。 開 習 育 教 初 拓 校 法 回 説 開 2 授 明 拓 を 業 会 有 除 基 に 出 資 ぎ、 席 者 者 す の か つ る み	
		8508	◆社会科・公民科教育法	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	上 野 隆 生	×		
		8509	国語科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	津 田 博 幸	×		
		8510	国語科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	黒 川 孝 広	×		
		8511	英語科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	関 口 昭 男	×		
		8512	英語科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	関 口 昭 男	×		
		8514	美術科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	安 田 早 苗	×		
		8515	美術科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	安 田 早 苗	×		
		8516	保健体育科教育法 1	4	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	制 野 俊 弘	×		
		8517	保健体育科教育法 2	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	浅 川 俊 彦	×		
	高 一 種 免 2 7 単 位	中学校 1 科目 選択必修	8520	★道徳教育論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ
			8521	★道徳教育論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 本 由 美	×	
1 科目 選択必修			8522	特別活動論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	関 口 武	×	
	8523	特別活動論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	関 口 武	×			
1 科目 選択必修	8524	教育方法論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	滝 口 正 樹	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ		
	8525	教育方法論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	滝 口 正 樹	×			
1 科目 選択必修	8526	情報技術活用論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	立 野 貴 之	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ		
	8530	生徒・進路指導論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	中 村 岳 夫	×			
1 科目 選択必修	8531	生徒・進路指導論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	中 村 岳 夫	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ		
	8532	教育相談論[1]	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	高 坂 康 雅	×			
1 科目 選択必修	8533	教育相談論[2]	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	中 村 扶 実 子	×	[1][2]4月に同時履修登録不可 単位認定は1科目のみ		
	必修	(別途)	※教育実習事前・事後指導(中高)	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	(別 途)		×	次ページ参照 中学校教諭免許状取得者 高校教諭免許状のみ取得者
必修	(別途)	※教育実習 1	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	(別 途)	×		
必修	(別途)	※教育実習 2	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	—	4	(別 途)	×		
必修	8539	●教職実践演習(中高)	2	クラス指定必修	—	後期	—	—	—	—	—	4	山 本 由 美	×		
中学校必修		8538	★福祉介護論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	伊 吹 浩 一	×		
選択		8116	◎学校経営と学校図書館	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	稲 生 知 子	×	司書教諭課程科目	
		8117	◎学校図書館メディアの構成	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	司書教諭課程科目	
		8118	◎学習指導と学校図書館	2	—	—	前期	○	—	2	3	4	渡 辺 光 輝	×	司書教諭課程科目	
		8106	◎読書と豊かな人間性	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	石 澤 伊 久 美	×	司書教諭課程科目	
		8119	◎情報メディアの活用	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	松 井 勇 起	×	司書教諭課程科目	

◆社会科履修者は、「社会科・地歴科教育法」「社会科・公民科教育法」両方が必修となる。

★中学校教諭免許状取得においては「教職に関する科目」の必修科目となる。高校教諭免許状取得(商業科と情報科を除く)においては「教科又は教職に関する科目」の選択科目となる。

※「教育実習事前・事後指導(中高)」、「教育実習」、「教職実践演習(中高)」の3科目は同時履修。

※「教育実習事前・事後指導(中高)」と「教育実習」のうち、いずれか片方の科目のみ単位修得はできない。

◎「教科又は教職に関する科目」の選択科目となる。

◎司書教諭資格の取得を希望する場合は、別途、司書教諭課程の受講申請が必要となる。

2023年度「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」授業一覧表

「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」は、実際に教育実習を行う教科と担当教員を確認して登録すること。

注1) 種別「クラス指定必修」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能、かつ必ず履修が必要な授業です。

注2) 履修可能学年について………表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝2018年度以前入学生対象 教職課程（中学校・高校） 全学科・全教科 受講者

教職に関する科目（「教育実習事前・事後指導（中高）」「教育実習」）

実 習 教 科	授 業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オン ライ ン	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修
								1 年	2 年	3 年	4 年		
社会科 地理歴史科 公民科	8544	教育実習事前・事後指導（中高）[社会・地歴・公民2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	打 越 正 行	×
	8545	教育実習 1 [社会2]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8546	教育実習 2 [地歴・公民2]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8547	教育実習事前・事後指導（中高）[社会・地歴・公民3]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	稲 田 圭 祐	×
	8548	教育実習 1 [社会3]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8549	教育実習 2 [地歴・公民3]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
国語科	8550	教育実習事前・事後指導（中高）[国語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	津 田 博 幸	×
	8551	教育実習 1 [国語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8552	教育実習 2 [国語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
英語科	8553	教育実習事前・事後指導（中高）[英語]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	宮 崎 か す み	×
	8554	教育実習 1 [英語]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8555	教育実習 2 [英語]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
美術科	8558	教育実習事前・事後指導（中高）[美術]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	畑 中 朋 子	×
	8559	教育実習 1 [美術]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8560	教育実習 2 [美術]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
保健体育科	8561	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育1]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	制 野 俊 弘	×
	8562	教育実習 1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8563	教育実習 2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8568	教育実習事前・事後指導（中高）[保健体育2]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	矢 田 秀 昭	×
	8569	教育実習 1 [保健体育]	4	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
	8570	教育実習 2 [保健体育]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
商業科	8564	教育実習事前・事後指導（中高）[商業]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	鈴 木 岩 行	×
	8565	教育実習 2 [商業]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×
情報科	8566	教育実習事前・事後指導（中高）[情報]	1	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4	杉 本 昌 昭	×
	8567	教育実習 2 [情報]	2	クラス指定必修	—	通年	—	—	—	—	4		×

※「教育実習」は、取得希望の免許の校種により、単位修得しなければならない授業が異なる。履修登録の際に、注意すること。

取得希望教員免許状	単位修得しなければならない授業
中学校/高等学校 両方	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習1 4単位
中学校のみ	
高等学校のみ	・教育実習事前・事後指導（中高）1単位 ・教育実習2 2単位

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 社会科（中学） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教職に関する科目（本冊子P83参照）

3 5 単 位	教師論（2単位）	教育心理学（2単位）	教育原理（4単位）
	社会科・地歴科教育法と社会科・公民科教育法（8単位）		
	道徳教育論（2単位）	特別活動論（2単位）	教育方法論（2単位） 情報技術活用論（2単位）
	生徒・進路指導論（2単位）	教育相談論（2単位）	教育実習事前・事後指導（中高）（1単位）
	教育実習1（4単位）	教職実践演習（中高）（2単位）	

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55)を参照

科目名に●が付いている科目は【現代社会学科生のみ履修可】です。現代社会学科以外の学生が、教職課程（現代社会学科・社会科）を履修している場合、初回授業までに教学支援室資格係に申し出た者に限り、履修可となります。

教科に関する科目

3 2 単 位	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	※ 履修	授業コード	科目[授業]名	単位	※ 履修	授業コード	科目[授業]名	単位	※ 履修	授業コード	科目[授業]名	単位	※ 履修
	日本史 及び 外国史	必修	8594	日本史概説	4	×	8594	日本史概説	4	×	8594	日本史概説	4	×	8594	日本史概説	4	×
			8596	外国史概説	4	×	8596	外国史概説	4	×	8596	外国史概説	4	×	8596	外国史概説	4	×
		選択	4811	現代世界入門A	2	×	4811	現代世界入門A	2	×	4811	現代世界入門A	2	×	4811	現代世界入門A	2	×
			4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×
			休講	アジアにおける民族関係	2	—	休講	アジアにおける民族関係	2	—	休講	アジアにおける民族関係	2	—	休講	アジアにおける民族関係	2	—
			4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×	4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×	4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×	4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×
	地理学 (地誌を含む。)	必修	8598	人文地理学	4	×	8598	人文地理学	4	×	8598	人文地理学	4	×	8598	人文地理学	4	×
			8599	地誌	4	×	8599	地誌	4	×	8599	地誌	4	×	8599	地誌	4	×
			8600	自然地理学	4	×	8600	自然地理学	4	×	8600	自然地理学	4	×	8600	自然地理学	4	×
		選択	4812	現代世界入門B	2	×	4812	現代世界入門B	2	×	4812	現代世界入門B	2	×	4812	現代世界入門B	2	×
			4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	4834	朝鮮の社会と文化A	2	○
			4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	4835	朝鮮の社会と文化B	2	○
			4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	4838	モンゴルの社会と文化A	2	○
			4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	4839	モンゴルの社会と文化B	2	○
			5223	太平洋の文化と歴史	2	×	5223	太平洋の文化と歴史	2	×	5223	太平洋の文化と歴史	2	×	5223	太平洋の文化と歴史	2	×
			5224	アフリカの文化と歴史	2	×	5224	アフリカの文化と歴史	2	×	5224	アフリカの文化と歴史	2	×	5224	アフリカの文化と歴史	2	×
	「法学、 政治学」	必修	8601	法学（国際法を含む）	4	×	8601	法学（国際法を含む）	4	×	8601	法学（国際法を含む）	4	×	8601	法学（国際法を含む）	4	×
			4322	政治社会学	2	○	4322	政治社会学	2	○	4322	政治社会学	2	○	4322	政治社会学	2	○
	「社会学、 経済学」	1セット 選択必修	4806	セッ ト ●社会学入門A	2	×	4806	セッ ト ●社会学入門A	2	×	4806	セッ ト ●社会学入門A	2	×	4806	セッ ト ●社会学入門A	2	×
			4807	●社会学入門B	2	×	4807	●社会学入門B	2	×	4807	●社会学入門B	2	×	4807	●社会学入門B	2	×
		選択	休講	社会学理論	2	—	休講	社会学理論	2	—	休講	社会学理論	2	—	休講	社会学理論	2	—
			4327	経済と人間社会	2	○	4327	経済と人間社会	2	○	4327	経済と人間社会	2	○	4327	経済と人間社会	2	○
			4826	福祉社会学A	2	×	4826	福祉社会学A	2	×	4826	福祉社会学A	2	×	4826	福祉社会学A	2	×
			休講	福祉社会学B	2	—	休講	福祉社会学B	2	—	休講	福祉社会学B	2	—	休講	福祉社会学B	2	—
			4306	グローバル社会学	2	×	4306	グローバル社会学	2	×	4306	グローバル社会学	2	×	4306	グローバル社会学	2	×
			4407	現代社会とNGO・NPO	2	×	4407	現代社会とNGO・NPO	2	×	4407	現代社会とNGO・NPO	2	×	4407	現代社会とNGO・NPO	2	×
			休講	現代社会とジェンダーA	2	—	休講	現代社会とジェンダーA	2	—	休講	現代社会とジェンダーA	2	—	休講	現代社会とジェンダーA	2	—
			4313	現代社会とジェンダーB	2	×	4313	現代社会とジェンダーB	2	×	4313	現代社会とジェンダーB	2	×	4313	現代社会とジェンダーB	2	×
	「哲学、 倫理学、 宗教学」	必修	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×	8603	哲学概論	4	×

教科又は教職に関する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

8 単 位	「教科に関する科目32単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
	「教職に関する科目35単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
	福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
	学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子P11参照)

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 地理歴史科（高校） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

27 単位 教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 社会科・地歴科教育法（4 単位）
特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位）
生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位）
教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4800番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55)を参照

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	重複	科目[授業]名	単位			科目[授業]名	単位			科目[授業]名	単位		
20 単位	日本史	必修	8594	日本史概説	4	×	日本史概説	4			日本史概説	4			日本史概説	4		
		選択	4829	日本における民族関係A (在日外国人)	2	×	日本における民族関係A (在日外国人)	2			日本における民族関係A (在日外国人)	2			日本における民族関係A (在日外国人)	2		
	外国史	必修	8596	外国史概説	4	×	外国史概説	4			外国史概説	4			外国史概説	4		
		選択	4811	現代世界入門A	2	×	現代世界入門A	2			現代世界入門A	2			現代世界入門A	2		
			休講	アジアにおける民族関係	2	—	現代ヨーロッパ社会論A	2							現代ヨーロッパ社会論A	2		
			4335	現代ヨーロッパ社会論A	2	×												
	人文地理学 及び 自然地理学	必修	8598	人文地理学	4	×	人文地理学	4			人文地理学	4			人文地理学	4		
		必修	8600	自然地理学	4	×	自然地理学	4			自然地理学	4			自然地理学	4		
		選択	4812	現代世界入門B	2	×	現代世界入門B	2			現代世界入門B	2			現代世界入門B	2		
			4834	朝鮮の社会と文化A	2	○	朝鮮の社会と文化A	2			朝鮮の社会と文化A	2			朝鮮の社会と文化A	2		
			4835	朝鮮の社会と文化B	2	○	朝鮮の社会と文化B	2			朝鮮の社会と文化B	2			朝鮮の社会と文化B	2		
			4838	モンゴルの社会と文化A	2	○	中国の社会と文化A	2			中国の社会と文化A	2			中国の社会と文化A	2		
			4839	モンゴルの社会と文化B	2	○	中国の社会と文化B	2			中国の社会と文化B	2			中国の社会と文化B	2		
			5223	太平洋の文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化A	2			モンゴルの社会と文化A	2			モンゴルの社会と文化A	2		
			5224	アフリカの文化と歴史	2	×	モンゴルの社会と文化B	2			モンゴルの社会と文化B	2			モンゴルの社会と文化B	2		
	地誌	必修	8599	地誌	4	×	太平洋の文化と歴史	2			太平洋の文化と歴史	2			太平洋の社会と文化	2		
							アフリカの文化と歴史	2			アフリカの文化と歴史	2			アフリカの社会と文化	2		

教科又は教職に関する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

16 単位 「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

※社会と地理歴史の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2023年度 現代人間学部 現代社会学科 公民科（高校） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位	日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）
------	--

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

27 単位	教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 社会科・公民科教育法（4 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）
-------	---

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台、4000番台の科目→現代社会学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55)を参照

科目名に●が付いている科目は【現代社会学科生のみ履修可】です。現代社会学科以外の学生が、教職課程（現代社会学科・公民科）を履修している場合、初回授業までに教学支援室資格係に申し出た者に限り、履修可となります。

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講					2022年度開講		2021年度開講		2020年度開講	
			授業コード	科目[授業]名	単位	重複		科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位
20 単位	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	必修	8601	法律学（国際法を含む）	4	×		法律学（国際法を含む）	4	法律学（国際法を含む）	4	法律学（国際法を含む）	4
		選択	4322	政治社会学	2	○				政治社会学	2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1セット 選択必修	4806	セッ ト ●社会学入門A	2	×		セッ ト ●社会学入門A	2	セッ ト ●社会学入門A	2	セッ ト ●社会学入門A	2
			4807	●社会学入門B	2	×		●社会学入門B	2	●社会学入門B	2	●社会学入門B	2
		選択	休講	社会学理論	2	—		社会学理論	2	福祉社会学A	2	現代社会学理論	2
			4327	経済と人間社会	2	○		経済と人間社会	2	グローバル社会学	2	現代社会と階層分化B	2
			4826	福祉社会学A	2	×		福祉社会学B	2	現代社会とNGO・NPO	2	福祉社会学A	2
			休講	福祉社会学B	2	—		現代社会とNGO・NPO	2	現代社会とジェンダーA	2	福祉社会学B	2
			4306	グローバル社会学	2	×		現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーB	2	グローバル社会学	2
			4407	現代社会とNGO・NPO	2	×		現代社会とジェンダーB	2			現代社会とNGO・NPO	2
			休講	現代社会とジェンダーA	2	—						現代社会とジェンダーA	2
			4313	現代社会とジェンダーB	2	×						現代社会とジェンダーB	2
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	必修	8603	哲学概論	4	×		哲学概論	4	哲学概論	4	哲学概論	4
		選択	3003	心理学概論	2	×		心理学概論	2	心理学概論	2	心理学概論	2

教科又は教職に関する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

16 単位	「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」 「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」 道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位） 学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）
-------	---

※社会と公民の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2023年度 現代人間学部 身体環境共生学科 保健体育科（中学） 授業一覧表

対象＝2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P83 参照）

31 単位	教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 保健体育科教育法 1（4 単位） 道徳教育論（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 1（4 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）
-------	--

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の 4200 番台、4400 番台の科目→身体環境共生学科専門科目を参照

教科に関する科目		2023年度開講					2022年度開講					2021年度開講					2020年度開講				
免許法施行規則の規定に定める科目区分		必修/ 選択必修/ 選択	授業コード	科目 [授業] 名	単位	単位数	科目 [授業] 名	単位	単位数	科目 [授業] 名	単位	単位数	科目 [授業] 名	単位	単位数	科目 [授業] 名	単位	単位数			
23 単位	体育実技	1科目	4255	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	0			
		選択必修	4256	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	0	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	0			
		選択	4253	スポーツ方法学実習（体つくり運動1）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動1）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動1）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動1）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動1）	1	0			
			4254	スポーツ方法学実習（体つくり運動2）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動2）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動2）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動2）	1	0	スポーツ方法学実習（体つくり運動2）	1	0			
		1科目	4259	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	0			
		選択必修	4260	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	0	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	0			
		1科目	4245	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	0			
		選択必修	4246	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	0	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	0			
		1科目	4243	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	0			
			4244	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	0	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	0			
			4257	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	0			
		1科目	4258	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	0	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	0			
			4247	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	0			
			4248	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	0	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	0			
			4249	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	0	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	0	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	0	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	0	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	0			
			4250	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	0	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	0	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	0	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	0	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	0			
			4251	スポーツ方法学実習（卓球）	1	0	スポーツ方法学実習（卓球）	1	0	スポーツ方法学実習（卓球）	1	0	スポーツ方法学実習（卓球）	1	0	スポーツ方法学実習（卓球）	1	0			
			4252	スポーツ方法学実習（テニス）	1	0	スポーツ方法学実習（テニス）	1	0	スポーツ方法学実習（テニス）	1	0	スポーツ方法学実習（テニス）	1	0	スポーツ方法学実習（テニス）	1	0			
			4261	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	0			
			4262	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	0			
			4263	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	0	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	0	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	0	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	0	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	0			
			4264	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	0			
			4265	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	0	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	0			
	「体育原理、体育心理学、体育経営学、体育社会学、体育史及び運動学（運動方法学を含む。）」	必修	4408	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×			
		必修	4240	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×	運動学	2	×			
		必修	4242	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×			
		必修	4278	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×			
		選択	4215	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×			
			4216	障害児運動支援学	2	×	発育発達論	2	×	障害児運動支援学	2	×	発育発達論	2	×	障害児運動支援学	2	×			
			休講	発育発達論	2	—	コーチング論	2	×	健康教育学	2	×	コーチング論	2	×	健康教育学	2	×			
			4221	健康教育学	2	×	スポーツマーケティング論	2	×	コーチング論	2	×	スポーツマーケティング論	2	×	コーチング論	2	×			
			4226	表現運動学	2	×	—	—	スポーツマーケティング論	2	×	—	—	スポーツマーケティング論	2	×	—	—			
			4241	コーチング論	2	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
			休講	スポーツマーケティング論	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	生理学(運動生理学を含む。)	必修	4222	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×			
		選択	4237	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×			
	衛生学及び公衆衛生学	必修	4208	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×			
		必修	4209	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×	衛生学	2	×			
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	必修	4214	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×				
	必修	4223	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×				
	選択	休講	現代社会と心身問題A	2	—	現代社会と心身問題A	2	—	現代社会と心身問題A	2	—	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題A	2	—				
		4402	現代社会と心身問題B	2	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

教科又は教職に関する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

8 単位	「教科に関する科目 23 単位」を超えて取得した「教科に関する科目」 「教職に関する科目 31 単位」を超えて取得した「教職に関する科目」 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位） 学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）
------	---

その他の要件

介護等体験(本冊子 P11 参照)

2023年度 現代人間学部 身体環境共生学科 保健体育科（高校） 授業一覧表

対象＝2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P83 参照）

27 単位
教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 保健体育科教育法 1（4 単位）
特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位）
教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4200番台、4400番台の科目→身体環境共生学科専門科目を参照

教科に関する科目

23 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目 [授 業] 名	単 位	年 次	授業コード	科目 [授 業] 名	単 位	年 次	授業コード	科目 [授 業] 名	単 位	年 次	授業コード	科目 [授 業] 名	単 位	年 次
23 単位	体育実技	1 科目 選択必修	4255	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（器械体操1）	1	○	○
			4256	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（器械体操2）	1	○	○
			4253	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動1）	1	○	○
			4254	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（体づくり運動2）	1	○	○
			4259	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（陸上競技1）	1	○	○
			4260	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（陸上競技2）	1	○	○
			4245	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（水泳1）	1	○	○
			4246	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（水泳2）	1	○	○
			4243	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス1）	1	○	○
			4244	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ストレッチング&ダンス2）	1	○	○
			4257	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（柔道1）	1	○	○
			4258	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（柔道2）	1	○	○
			4247	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バレー1）	1	○	○
			4248	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バレー2）	1	○	○
			4249	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バドミントン）	1	○	○
			4250	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	○	スポーツ方法学実習（サッカー）	1	○	○
			4251	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	○	スポーツ方法学実習（卓球）	1	○	○
			4252	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	○	スポーツ方法学実習（テニス）	1	○	○
			4261	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール1）	1	○	○
			4262	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（バスケットボール2）	1	○	○
			4263	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	○	スポーツ方法学実習（フットサル）	1	○	○
			4264	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール1）	1	○	○
			4265	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	○	スポーツ方法学実習（ソフトボール2）	1	○	○
	体育原理、体育心理学、体育経営学、体育社会学、体育史、及び運動学（運動方法学を含む。）	必修	4408	スポーツ社会学	2	×	スポーツ社会学	2	×	×	スポーツ社会学	2	×	×	スポーツ社会学	2	×	×
			4240	運動学	2	×	運動学	2	×	×	運動学	2	×	×	運動学	2	×	×
			4242	スポーツ心理学	2	×	スポーツ心理学	2	×	×	スポーツ心理学	2	×	×	スポーツ心理学	2	×	×
			4278	スポーツマネジメント論	2	×	スポーツマネジメント論	2	×	×	スポーツマネジメント論	2	×	×	スポーツマネジメント論	2	×	×
		選択	4215	健康管理学概論	2	×	健康管理学概論	2	×	×	健康管理学概論	2	×	×	健康管理学概論	2	×	×
			4216	障害児運動支援学	2	×	障害児運動支援学	2	×	×	障害児運動支援学	2	×	×	障害児運動支援学	2	×	×
			休講	発育発達論	2	—	発育発達論	2	—	—	発育発達論	2	—	—	発育発達論	2	—	—
			4221	健康教育学	2	×	健康教育学	2	×	×	健康教育学	2	×	×	健康教育学	2	×	×
			4226	表現運動学	2	×	表現運動学	2	×	×	表現運動学	2	×	×	表現運動学	2	×	×
			4241	コーチング論	2	×	コーチング論	2	×	×	コーチング論	2	×	×	コーチング論	2	×	×
			休講	スポーツマーケティング論	2	—	スポーツマーケティング論	2	—	—	スポーツマーケティング論	2	—	—	スポーツマーケティング論	2	—	—
	生理学(運動生理学を含む。)	必修	4222	運動生理学	2	×	運動生理学	2	×	×	運動生理学	2	×	×	運動生理学	2	×	×
			4237	スポーツトレーニング論	2	×	スポーツトレーニング論	2	×	×	スポーツトレーニング論	2	×	×	スポーツトレーニング論	2	×	×
	衛生学及び公衆衛生学	必修	4208	公衆衛生学	2	×	公衆衛生学	2	×	×	公衆衛生学	2	×	×	公衆衛生学	2	×	×
			4209	衛生学	2	×	衛生学	2	×	×	衛生学	2	×	×	衛生学	2	×	×
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	必修	4214	学校保健学	2	×	学校保健学	2	×	×	学校保健学	2	×	×	学校保健学	2	×	×
			4223	スポーツ医学と救急処置	2	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	×	スポーツ医学と救急処置	2	×	×
		選択	休講	現代社会と心身問題A	2	—	現代社会と心身問題A	2	—	—	現代社会と心身問題A	2	—	—	現代社会と心身問題A	2	—	—
			4402	現代社会と心身問題B	2	×	現代社会と心身問題B	2	×	×	現代社会と心身問題B	2	×	×	現代社会と心身問題B	2	×	×

教科又は教職に関する科目

(他教科教育法を含めることはできない)

16 単位 「教科に関する科目23単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習 1（4 単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 総合文化学科 国語科（中学） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

3 教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 国語科教育法 1（4 単位）
1 道徳教育論（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位）
単 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位） 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位）
位 教育実習 1（4 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000 番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	実施	科目[授業]名	単位	実施	科目[授業]名	単位	実施	科目[授業]名	単位	実施	科目[授業]名	単位	実施
2 0 単位	国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×
		必修	5327	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×
		選択	5336	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○	日本語を学ぶ1	2	○
			5337	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○	日本語を学ぶ2	2	○
			5338	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○	日本語を学ぶ3	2	○
			5339	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○	日本語を学ぶ4	2	○
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○
	国文学 （国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○	日本文学序論1	2	○
		必修	5302	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○	日本文学序論2	2	○
		選択	5110	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○	日本の文化と文学1	2	○
			5111	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○	日本の文化と文学2	2	○
			5112	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	日本の文化と文学3	2	○	近現代の文学1	2	○
			5113	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2	○	日本の文化と文学4	2	○	近現代の文学2	2	○
			5313	近現代の文学1	2	○	近現代の文学1	2	○	近現代の文学1	2	○	近現代の文学1	2	○	東北日本の詩人たち	4	○
			5314	近現代の文学2	2	○	近現代の文学2	2	○	近現代の文学2	2	○	近現代の文学2	2	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○
			5321	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	古代の文化と言語表現	4	○
			5910	現代文学のメディア・ミックス	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	近世の文化と言語表現	4	○
			5915	日本近現代文学の多様性	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○			
			5911	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○			
			5902	近世の文化と言語表現	4	○												
	漢文学	1科目 選択必修	5201	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○	中国古典のこぼし1	2	○
			5202	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○	中国古典のこぼし2	2	○
	書道（書写を中心とする。）	1科目 選択必修	5324	書道1	2	○	書道1	2	○	書道1	2	○	書道1	2	○	書道1	2	○
			5325	書道2	2	○	書道2	2	○	書道2	2	○	書道2	2	○	書道2	2	○

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

8 単位 「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目31単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

その他の要件

介護等体験(本冊子 P 11 参照)

2023年度 表現学部 総合文化学科 国語科（高校） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教職に関する科目（本冊子P83参照）

27単位
教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 国語科教育法1（4単位） 特別活動論（2単位）
教育方法論（2単位） 情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目 [授 業] 名	単位	重複	科目 [授 業] 名	単位	重複	科目 [授 業] 名	単位	重複	科目 [授 業] 名	単位	重複			
20単位	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	必修	5326	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×	日本語学序論1	2	×			
		必修	5327	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×	日本語学序論2	2	×			
		選択	5336	日本語を学ぶ 1	2	○	日本語を学ぶ 1	2	○	日本語を学ぶ 1	2	○	日本語を学ぶ 1	2	○			
			5337	日本語を学ぶ 2	2	○	日本語を学ぶ 2	2	○	日本語を学ぶ 2	2	○	日本語を学ぶ 2	2	○			
			5338	日本語を学ぶ 3	2	○	日本語を学ぶ 3	2	○	日本語を学ぶ 3	2	○	日本語を学ぶ 3	2	○			
			5339	日本語を学ぶ 4	2	○	日本語を学ぶ 4	2	○	日本語を学ぶ 4	2	○	日本語を学ぶ 4	2	○			
			5905	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○	日本語のしくみを考える	4	○			
	国文学（国文学史を含む。）	必修	5301	日本文学序論 1	2	○	日本文学序論 1	2	○	日本文学序論 1	2	○	日本文学序論 1	2	○			
		必修	5302	日本文学序論 2	2	○	日本文学序論 2	2	○	日本文学序論 2	2	○	日本文学序論 2	2	○			
		選択	5110	日本の文化と文学 1	2	○	日本の文化と文学 1	2	○	日本の文化と文学 1	2	○	日本の文化と文学 1	2	○			
			5111	日本の文化と文学 2	2	○	日本の文化と文学 2	2	○	日本の文化と文学 2	2	○	日本の文化と文学 2	2	○			
			5112	日本の文化と文学 3	2	○	日本の文化と文学 3	2	○	日本の文化と文学 3	2	○	近現代の文学 1	2	○			
			5113	日本の文化と文学 4	2	○	日本の文化と文学 4	2	○	日本の文化と文学 4	2	○	近現代の文学 2	2	○			
			5313	近現代の文学 1	2	○	近現代の文学 1	2	○	近現代の文学 2	2	○	東北日本の詩人たち	4	○			
			5314	近現代の文学 2	2	○	近現代の文学 2	2	○	漢文学の世界	2	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○			
			5321	漢文学の世界	2	○	漢文学の世界	2	○	東北日本の詩人たち	4	○	古代の文化と言語表現	4	○			
			5910	現代文学のメディア・ミックス	4	○	日本近現代文学の多様性	4	○	現代文学のメディア・ミックス	4	○	近世の文化と言語表現	4	○			
			5915	日本近現代文学の多様性	4	○	古代の文化と言語表現	4	○	古代の文化と言語表現	4	○						
			5911	古代の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○	近世の文化と言語表現	4	○						
			5902	近世の文化と言語表現	4	○												
	漢文学	1科目 選択必修	5201	中国古典のこぼし 1	2	○	中国古典のこぼし 1	2	○	中国古典のこぼし 1	2	○	中国古典のこぼし 1	2	○			
			5202	中国古典のこぼし 2	2	○	中国古典のこぼし 2	2	○	中国古典のこぼし 2	2	○	中国古典のこぼし 2	2	○			

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

16単位
「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 総合文化学科 英語科（中学） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

3
1
単
位
教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 英語科教育法 1（4 単位） 道德教育論（2 単位）
特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位）
教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 1（4 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の 5000 番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

教科に関する科目

20 単 位	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修	授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修	授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修	授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修
	英語学	必修	5410	英語学序論 1	2	×	英語学序論 1	2	×	英語学序論 1	2	×	英語学序論 1	2	×	英語学序論 1	2	×
			5411	英語学序論 2	2	×	英語学序論 2	2	×	英語学序論 2	2	×	英語学序論 2	2	×	英語学序論 2	2	×
		選択	5417	音声学 1	2	○	音声学 1	2	○	音声学 1	2	○	音声学 1	2	○	音声学 1	2	○
			5418	音声学 2	2	○	音声学 2	2	○	音声学 2	2	○	音声学 2	2	○	音声学 2	2	○
			5901	英語のしくみを考える	4	○	英語のしくみを考える	4	○	英語のしくみを考える	4	○	英語のしくみを考える	4	○	英語のしくみを考える	4	○
			休講	英語コミュニケーションと文化	4	—	英語コミュニケーションと文化	4	—	英語コミュニケーションと文化	4	—	英語コミュニケーションと文化	4	—	英語コミュニケーションと文化	4	—
			休講	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—	英語の歴史	2	—
			休講	外国語習得理論	2	—	外国語習得理論	2	—	外国語習得理論	2	—	外国語習得理論	2	—	外国語習得理論	2	—
	英米文学	必修	5401	英米文学序論 1	2	×	英米文学序論 1	2	×	英米文学序論 1	2	×	英米文学序論 1	2	×	英米文学序論 1	2	×
			5402	英米文学序論 2	2	×	英米文学序論 2	2	×	英米文学序論 2	2	×	英米文学序論 2	2	×	英米文学序論 2	2	×
		選択	5403	英語の古典文芸 1	2	○	英語の古典文芸 1	2	○	英語の古典文芸 1	2	○	英語の古典文芸 1	2	○	英語の古典文芸 1	2	○
			5404	英語の古典文芸 2	2	○	英語の古典文芸 2	2	○	英語の古典文芸 2	2	○	英語の古典文芸 2	2	○	英語の古典文芸 2	2	○
			休講	英語を学ぶ 1	2	—	英語を学ぶ 2	2	—	英語を学ぶ 1	2	—	英語を学ぶ 1	2	—	英語を学ぶ 2	2	—
			5422	英語を学ぶ 2	2	○	英語を学ぶ 4	2	○	英語を学ぶ 2	2	○	英語を学ぶ 2	2	○	ことばの詩学	4	○
			休講	英語を学ぶ 3	2	—	ことばの詩学	4	—	英語を学ぶ 4	2	—	ことばの詩学	4	—			
			5424	英語を学ぶ 4	2	○				ことばの詩学	4	○						
	英語コ ミュニ ケーシ ョン	1 セット 選択必修	5425	セット 英語で語る 1	2	○	セット 英語で語る 1	2	○	セット 英語で語る 1	2	○	セット 英語で語る 1	2	○	セット 英語で語る 1	2	○
			5426	セット 英語で語る 2	2	○	セット 英語で語る 2	2	○	セット 英語で語る 2	2	○	セット 英語で語る 2	2	○	セット 英語で語る 2	2	○
			5427	セット 英語で語る 3	2	○	セット 英語で語る 3	2	○	セット 英語で語る 3	2	○	セット 英語で語る 3	2	○	セット 英語で語る 3	2	○
			5428	セット 英語で語る 4	2	○	セット 英語で語る 4	2	○	セット 英語で語る 4	2	○	セット 英語で語る 4	2	○	セット 英語で語る 4	2	○
			5429	セット 英語文章表現 1	2	○	セット 英語文章表現 1	2	○	セット 英語文章表現 1	2	○	セット 英語文章表現 1	2	○			
			5430	セット 英語文章表現 2	2	○	セット 英語文章表現 2	2	○	セット 英語文章表現 2	2	○	セット 英語文章表現 2	2	○			
	異文化理 解	必修	5115	日英比較文化論 1	2	×	日英比較文化論 1	2	×	日英比較文化論 1	2	×	日英比較文化論 1	2	×	日英比較文化論 1	2	×
			5116	日英比較文化論 2	2	×	日英比較文化論 2	2	×	日英比較文化論 2	2	×	日英比較文化論 2	2	×	日英比較文化論 2	2	×
		選択	5408	英語圏の文化 1	2	×	英語圏の文化 1	2	×	英語圏の文化 1	2	×	英語圏の文化 1	2	×			
			5409	英語圏の文化 2	2	×	英語圏の文化 2	2	×	英語圏の文化 2	2	×	英語圏の文化 2	2	×			

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

8 単 位	「教科に関する科目 20 単位」を超えて取得した「教科に関する科目」 「教職に関する科目 31 単位」を超えて取得した「教職に関する科目」 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位） 学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）
-------------	---

その他の要件

介護等体験(本冊子 P 11 参照)

2023年度 表現学部 総合文化学科 英語科（高校） 授業一覧表

対象＝2016年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教職に関する科目（本冊子P83参照）

2 教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 英語科教育法1（4単位）
 7 特別活動論（2単位） 教育方法論（2単位） 情報技術活用論（2単位）
 単 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
 位 教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の5000番台の科目→総合文化学科専門科目を参照

教科に関する科目

2023年度開講	2022年度開講	2021年度開講	2020年度開講
免状法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	必修/ 選択必修/ 選択	必修/ 選択必修/ 選択
授業コード	科目[授業]名	単位	単位
英語学	必修	5410 英語学序論1	2
	必修	5411 英語学序論2	2
	選択	5417 音声学1	2
		5418 音声学2	2
		5901 英語のしくみを考える	4
		休講 英語コミュニケーションと文化	4
		休講 英語の歴史	2
		休講 外国語習得理論	2
英米文学	必修	5401 英米文学序論1	2
	必修	5402 英米文学序論2	2
	選択	5403 英語の古典文芸1	2
		5404 英語の古典文芸2	2
		休講 英語を学ぶ1	2
		5422 英語を学ぶ2	2
		休講 英語を学ぶ3	2
		5424 英語を学ぶ4	2
		5903 ことばの詩学	4
英語コ ミュニ ケーシ ョン	1セット 選択必修	5425 セット 英語で語る1	2
		5426 セット 英語で語る2	2
		5427 セット 英語で語る3	2
		5428 セット 英語で語る4	2
		5429 セット 英語文章表現1	2
		5430 セット 英語文章表現2	2
異文化理 解	必修	5115 日英比較文化論1	2
	必修	5116 日英比較文化論2	2
	選択	5408 英語圏の文化1	2
		5409 英語圏の文化2	2

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

16 単位 「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
 「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
 道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
 学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 表現学部 芸術学科 美術科（中学） 授業一覧表

対象＝2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

3 教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 美術科教育法 1（4 単位）
1 道徳教育論（2 単位） 特別活動論（2 単位） 教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位）
単 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位）
位 教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 1（4 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目 [授 業] 名	単位	開講	科目 [授 業] 名	単位	開講	科目 [授 業] 名	単位	開講	科目 [授 業] 名	単位	開講	科目 [授 業] 名	単位	開講
20 単位	絵画（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6501	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○
			6503	絵画表現 1	4	○	絵画表現 1	4	○	絵画表現 1	4	○	絵画表現 1	4	○	絵画表現 1	4	○
			6504	絵画表現 2	4	○	絵画表現 2	4	○	絵画表現 2	4	○	絵画表現 2	4	○	絵画表現 2	4	○
		選択	6512	版画技法 1（銅版・木版）	4	○	版画技法 1（銅版・木版）	4	○	版画技法 1（銅版・木版）	4	○						
			6516	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○						
			6517	日本古典技法 2（にわで描く）	4	○	日本古典技法 2（にわで描く）	4	○	日本古典技法 2（にわで描く）	4	○						
	彫刻	1科目 選択必修	6509	現代美術の立体表現研究 1	4	×	現代美術の立体表現研究 1	4	×	彫刻表現の基礎 1	4	○	現代美術の立体表現研究 1	4	○	現代美術の立体表現研究 1	4	○
			6510	現代美術の立体表現研究 2	4	×	現代美術の立体表現研究 2	4	×	彫刻表現の基礎 2	4	○	現代美術の立体表現研究 2	4	○	現代美術の立体表現研究 2	4	○
			6410	彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○				彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○
			6411	彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○				彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○
		選択	休講	現代美術の造形技法研究 1	4	—				現代美術の造形技法研究 1	4	○						
			休講	現代美術の造形技法研究 2	4	—				現代美術の造形技法研究 2	4	○						
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6416	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×
			6417	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○
		選択	6713	アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×				アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×
	工芸	必修	6414	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×	プロダクトデザインの基礎	4	×
			6513	版画技法 2（シルクスクリーン）	4	○	版画技法 2（シルクスクリーン）	4	○	版画技法 2（シルクスクリーン）	4	○	版画技法 2（シルクスクリーン）	4	○	版画技法 2（シルクスクリーン）	4	○
		選択	6611	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○	デザイン造形研究	4	○
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1科目 選択必修	6302	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×
			休講	アートコミュニケーション	2	—				アートコミュニケーション	2	—						
		選択	6301	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×
			6303	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○
			6309	現代絵画論基礎 1	2	×	現代絵画論基礎 1	2	×	現代絵画論基礎 1	2	×	現代絵画論基礎 1	2	×	現代絵画論基礎 1	2	×
			6701	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	日本美術史 1（上代～近世）	2	×				日本美術史 1（上代～近世）	2	×	日本美術史 1（上代～近世）	2	×
			6702	日本美術史 2（近代）	2	○							日本美術史 2（近代）	2	○	日本美術史 2（近代）	2	○

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

8 単位 「教科に関する科目 20 単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目 31 単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

その他の要件

介護等体験（本冊子 P 11 参照）

2023年度 表現学部 芸術学科 美術科（高校） 授業一覧表

対象＝2018年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教職に関する科目（本冊子P83参照）

27単位
教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 美術科教育法1（4単位） 特別活動論（2単位）
教育方法論（2単位） 情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
教育実習事前・事後指導（中・高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中・高）（2単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の6000番台の科目→芸術学科専門科目を参照

教科に関する科目

免許法施行規則の規定 に定める科目区分		必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科 目 [授 業] 名	単位	履修 状況	科 目 [授 業] 名	単位	履修 状況	科 目 [授 業] 名	単位	履修 状況	科 目 [授 業] 名	単位	履修 状況			
20 単位	絵画（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6501	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○	絵画材料の研究 1	4	○
			6503	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○	絵画表現1	4	○
			6504	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○	絵画表現2	4	○
		選択	6512	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○	版画技法1（銅版・木版）	4	○						
			6516	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○	日本古典技法 1（墨で描く）	4	○			
			6517	日本古典技法 2（にかわで描く）	4	○	日本古典技法 2（にかわで描く）	4	○	日本古典技法 2（にかわで描く）	4	○	日本古典技法 2（にかわで描く）	4	○			
	彫刻	1科目 選択必修	6509	現代美術の立体表現研究 1	4	×	現代美術の立体表現研究 1	4	×	彫刻表現の基礎 1	4	×	現代美術の立体表現研究 1	4	×	現代美術の立体表現研究 1	4	×
			6510	現代美術の立体表現研究 2	4	×	現代美術の立体表現研究 2	4	×	彫刻表現の基礎 2	4	×	現代美術の立体表現研究 2	4	×	現代美術の立体表現研究 2	4	×
			6410	彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○				彫刻表現の基礎 1	4	○	彫刻表現の基礎 1	4	○
			6411	彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○				彫刻表現の基礎 2	4	○	彫刻表現の基礎 2	4	○
		選択	休講	現代美術の造形技法研究1	4	—			現代美術の造形技法研究1	4	—							
			休講	現代美術の造形技法研究2	4	—			現代美術の造形技法研究2	4	—							
デザイン（映像メディア表現を含む。）	1科目 選択必修	6416	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	文字とレイアウトの基礎	4	×	
		6417	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	情報表現の基礎	4	○	
	選択	6713	アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×				アートカタログ編集術	2	×	アートカタログ編集術	2	×	
美術理論 及び美術史 （鑑賞並びに日本 の伝統美術及び アジアの美術 を含む。）	1科目 選択必修	6302	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	芸術の基礎理論	2	×	
		休講	アートドキュメンテーション	2	—			アートドキュメンテーション	2	—								
	選択	6301	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	現代美術史基礎	2	×	
		6303	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	日本／世界写真史	2	○	
		6309	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	現代絵画論基礎1	2	×	
		6701	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	日本美術史 1（上代～近世）	2	×				日本美術史 1（上代～近世）	2	×	日本美術史 1（上代～近世）	2	×	
		6702	日本美術史 2（近代）	2	○						日本美術史 2（近代）	2	○	日本美術史 2（近代）	2	○		

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

16単位
「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※中・高の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経済学科 社会科(中学) 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目 (本冊子 P 54 参照)

8 単位 日本国憲法 (2 単位) 体育 (2 単位) 外国語コミュニケーション (2 単位) 情報機器の操作 (2 単位)

教職に関する科目 (本冊子 P 83 参照)

35 単位 教師論 (2 単位) 教育心理学 (2 単位) 教育原理 (4 単位) 社会科・地歴科教育法と社会科・公民科教育法 (8 単位)
道徳教育論 (2 単位) 特別活動論 (2 単位) 教育方法論 (2 単位) 情報技術活用論 (2 単位) 生徒・進路指導論 (2 単位)
教育相談論 (2 単位) 教育実習事前・事後指導 (中高) (1 単位) 教育実習 I (4 単位) 教職実践演習 (中高) (2 単位)

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の 7000 番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の 8000 番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55)を参照

教科に関する科目										
36 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択/選択必修	2023年度開講				2022年度開講			
			科目名	単位	備考	科目名	単位	備考	科目名	単位
36 単位	日本史及び外国史	必修	8595 日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4
		必修	8597 外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4
		選択	7009 現代経済史 I	2	×	現代経済史 I	2	×	現代経済史 I	2
			7010 現代経済史 II [他学科生]	2	×	現代経済史 II	2	×	現代経済史 II	2
			7011 現代経済史 II	2	×	日本経済史 A	2	×	日本経済史 A	2
			7012 現代経済史 II [他学科生]	2	×	日本経済史 B	2	×	日本経済史 B	2
			7355 日本経済史 A	2	×	経済学史 I	2	×	経済学史 I	2
			7356 日本経済史 B	2	×	経済学史 II	2	×	経済学史 II	2
			7357 経済学史 I	2	×	グローバル化の経済史	2	×	グローバル化の経済史	2
			7358 経済学史 II	2	×	キャッチアップの経済史	2	×	キャッチアップの経済史	2
			7465 グローバル化の経済史	2	×	経済政策史	2	×	経済政策史	2
			7466 ソ連経済の歴史と現代ロシア経済	2	×	農業経済史	2	×	農業経済史	2
	地理学(地誌を含む)	必修	8598 人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4
		必修	8599 地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4
		必修	8600 自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4
		選択	7395 経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2
	「法律学、政治学」	1 セット選択必修	7309 セ「法学概論 I (国際法を含む)」	2	×	セ「法学概論 I (国際法を含む)」	2	×	セ「法学概論 I (国際法を含む)」	2
			7310 セ「法学概論 II (国際法を含む)」	2	×	セ「法学概論 II (国際法を含む)」	2	×	セ「法学概論 II (国際法を含む)」	2
			7378 セ「政治のシステム A (国際政治を含む)」	2	×	セ「政治のシステム A (国際政治を含む)」	2	×	セ「政治のシステム A (国際政治を含む)」	2
			7379 セ「政治のシステム B (国際政治を含む)」	2	×	セ「政治のシステム B (国際政治を含む)」	2	×	セ「政治のシステム B (国際政治を含む)」	2
		選択	7353 憲法 I	2	×	憲法 I	2	×	憲法 I	2
			7354 憲法 II	2	×	憲法 II	2	×	憲法 II	2
			7380 民法 A	2	×	民法 A	2	×	民法 A	2
			7381 民法 B	2	×	民法 B	2	×	民法 B	2
			7351 国際関係論	2	×	国際関係論	2	×	国際関係論	2
	「社会学、経済学」	1 セット選択必修	7001 セ「ミクロ経済学 I」	2	×	セ「ミクロ経済学 I」	2	×	セ「ミクロ経済学 I」	2
			7003 セ「ミクロ経済学 II」	2	×	セ「ミクロ経済学 II」	2	×	セ「ミクロ経済学 II」	2
			7002 セ「ミクロ経済学 I [他学科生]」	2	×					
			7004 セ「ミクロ経済学 II [他学科生]」	2	×					
		1 セット選択必修	7005 セ「マクロ経済学 I」	2	×	セ「マクロ経済学 I」	2	×	セ「マクロ経済学 I」	2
			7007 セ「マクロ経済学 II」	2	×	セ「マクロ経済学 II」	2	×	セ「マクロ経済学 II」	2
			7006 セ「マクロ経済学 I [他学科生]」	2	×					
			7008 セ「マクロ経済学 II [他学科生]」	2	×					
		選択	7359 現代経済理論 A (国際経済を含む)	2	×	現代経済理論 A (国際経済を含む)	2	×	現代経済理論 A (国際経済を含む)	2
			7360 現代経済理論 B (国際経済を含む)	2	×	現代経済理論 B (国際経済を含む)	2	×	現代経済理論 B (国際経済を含む)	2
			7363 国際経済学	2	×	国際経済学	2	×	国際経済学	2
			休講 農林業再生論	2	—	農林業再生論	2	—	農林業再生論	2
			休講 現代農業経済論	2	—	現代農業経済論	2	—	現代農業経済論	2
			7368 資源エネルギー論 I	2	×	資源エネルギー論 I	2	×	資源エネルギー論 I	2
			7369 資源エネルギー論 II	2	×	資源エネルギー論 II	2	×	資源エネルギー論 II	2
			7370 環境経済学 A	2	×	環境経済学 A	2	×	環境経済学 A	2
	「哲学、倫理学、宗教学」	必修	8603 哲学概論	4	×	哲学概論	4	×	哲学概論	4

教科又は教職に関する科目 (他教科教育法を含めることはできない)

8 単位 「教科に関する科目 36 単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目 35 単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
福祉介護論 (2 単位) 学校経営と学校図書館 (2 単位) 学校図書館メディアの構成 (2 単位)
学習指導と学校図書館 (2 単位) 読書と豊かな人間性 (2 単位) 情報メディアの活用 (2 単位)

その他の要件

介護等体験(本冊子 P 11 参照)

2023年度 経済経営学部 経済学科 地理歴史科（高校） 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則6 6条に定める科目（本冊子P54参照）

8単位 日本国憲法（2単位） 体育（2単位） 外国語コミュニケーション（2単位） 情報機器の操作（2単位）

教職に関する科目（本冊子P83参照）

27単位
教師論（2単位） 教育心理学（2単位） 教育原理（4単位） 社会科・地歴科教育法（4単位） 特別活動論（2単位）
教育方法論（2単位） 情報技術活用論（2単位） 生徒・進路指導論（2単位） 教育相談論（2単位）
教育実習事前・事後指導（中高）（1単位） 教育実習2（2単位） 教職実践演習（中高）（2単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子P55)を参照

教科に関する科目

2023年度開講	2022年度開講	2021年度開講	2020年度開講											
				科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位			
日本史	必修	8595	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×	日本史概説	4	×
選択	7355	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×	日本経済史A	2	×	
	7356	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×	日本経済史B	2	×	
	休講	経済政策史	2	—	経済政策史	2	—	経済政策史	2	—	経済政策史	2	—	
	休講	農業経済史	2	—	農業経済史	2	—	農業経済史	2	—	農業経済史	2	—	
	7352	日本政治史	2	—	日本政治史	2	—	日本政治史	2	—	日本政治史	2	—	
外国史	必修	8597	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×	外国史概説	4	×
選択	7009	現代経済史Ⅰ	2	×	現代経済史Ⅰ	2	×	現代経済史Ⅰ	2	×	現代経済史Ⅰ	2	×	
	7010	現代経済史Ⅰ[他学科生]	2	×	現代経済史Ⅱ	2	×	現代経済史Ⅱ	2	×	現代経済史Ⅱ	2	×	
	7011	現代経済史Ⅱ	2	×	経済学史Ⅰ	2	×	経済学史Ⅰ	2	×	経済学史Ⅰ	2	×	
	7012	現代経済史Ⅱ[他学科生]	2	×	経済学史Ⅱ	2	×	経済学史Ⅱ	2	×	経済学史Ⅱ	2	×	
	7357	経済学史Ⅰ	2	×	グローバル化の経済史	2	×	グローバル化の経済史	2	×	グローバル化の経済史	2	×	
	7358	経済学史Ⅱ	2	×	キャッチアップの経済史	2	×	キャッチアップの経済史	2	×	キャッチアップの経済史	2	×	
	7465	グローバル化の経済史	2	×										
	7466	ソ連経済の歴史と現代ロシア経済	2	×										
	休講	財政史	2	—										
人文地理学及び自然地理学	必修	8598	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×	人文地理学	4	×
必修	8600	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	自然地理学	4	×	
選択	7395	経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2	×	経済地理	2	×	
地誌	必修	8599	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×	地誌	4	×

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

16単位
「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2単位） 福祉介護論（2単位） 学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位）
学習指導と学校図書館（2単位） 読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

※社会と地理歴史の教員免許状を取得する場合は、教育実習1（4単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経済学科 公民科（高校） 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

27 単位
教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 社会科・公民科教育法（4 単位） 特別活動論（2 単位）
教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位）
教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の3000番台の科目→現代人間学部共通科目を参照

下表の7000番台の科目→経済学科専門科目を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(本冊子 P 55)を参照

教科に関する科目

20 単位	免許法施行規則の規定に定める科目区分	必修/選択必修/選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修	授業コード	科目[授業]名	単位	履修
	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 セット 選択必修	7309	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セ 7309	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セ 7309	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×	セ 7309	法学概論Ⅰ（国際法を含む）	2	×
			7310	法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×	セ 7310	法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×	セ 7310	法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×	セ 7310	法学概論Ⅱ（国際法を含む）	2	×
			7378	政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×	セ 7378	政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×	セ 7378	政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×	セ 7378	政治のシステムA（国際政治を含む）	2	×
			7379	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セ 7379	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セ 7379	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×	セ 7379	政治のシステムB（国際政治を含む）	2	×
		選択	7353	憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×		憲法Ⅰ	2	×
			7354	憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×		憲法Ⅱ	2	×
			7380	民法A	2	×		民法A	2	×		民法A	2	×		民法A	2	×
			7381	民法B	2	×		民法B	2	×		民法B	2	×		民法B	2	×
			7351	国際関係論	2	×		国際関係論	2	×		国際関係論	2	×		国際関係論	2	×
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1 セット 選択必修	7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セ 7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セ 7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×	セ 7005	マクロ経済学Ⅰ	2	×
			7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	セ 7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	セ 7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×	セ 7007	マクロ経済学Ⅱ	2	×
			7006	マクロ経済学Ⅰ[他学科生]	2	×	セ 7006	現代経済理論A	2	×	セ 7006	現代経済理論A	2	×	セ 7006	現代経済理論A	2	×
			7008	マクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×	セ 7008	現代経済理論B	2	×	セ 7008	現代経済理論B	2	×	セ 7008	現代経済理論B	2	×
			7359	現代経済理論A（国際経済を含む）	2	×	セ 7359	現代経済理論B（国際経済を含む）	2	×	セ 7359	現代経済理論B（国際経済を含む）	2	×	セ 7359	現代経済理論B（国際経済を含む）	2	×
		選択	7360	現代経済理論B（国際経済を含む）	2	×												
			7001	ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×		ミクロ経済学Ⅰ	2	×
			7002	ミクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×		ミクロ経済学Ⅱ	2	×
			7003	ミクロ経済学Ⅱ	2	×		国際経済学	2	×		国際経済学	2	×		国際経済学	2	×
			7004	ミクロ経済学Ⅱ[他学科生]	2	×		農林業再生論	2	×		農林業再生論	2	×		農林業再生論	2	×
			7363	国際経済学	2	×		現代農業経済論	2	×		現代農業経済論	2	×		現代農業経済論	2	×
			休講	農林業再生論	2	—		資源エネルギー論Ⅰ	2	×		資源エネルギー論Ⅰ	2	×		資源エネルギー論Ⅰ	2	×
			休講	現代農業経済論	2	—		資源エネルギー論Ⅱ	2	×		資源エネルギー論Ⅱ	2	×		資源エネルギー論Ⅱ	2	×
			7368	資源エネルギー論Ⅰ	2	×		環境経済学A	2	×		環境経済学A	2	×		環境経済学A	2	×
			7369	資源エネルギー論Ⅱ	2	×		環境経済学B	2	×		環境経済学B	2	×		環境経済学B	2	×
			7370	環境経済学A	2	×		公共経済学	2	×		公共経済学	2	×		公共経済学	2	×
			7371	環境経済学B	2	×		財政学	2	×		財政学	2	×		財政学	2	×
			7376	公共経済学	2	×												
			7377	財政学	2	×												
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	必修	8603	哲学概論	4	×		哲学概論	4	×		哲学概論	4	×		哲学概論	4	×
		選択	3003	心理学概論	2	×		心理学概論	2	×		心理学概論	2	×		心理学概論	2	×

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法を含めることはできない）

16 単位
「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
道徳教育論（2 単位） 福祉介護論（2 単位） 学校経営と学校図書館（2 単位） 学校図書館メディアの構成（2 単位）
学習指導と学校図書館（2 単位） 読書と豊かな人間性（2 単位） 情報メディアの活用（2 単位）

※社会と公民の教員免許状を取得する場合は、教育実習Ⅰ（4 単位）を履修すること。

2023年度 経済経営学部 経営学科 商業科(高校) 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則66条に定める科目 (本冊子P54参照)

8単位 日本国憲法(2単位) 体育(2単位) 外国語コミュニケーション(2単位) 情報機器の操作(2単位)

教職に関する科目 (本冊子P83参照)

27単位
教師論(2単位) 教育心理学(2単位) 教育原理(4単位) 商業科教育法(4単位) 特別活動論(2単位)
教育方法論(2単位) 情報技術活用論(2単位) 生徒・進路指導論(2単位) 教育相談論(2単位)
教育実習事前・事後指導(中高)(1単位) 教育実習2(2単位) 教職実践演習(中高)(2単位)

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

教科に関する科目																		
	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修	科目〔授業〕名	単位	履修			
20 単位	商業の 関係科目	1科目 選択必修	7501	基本経営学	4	×	基本経営学	4		基本経営学	4		基本経営学	4				
			7503	基本経営学[他学科生]	4	×												
		選択	7504	経営基本管理	4	×	経営基本管理	4		経営基本管理	4		経営基本管理	4				
			7507	入門簿記	2	×	入門簿記	2		入門簿記	2		入門簿記	2				
			7508	入門簿記[他学科生]	2	×	基本簿記	4		基本簿記	4		基本簿記	4				
			7805	企業論Ⅰ	2	×	企業論Ⅰ	2		企業論Ⅰ	2		企業論Ⅰ	2				
			7806	企業論Ⅱ	2	×	企業論Ⅱ	2		企業論Ⅱ	2		企業論Ⅱ	2				
			7807	マーケティング論A	2	×	マーケティング論A	2		マーケティング論A	2		マーケティング論A	2				
			7808	マーケティング論B	2	×	マーケティング論B	2		マーケティング論B	2		マーケティング論B	2				
			7809	現代流通論A	2	×	現代流通論A	2		現代流通論A	2		現代流通論A	2				
			7810	現代流通論B	2	×	現代流通論B	2		現代流通論B	2		現代流通論B	2				
			7886	会社法A	2	×	会社法A	2		会社法A	2		会社法A	2				
			7887	会社法B	2	×	会社法B	2		会社法B	2		会社法B	2				
			7898	商業簿記	2	×	商業簿記	2		商業簿記	2		商業簿記	2				
			7899	会計学	2	×	会計学	2		会計学	2		会計学	2				
			休講	労働法A	2	—	労働法A	2		労働法A	2		労働法A	2				
			休講	労働法B	2	—	労働法B	2		労働法B	2		労働法B	2				
			7894	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅠ	2		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2		マーケティング・コミュニケーションⅠ	2				
			7895	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2	×	マーケティング・コミュニケーションⅡ	2		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2		マーケティング・コミュニケーションⅡ	2				
			7896	マーケティング・リサーチⅠ	2	×	マーケティング・リサーチⅠ	2		マーケティング・リサーチⅠ	2		マーケティング・リサーチⅠ	2				
			7897	マーケティング・リサーチⅡ	2	×	マーケティング・リサーチⅡ	2		マーケティング・リサーチⅡ	2		マーケティング・リサーチⅡ	2				
			7959	財務管理論	2	×	財務管理論	2		財務管理論	2		財務管理論	2				
			休講	会計監査[公認会計士の仕事]	2	—	会計監査[公認会計士の仕事]	2		会計監査[公認会計士の仕事]	2		会計監査[公認会計士の仕事]	2				
			休講	税務会計[税理士の仕事]	2	—	税務会計[税理士の仕事]	2		税務会計[税理士の仕事]	2		税務会計[税理士の仕事]	2				
			7966	工業簿記	2	×	工業簿記	2		工業簿記	2		工業簿記	2				
			7967	原価計算	2	×	原価計算	2		原価計算	2		原価計算	2				
			7969	生産システム論A	2	×	生産システム論A	2		生産システム論A	2		生産システム論A	2				
			7970	生産システム論B	2	×	生産システム論B	2		生産システム論B	2		生産システム論B	2				
	職業指導	必修	7888	職業指導	4	×	職業指導	4		職業指導	4		職業指導	4				

教科又は教職に関する科目 (他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない)

16単位
「教科に関する科目20単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
学校経営と学校図書館(2単位) 学校図書館メディアの構成(2単位) 学習指導と学校図書館(2単位)
読書と豊かな人間性(2単位) 情報メディアの活用(2単位)

2023年度 経済経営学部 経営学科 情報科（高校） 授業一覧表

対象＝2017年度～2018年度入学生

教育職員免許法施行規則 6 6 条に定める科目（本冊子 P 54 参照）

8 単位 日本国憲法（2 単位） 体育（2 単位） 外国語コミュニケーション（2 単位） 情報機器の操作（2 単位）

教職に関する科目（本冊子 P 83 参照）

27 単位
教師論（2 単位） 教育心理学（2 単位） 教育原理（4 単位） 情報科教育法（4 単位） 特別活動論（2 単位）
教育方法論（2 単位） 情報技術活用論（2 単位） 生徒・進路指導論（2 単位） 教育相談論（2 単位）
教育実習事前・事後指導（中高）（1 単位） 教育実習 2（2 単位） 教職実践演習（中高）（2 単位）

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は教職課程においては「教科に関する科目」として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の7000番台の科目→経営学科専門科目を参照

開講科目「コンピュータ[A]」～「コンピュータ[C]」は卒業までにいずれか一つ履修可能とされていますが、教職課程情報科を履修している場合で、初回授業にて担当教員から許可を得た者に限り、二つ以上履修可能とします。

教科に関する科目

	免許法施行規則の規定 に定める科目区分	必修/ 選択必修/ 選択	2023年度開講				2022年度開講				2021年度開講				2020年度開講			
			授業コード	科目〔授業〕名	単位	選択	科目〔授業〕名	単位	選択	科目〔授業〕名	単位	選択	科目〔授業〕名	単位	選択			
24 単位	情報社会及び 情報倫理	必修	7821	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×	情報の基礎（情報社会論）	4	×
			7973	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×	知的財産権法A	2	×
			7974	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×	知的財産権法B	2	×
	コンピュータ及び情 報処理 （実習を含む。）	1科目 選択必修	7822	コンピュータ〔A〕	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×	コンピュータ	2	×
			7823	コンピュータ〔B〕	2	×												
			7824	コンピュータ〔C〕	2	×												
		選択	7825	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	2	×
	情報システム （実習を含む。）	必修	7902	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×	経営情報システム論	2	×
		必修	7859	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×	情報処理技術論Ⅰ-2	2	×
		必修	7908	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×	データベース論基礎	2	×
		必修	7909	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×	データベース論応用	2	×
	情報通信ネットワーク （実習を含む。）	必修	7903	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×	情報ネットワーク・システム	2	×
		選択	7861	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×	情報処理技術論Ⅱ-2	2	×
	マルチメディア表現 及び技術 （実習を含む。）	必修	7900	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×	情報デザイン論A	2	×
		必修	7901	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×	情報デザイン論B	2	×
		選択	7827	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2	×
			7802	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×	ビジネス・コミュニケーションA	2	×
			7803	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×	ビジネス・コミュニケーションB	2	×
	情報と職業	必修	7904	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×	情報メディア産業論Ⅰ	2	×
		必修	7907	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×	メディアビジネス論応用	2	×
		選択	休講	情報メディア産業論Ⅱ	2	—	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	メディアビジネス論基礎	2	×	情報メディア産業論Ⅱ	2	×
			7906	メディアビジネス論基礎	2	×									メディアビジネス論基礎	2	×	

教科又は教職に関する科目

（他教科教育法、道徳教育論、福祉介護論を含めることはできない）

16 単位
「教科に関する科目24単位」を超えて取得した「教科に関する科目」
「教職に関する科目27単位」を超えて取得した「教職に関する科目」
学校経営と学校図書館（2単位） 学校図書館メディアの構成（2単位） 学習指導と学校図書館（2単位）
読書と豊かな人間性（2単位） 情報メディアの活用（2単位）

諸資格課程

諸資格課程専用科目（8000番台科目）

授業一覧表	P 103
-------------	-------

図書館司書課程

スケジュールと受講上の注意	P 104
授業一覧表（2015～2023年度入学生）	P 105

学校図書館司書教諭課程

スケジュールと受講上の注意	P 106
授業一覧表（2015～2023年度入学生）	P 107

社会教育主事課程

スケジュールと受講上の注意	P 108
授業一覧表（2020～2023年度入学生）	P 109
授業一覧表（2015～2019年度入学生）	P 110
旧規則による科目の単位と新規則による科目の単位の 読替えについて（2019年度以前入学生）	P 111

博物館学芸員課程

スケジュールと受講上の注意	P 114
授業一覧表（2015～2023年度入学生）	P 115

2023年度 諸資格課程専用科目 授業一覧表

下表と各課程の授業一覧表を照らし合わせて、履修計画を立てること。

注1) 種別「クラス指定」とは……あらかじめ指定された学生のみ履修可能である授業です。

注2) 種別「許可」とは……教員の履修許可が必要な授業です。教員の履修許可が必要な授業です。後期授業を含めて、4月の許可手続き期間に授業ごとに定められた曜日・教室で、対面にて履修者を決定します。

注3) 種別「条件付」とは……あらかじめ指定する科目の単位修得が必要ななどの条件がある授業です。授業の備考欄を参照のこと。

注4) 種別「人数制限(抽選)」とは……履修人数の制限があり、定員を超えた場合は抽選の上、履修の可否が決まります。抽選後空きがあれば先着順で登録できます。

注5) 人数制限(抽選)優先条件とは……「有」の授業は抽選時、優先的に当選とする条件(学年、学部学科、資格受講者など)を指定しています。優先条件はシラバスから確認できます。

注6) 時間割外オンラインとは……全週の授業をオンライン(動画配信または資料配信)で実施します。毎週月曜日1限までに資料や動画が配信され、土曜日6限までに課題提出する授業です。

注7) 履修可能学年について……表記されている学年が履修できます。 網掛け・太字は履修を推奨する学年、「―」は履修不可です。

対象＝図書館司書課程・学校図書館司書教諭課程・社会教育主事課程・博物館学芸員課程履修者

授業 コード	科 目 [授 業] 名	単 位 数	種 別	人数制限 (抽選) 優先条件	開講期 (形態)	オン ライ ン 時 間 割 外	履 修 可 能 学 年				担 当 者	重 複 履 修	備 考
							1 年	2 年	3 年	4 年			
8101	図書館概論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	山 口 洋	×	
8102	図書館制度・経営論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	
8103	図書館情報技術論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	
8104	図書館サービス概論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	
8105	情報サービス論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	中 嶋 康	×	
8106	読書と豊かな人間性	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	石澤伊久美	×	
8107	情報サービス演習1	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	—	3	4	山 口 洋	×	
8108	情報サービス演習2	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	—	3	4	山 口 洋	×	
8109	図書館情報資源概論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	
8110	情報資源組織論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	松 井 勇 起	×	
8111	情報資源組織演習	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	—	3	4	松 井 勇 起	×	「情報資源組織論」修得者のみ履修可。 図書館司書課程授業一覧表の注記を参照
8112	図書館サービス・情報資源特論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	—	3	4	中 嶋 康	×	
8113	図書館実習	2	条件付 許可	—	通年	—	—	—	3	4	山 口 洋	×	図書館司書課程授業一覧表の注記を参照 4月許可手続き期間に履修者決定
8116	学校経営と学校図書館	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	稲 生 知 子	×	
8117	学校図書館メディアの構成	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	山 口 洋	×	
8118	学習指導と学校図書館	2	—	—	前期	○	—	2	3	4	渡 辺 光 輝	×	
8119	情報メディアの活用	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	松 井 勇 起	×	
8131	現代の子どもと社会教育	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	打 越 雅 祥	○	
8132	生涯学習支援論	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	草 野 滋 之	○	
8133	社会教育経営論	4	人数制限(抽選)	有	通年	—	—	2	3	4	江 頭 晃 子	○	
8123	社会教育実習	4	許可	—	通年	—	—	2	3	4	角 田 季 美 枝	○	社会教育主事課程授業一覧表の注記を参照 4月許可手続き期間に履修者決定
8124	博物館概論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	1	2	3	4	橋 本 善 八	×	
8125	博物館経営論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	半 田 滋 男	×	
8126	博物館資料論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	橋 本 善 八	×	
8127	博物館展示論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	佐 藤 実	×	
8128	博物館教育論	2	人数制限(抽選)	有	後期	—	—	2	3	4	大 高 幸	×	
8129	博物館情報・メディア論	2	人数制限(抽選)	有	前期	—	—	2	3	4	佐 藤 実	×	
8130	博物館実習	3	条件付 クラス指定	—	通年	—	—	—	3	4	半 田 滋 男	×	博物館学芸員課程授業一覧表の注記を参照 開拓有資格者のみ履修可能

※上記の科目は全て卒業所要単位数に含まれない。履修計画の際には充分注意すること。

図書館司書課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
図書館司書課程資格判定対象者名簿掲示（卒業年次生のみ）	12月
図書館司書課程資格判定結果掲示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
図書館司書課程資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。図書館司書課程の受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

（１）必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例：法規上の科目「児童サービス論」を履修するために、本学授業科目「読書と豊かな人間性」の単位を修得する。

「図書館概論」は8000番台科目（資格課程専用科目）ですが、1年次から履修することができます。2年次以上で履修する場合は、司書課程の受講申請が必要です。

（２）選択科目

法規上の選択科目について、2科目以上の履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例1：法規上の科目「図書館基礎特論」と「図書館実習」を履修するために、本学授業科目「アートカタログ編集術」と「図書館実習」を単位修得する。

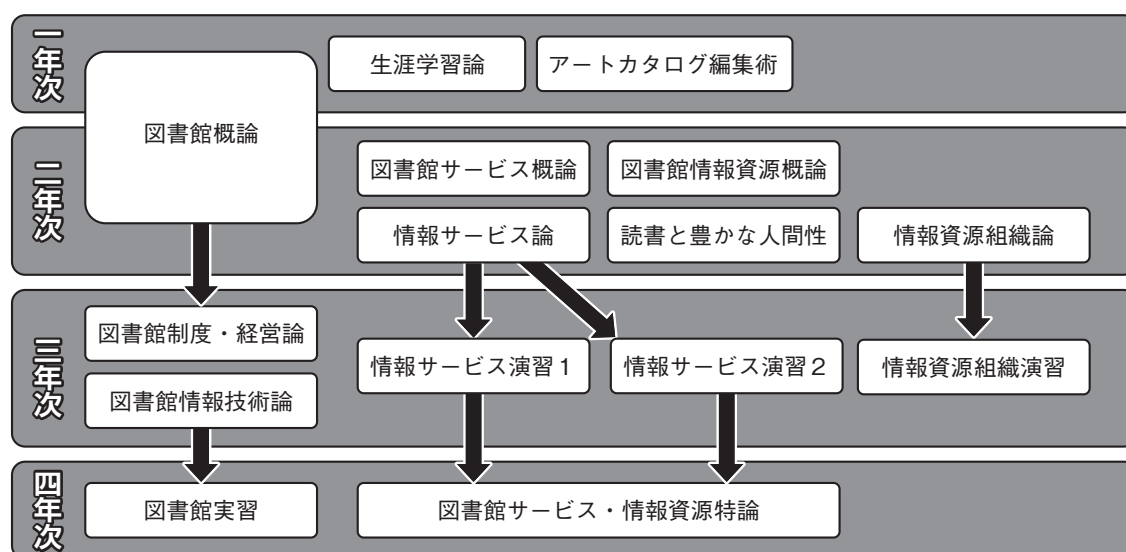
例2：法規上の科目「図書館サービス特論」と「図書館情報資源論」を履修するために本学授業科目「図書館サービス・情報資源特論」を単位修得する。

（３）卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

（４）推奨履修プラン

下図は推奨する履修の授業・タイミングを示したものです。実際の履修可能学年や履修条件は授業一覧表を確認してください。



①「図書館概論」は基礎となる科目のため、1年次または2年次に履修することを推奨します。

②「情報サービス論」を履修していないと「情報サービス演習1、2」の授業を理解することは、かなり難しくなります。途中でくじけたりしないためにも、「情報サービス演習1、2」を履修する前に、「情報サービス論」を履修することを強く推奨します。

2023年度 図書館司書課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は図書館司書課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→人間科学科授業一覧表を参照

下表の6000番台の科目→芸術学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P103)を参照

対象＝全学科【2015年度～2023年度入学生・新規則による科目】

図書館司書に関する科目（図書館法施行規則第5条に基づく）															
法規上の科目			2023年度開講					備考		2022年度開講		2021年度開講		2020年度開講	
科 目 名			授業コード	科目[授業]名	単 位	重 複			科目[授 業] 名	単 位	科目[授 業] 名	単 位	科目[授 業] 名	単 位	
必修科目	基礎科目	生涯学習概論	4018	生涯学習論	2	○			生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論講義	2	
		図書館概論	8101	図書館概論	2	×			図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	2	
		図書館制度・経営論	8102	図書館制度・経営論	2	×			図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2	
		図書館情報技術論	8103	図書館情報技術論	2	×			図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2	
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	8104	図書館サービス概論	2	×			図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	
		情報サービス論	8105	情報サービス論	2	×			情報サービス論	2	情報サービス論	2	情報サービス論	2	
		児童サービス論	8106	読書と豊かな人間性	2	×			読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	読書と豊かな人間性	2	
			情報サービス演習	8107	情報サービス演習1	2	×			情報サービス演習1	2	情報サービス演習1	2	情報サービス演習1	2
	8108	情報サービス演習2		2	×			情報サービス演習2	2	情報サービス演習2	2	情報サービス演習2	2		
	資源情報に関する科目	図書館情報資源概論	8109	図書館情報資源概論	2	×			図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2	
		情報資源組織論	8110	情報資源組織論	2	×	注1		情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2	
		情報資源組織演習	8111	情報資源組織演習	4	×	注1		情報資源組織演習	4	情報資源組織演習	4	情報資源組織演習	4	
選択科目	3より2科目以上の科目を選択（7科目）（注）	図書館基礎特論	6713	アートカログ 編集術	2	×			ムネモシユネー：記憶の女神の館	2	ムネモシユネー：記憶の女神の館	2	ムネモシユネー：記憶の女神の館	2	
		図書館サービス特論	8112	図書館サービス・情報資源特論	2	×			図書館サービス・情報資源特論	2	図書館サービス・情報資源特論	2	図書館サービス・情報資源特論	2	
		図書館情報資源特論													
		図書・図書館史							編集という仕事	2	編集という仕事	2	編集という仕事	2	
		図書館施設論													
		図書館総合演習													
		図書館実習	8113	図書館実習	2	×	注2		図書館実習	2	図書館実習	2	図書館実習	2	

注1：法規上の科目「情報資源組織演習」の履修は法規上の科目「情報資源組織論」を取得済みであることを条件とする。

注2：法規上の科目「図書館実習」の履修は法規上の科目「図書館概論」、「図書館制度・経営論」、「図書館情報技術論」、「図書館サービス概論」を取得済みであることを条件とする。

注3：選択科目は、「法規上の科目」より2科目以上選択すること。

（例：本学授業科目「図書館サービス・情報資源特論」（2単位）を単位修得すると、法規科目「図書館サービス特論」と「図書館情報資源特論」の2科目を取得する。）

学校図書館司書教諭課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
教職課程に必要な単位を履修する。	
学校図書館司書教諭課程に必要な単位を修得する。	
学校図書館司書教諭資格判定対象者名簿掲示（卒業年次生のみ）	12月
学校図書館司書教諭資格判定結果掲示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
教育職員免許状交付 （卒業後の手続き）	3月
学校図書館司書教諭講習課程書類審査手続き	7月
学校図書館司書教諭講習修了証書交付	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。学校図書館司書教諭課程の受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

（１）受講条件

本学では小学校、中学校または高等学校の教職課程を受講申請した者のみに、学校図書館司書教諭課程の受講申請を認めています。また、卒業後、学校図書館司書教諭講習課程書類審査手続きの対象となるのは、教育職員免許状を交付された者に限ります。

（２）卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

（３）その他

学校図書館司書教諭に関する科目以外に「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」及び「図書館概論」の履修を推奨します。

2023年度 学校図書館司書教諭課程 授業一覧表

資格課程で開講している科目のうち、下表の科目は学校図書館司書教諭課程の科目として数えられます。

各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P103)を参照

対象＝全学科(2015～2023年度入学生)

学校図書館司書教諭に関する科目（学校図書館司書教諭講習規程第3条に基づく）									
法規上の科目			授業 コード	2023年度開講			2020～2022年度開講		
科 目 名				科 目 [授 業] 名		単 位	重 複	科 目 [授 業] 名	単 位
必修科目	学校経営と学校図書館		8116	学校経営と学校図書館		2	×	学校経営と学校図書館	2
	学校図書館メディアの構成		8117	学校図書館メディアの構成		2	×	学校図書館メディアの構成	2
	学習指導と学校図書館		8118	学習指導と学校図書館		2	×	学習指導と学校図書館	2
	読書と豊かな人間性		8106	読書と豊かな人間性		2	×	読書と豊かな人間性	2
	情報メディアの活用		8119	情報メディアの活用		2	×	情報メディアの活用	2

社会教育主事課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
社会教育主事資格判定対象者名簿揭示（卒業年次生のみ）	12月
社会教育主事資格判定結果揭示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
社会教育主事資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。社会教育主事課程受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

（１）必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

（２）選択必修科目

選択必修科目はどの区分から選択しても構いません。

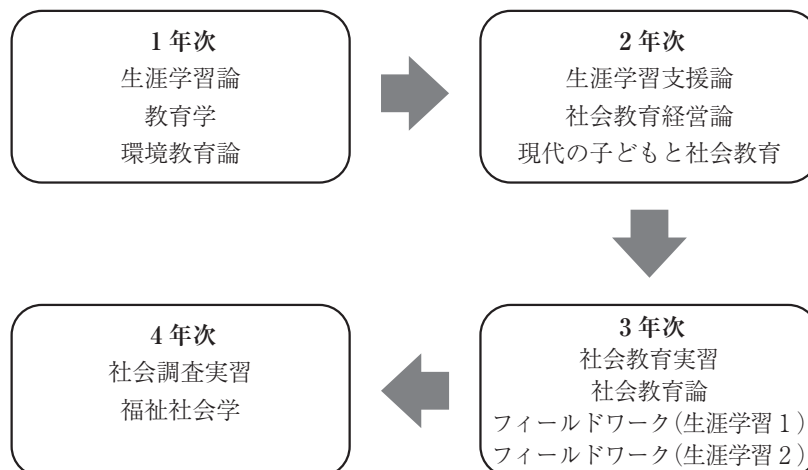
（３）卒業要件単位に含まれない科目

コード番号8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

（４）履修例

- ①「社会教育論」は「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」の内容を踏まえて授業を行いますので、「社会教育論」を履修する前に、「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」を修得することを強く推奨します。
- ②新旧の課程にかかわらず、「生涯学習支援論」、「社会教育経営論」、「現代の子どもと社会教育」、「社会教育実習」の全科目を修得することを強く推奨します。
- ③法規上の科目「社会教育特講（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」は全分野をまんべんなく履修することを強く推奨します。

●履修例(新課程：2020年度以降入学生対象)



2023年度 社会教育主事課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は社会教育主事課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1001～1099番の科目→共通教養課程授業一覧表を参照

下表の3101～3999番の科目→心理教育学科授業一覧表を参照

下表の4001～4999番の科目→現代社会学科／人間科学科授業一覧表を参照

下表の7000番台の科目→経済学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P103)を参照

科目名に●印が付いている科目は【2020年度入学生のみ】対象となる科目です。

科目名に◆印が付いている科目は【2021年度以降入学生のみ】対象となる科目です。

対象＝全学科【2020年度～2023年度入学生・新規則による科目】

社会教育主事に関する科目(社会教育主事講習等規程第11条に基づく)

法規上の科目		2023年度開講				備考		2022年度開講		2021年度開講		2020年度開講	
科 目 名	授業コード	科目[授業]名	単 位	重 複				科目[授業]名	単 位	科目[授業]名	単 位	科目[授業]名	単 位
必修科目	生涯学習概論	4018 生涯学習論	2	○				生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論講義	2
		4028 社会教育論	2	○				社会教育論	2	社会教育論	2	社会教育論	2
	生涯学習支援論	8132 生涯学習支援論	4	○				生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4
	社会教育経営論	8133 社会教育経営論	4	○				社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4
	社会教育実習												
	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	8123 社会教育実習	4	○			注1	社会教育実習	4	社会教育実習	4	社会教育実習	4
選択科目	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	8131 現代の子どもと社会教育	4	○				現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4
8単位以上 選択必修	社会教育特講	3410 環境教育論	2	○				環境教育論	2	環境教育論	2	環境教育論	2
		4319 現代の家族	2	×						現代の家族	2	現代の家族	2
		休講 現代社会とジェンダーA	2	—				現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2
		4313 現代社会とジェンダーB	2	×				現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2
		4826 ●福祉社会学A	2	×						福祉社会学A	2	福祉社会学A	2
		4026 ◆福祉社会学	2	×									
		休講 ●福祉社会学B	2	—				福祉社会学B	2			福祉社会学B	2
		休講 ◆生命の政治学	2	—				生命の政治学	2				
		休講 障害・健常を考えるA	2	—				障害・健常を考えるA	2			障害・健常を考えるA	2
		4404 障害・健常を考えるB	2	×						障害・健常を考えるB	2		
		8101 図書館概論	2	×				図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	2
		8104 図書館サービス概論	2	×				図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2
		8124 博物館概論	2	×				博物館概論	2	博物館概論	2	博物館概論	2
		8125 博物館経営論	2	×				博物館経営論	2	博物館経営論	2	博物館経営論	2
		8128 博物館教育論	2	×				博物館教育論	2	博物館教育論	2	博物館教育論	2
		4627 ●身体環境共生論演習9[岩本]	4	○				身体環境共生論演習9	4	身体環境共生論演習9	4	生涯学習論演習	4
		4036 ◆人間科学論演習6	4	○				人間科学論演習6	4				
		4029 フィールドワーク(生涯学習1)	2	○				フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドで学ぶ生涯学習A	2
		4030 フィールドワーク(生涯学習2)	2	○				フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドで学ぶ生涯学習B	2
		休講 教育学	2	—				教育学	2				
		3159 老年期の心理学	2	×				老年期の心理学	2	老年期の心理学	2	老年期の心理学	2
		休講 ●社会調査実習	4	—				社会調査実習	4	社会調査実習	4	社会調査実習	4
		1031 手話の世界	4	×				手話の世界	4	手話の世界	4		
		1032 点字の世界	2	×				点字の世界	2				
		7353 憲法Ⅰ	2	×				憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2
		7354 憲法Ⅱ	2	×				憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2

注1: (2023年度以降入学生対象)「社会教育実習」の履修は「生涯学習論」「社会教育論」「生涯学習支援論」「社会教育経営論」の単位を修得済みであることを条件とする。

★新規則により、社会教育主事課程を修了した者は「社会教育士(養成課程)」の称号を得ることができます。

2023年度 社会教育主事課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は社会教育主事課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の1001～1099番の科目→共通教養課程授業一覧表を参照

下表の3101～3999番の科目→心理教育学科授業一覧表を参照

下表の4001～4999番の科目→現代社会学科／人間科学科／身体環境共生学科授業一覧表を参照

下表の7000番台の科目→経済学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P103)を参照

対象＝全学科【2015～2019年度入学生・旧規則による科目】

社会教育主事に関する科目(社会教育主事講習等規程第11条に基づく)

法規上の科目		2023年度開講				2022年度開講		2021年度開講		2020年度開講	
科目名		授業コード	科目[授業]名	単位	重単	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位	科目[授業]名	単位
必修科目	生涯学習概論	4018	生涯学習論	2	○	生涯学習論	2	生涯学習論	2	生涯学習論講義	2
		4028	社会教育論	2	○	社会教育論	2	社会教育論	2	社会教育論	2
	社会教育計画	8133	社会教育経営論	4	○	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4	社会教育経営論	4
1科目 4単位 以上 選択必修	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	8131	現代の子どもと社会教育	4	○	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4	現代の子どもと社会教育	4
		8123	社会教育実習	4	○	社会教育実習	4	社会教育実習	4	社会教育実習	4
3科目 12単位 以上 選択必修	社会教育特講Ⅰ	8132	生涯学習支援論	4	○	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論	4
		3410	環境教育論	2	○	環境教育論	2	環境教育論	2	環境教育論	2
		4319	現代の家族	2	×			現代の家族	2	現代の家族	2
		休講	現代社会とジェンダーA	2	—	現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2	現代社会とジェンダーA	2
		4313	現代社会とジェンダーB	2	×	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2	現代社会とジェンダーB	2
		4826	●福祉社会学A	2	×			福祉社会学A	2	福祉社会学A	2
		休講	●福祉社会学B	2	—	福祉社会学B	2			福祉社会学B	2
		休講	障害・健常を考えるA	2	—	障害・健常を考えるA	2			障害・健常を考えるA	2
		4404	障害・健常を考えるB	2	×			障害・健常を考えるB	2		
	社会教育特講Ⅱ	8101	図書館概論	2	×	図書館概論	2	図書館概論	2	図書館概論	2
		8104	図書館サービス概論	2	×	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2
		8124	博物館概論	2	×	博物館概論	2	博物館概論	2	博物館概論	2
		8125	博物館経営論	2	×	博物館経営論	2	博物館経営論	2	博物館経営論	2
		8128	博物館教育論	2	×	博物館教育論	2	博物館教育論	2	博物館教育論	2
		4627	身体環境共生論演習9[岩本]	4	○	身体環境共生論演習9	4	身体環境共生論演習9	4	生涯学習論演習	4
		4029	フィールドワーク(生涯学習1)	2	○	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドワーク(生涯学習1)	2	フィールドで学ぶ生涯学習A	2
		4030	フィールドワーク(生涯学習2)	2	○	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドワーク(生涯学習2)	2	フィールドで学ぶ生涯学習B	2
	社会教育特講Ⅲ	休講	教育学	2	—	教育学	2				
		3159	老年期の心理学	2	×	老年期の心理学	2	老年期の心理学	2	老年期の心理学	2
		休講	社会調査実習	4	—	社会調査実習	4	社会調査実習	4	社会調査実習	4
		1031	手話の世界	4	×	手話の世界	4	手話の世界	4		
		1032	点字の世界	2	×	点字の世界	2				
		7353	憲法Ⅰ	2	×	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2	憲法Ⅰ	2
		7354	憲法Ⅱ	2	×	憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2	憲法Ⅱ	2

①2020年4月から施行された「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」により、新課程が開設されました。2019年度以前入学生は移行措置により旧課程が適用されますが、卒業するまでに、上記の「社会教育主事に関する科目」のうち、社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得してください。修得していない場合には、新課程での要件が適用されます。

②2019年度以前に修得した「社会教育計画」は法規上の「社会教育計画」に、「社会教育特講演習1」、「社会教育特講演習2」は法規上の「社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目」として認められます。

③旧規則により、社会教育主事課程を修了すると同時に「社会教育士(養成課程)」の称号取得を希望する者は卒業するまでに「社会教育経営論」および「生涯学習支援論」の単位を修得してください。

2019年度以前入学生対象 旧規則による科目の単位と新規則による科目の単位の読替えについて

「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」（平成30年文部科学省令第5号）が、2018（平成30）年2月28日に公布され、2020年（令和2）年4月1日から施行されました。これに伴い、施行日（2020年4月1日）以降は、本学でも改正後の社会教育主事課程（以下、新課程）を開設しました。

原則として、2019年度以前入学生（一部を除きます。「※」を確認してください）は、改正前の社会教育主事課程（以下、旧課程）が適用され、旧課程に定められた科目の単位を修得することで社会教育主事任用資格を取得することができます。履修方法は、①旧課程適用者《2019年度から2020年度へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2019年度以前入学生）》の欄を参照してください。

※ただし、2019年度以前入学生でも、2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者（下記に該当する者）の場合、旧課程受講の有無に関わらず新課程が適用されますので注意してください。

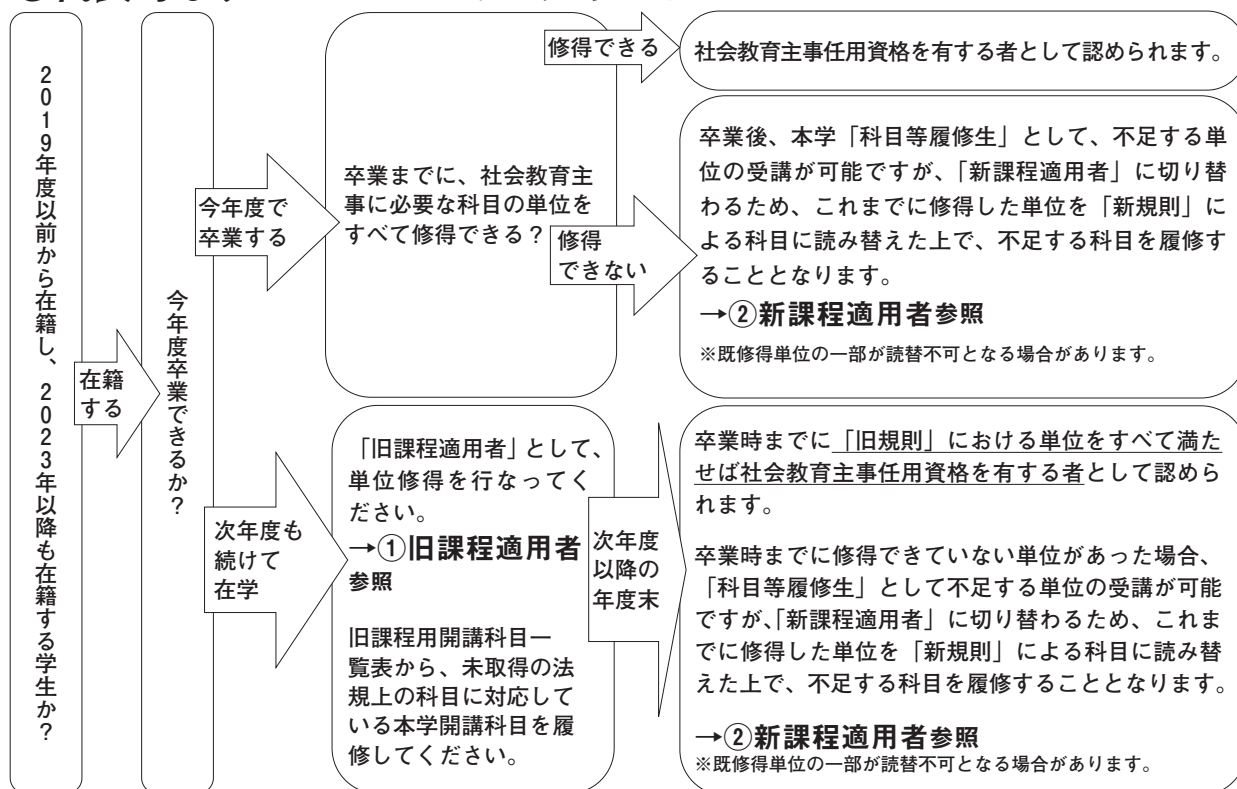
施行日（2020年4月1日）以後に、

- ・編入学した者
- ・転入学した者
- ・再入学した者
- ・科目等履修生として在籍している者

②新課程適用者となります

新課程適用者の履修方法は②新課程適用者《2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者の場合（編入学生、転入学生、再入学生、科目等履修生）》の欄を参照してください。

●代表的なケースについてのチャート



※社会教育主事課程を修了し、かつ卒業までに「生涯学習支援論」および「社会教育経営論」の単位を修得した場合、「社会教育士（養成課程）」を名乗ることができます。

①旧課程適用者

2019年度から2020年度以降へ継続した学籍で大学に在学する者の場合（2019年度以前入学生）

「旧規則」で、「社会教育主事となる資格に必要なすべての単位」を修得してください。
但し【1】～【3】のとおり取り扱います。

旧規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
必修	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位
		社会教育論	2単位
	社会教育計画	社会教育計画	4単位
選択必修 4単位以上	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育特講演習1	4単位
		社会教育特講演習2	4単位
		社会教育実習	4単位
選択必修 12単位以上	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	
	社会教育特講Ⅰ		
	社会教育特講Ⅱ		
	社会教育特講Ⅲ		

【1】施行日（2020（令和2）年4月1日）までに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得した者は、2020（令和2）年4月1日以降は「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則4項〕

【2】2020（令和2）年4月1日前から引き続き在籍し、卒業するまでに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得した者は、「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則5項〕

【3】2020（令和2）年4月1日前から引き続き在籍し、卒業するまでに、次の表の左欄に掲げる新規則による科目の単位を修得した者は、右欄に掲げる旧規則による科目の単位を修得したものとみなす。〔附則6項〕

新規則による科目					旧規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数			法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
1	生涯学習概論	生涯学習論／生涯学習論講義	2単位	→	1	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位
2		社会教育論	2単位	→	2		社会教育論	2単位
3	社会教育経営論	社会教育経営論	4単位	→	3	社会教育計画	社会教育計画	4単位
4	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4単位	→	4	社会教育特講Ⅰ	生涯学習支援論	4単位
5	社会教育実習	社会教育実習	4単位	→	5	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育実習	4単位
6	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	現代の子どもと社会教育	4単位	→	6		現代の子どもと社会教育	4単位
7	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照		→	7	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	
8				→	8	社会教育特講Ⅰ		
9				→	9	社会教育特講Ⅱ 社会教育特講Ⅲ		

なお、2020年度以降本学では旧課程適用者に対しても、新規則による授業科目を配置した。この科目の単位を修得した場合、新課程適用者に切り替わった場合にも、「新規則による科目」として有効となる。
なお、2019年度以前に修得した「旧規則による科目」は、概論、特講、演習・実習・課題研究のみ「新規則による科目」として既修得単位とみなす。〔附則7項〕

②新課程適用者

2019年度から2020年度以降へ継続した学籍のない者の場合
(編入学生、転入学生、再入学生、科目等履修生)

「新規則」で、「社会教育主事となる資格に必要なすべての単位」を修得してください。
但し【1】～【2】のとおり取り扱います。

新規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
必修	生涯学習概論	生涯学習論／生涯学習論講義	2単位
		社会教育論	2単位
	生涯学習支援論	生涯学習支援論	4単位
	社会教育経営論	社会教育経営論	4単位
	社会教育実習	社会教育実習	4単位
	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目		
選択	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	現代の子どもと社会教育	4単位
8単位以上 選択必修	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	

【1】施行日（2020（令和2）年4月1日）までに「旧規則」による「社会教育主事に関する科目」のすべての単位を修得していれば、「新規則」の社会教育主事となる資格に必要なすべての単位を修得したものとみなす。〔附則4項〕

【2】施行日（2020（令和2）年4月1日）前に、次の表の左欄に掲げる旧規則による科目の単位を修得した者が、2020（令和2）年4月1日以降に新たに社会教育主事となる資格を得ようとする場合には、既に修得した旧科目の単位は、右欄に掲げる当該科目に相当する新規則による科目の単位を修得したものとみなす。〔附則7項〕

旧規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
1	生涯学習概論	生涯学習論講義	2単位
2		社会教育論	2単位
3	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育実習	4単位
4		社会教育特講演習1	4単位
		社会教育特講演習2	4単位
5	社会教育特講	修得年度の「資格課程の手びき」参照	
6	社会教育特講Ⅰ		
7	社会教育特講Ⅱ 社会教育特講Ⅲ		

新規則による科目			
	法規上の科目	本学授業科目名	本学授業科目の単位数
1	生涯学習概論	生涯学習論／生涯学習論講義	2単位
2		社会教育論	2単位
3	社会教育実習	社会教育実習	4単位
4	社会教育演習、社会教育実習、社会教育課題研究のうち1以上の科目	社会教育特講演習1	4単位
		社会教育特講演習2	4単位
5		2020年度以降の「資格課程の手びき」参照	
6	社会教育特講		
7			

博物館学芸員課程スケジュール

スケジュール内容	期日
資格課程オリエンテーション	3月下旬～4月上旬
履修条件に基づき必要な単位を修得する。	
次年度博物館実習参加有資格者名簿揭示	12月
博物館実習先開拓	名簿確認後
博物館実習開始	5月～
博物館実習日誌提出（「博物館実習」担当教員）	実習後の授業時
博物館学芸員資格判定対象者名簿揭示（卒業年次生のみ）	12月
博物館学芸員資格判定結果揭示（卒業年次生のみ）	2月～3月上旬
博物館学芸員資格単位取得証明書交付（判定合格者のみ）	3月

※主な行事だけ記載してあります。また、事情により日時の変更があります。博物館学芸員課程受講生は必ず資格課程掲示板および和光ポータルを確認してください。

受講上の注意

（1）必修科目

法規上の必修科目はもれなく履修が必要です。法規上の科目に配置した本学授業科目の単位修得をしてください。

例：法規上の科目「生涯学習概論」を履修するために、本学授業科目「生涯学習論（2020年度以前「生涯学習論講義」）」の単位を修得する。

「博物館概論」は8000番台科目（資格課程専用科目）ですが、1年次から履修することができます。2年次以上で履修する場合は、博物館学芸員課程の受講申請が必要です。

（2）博物館実習

博物館実習先の開拓は学生本人が行います。ただし、「博物館実習開拓有資格者名簿」に記載されている者に限ります。詳細は教学支援室窓口で確認してください。

（3）履修推奨科目

本課程の受講生は「履修推奨科目」の履修を推奨します。

（4）卒業要件単位に含まれない科目

コード番号が8000番台の科目（資格課程専用科目）は卒業要件単位に含まれません。

2023年度 博物館学芸員課程 授業一覧表

各課程で開講している科目のうち、下表の科目は博物館学芸員課程の科目として数えられます。
各科目の履修条件等、各課程の授業一覧表を確認し履修登録を行ってください。

下表の4000番台の科目→心理教育学科／人間科学科授業一覧表を参照

下表の6000番台の科目→芸術学科授業一覧表を参照

下表の8000番台の科目→資格課程専用科目(8000番台科目) 授業一覧表(本冊子P103)を参照

対象＝全学科【2015～2023年度入学生・新規則による科目】

博物館学芸員に関する科目（博物館法施行規則第1条に基づく）

法 規 上 の 科 目			必修/ 選択必修	2023年度開講					2020～2022年度開講	
科 目 名				授業コード	科 目 [授 業] 名	単位	重複	備考	科目[授業]名	単位
必修科目	生涯学習概論	必修	4018	生涯学習論	2	○		下記資料を 参照して ください ・ 2020年度～ 2022年度 学修の手びき ・ 2020年度～ 2022年度 資格課程の手びき		
	博物館概論	必修	8124	博物館概論	2	×				
	博物館経営論	必修	8125	博物館経営論	2	×				
	博物館資料論	必修	8126	博物館資料論	2	×				
	博物館資料保存論	選 択 1 科 目 必修	6703	文化財と保存科学	2	×				
			6501	絵画材料の研究 1	4	○				
			6502	絵画材料の研究 2	4	×				
	博物館展示論	必修	8127	博物館展示論	2	×				
	博物館教育論	必修	8128	博物館教育論	2	×				
	博物館情報・メディア論	必修	8129	博物館情報・メディア論	2	×				
博物館実習	必修	8130	博物館実習	3	×	注1				

注1：法規上の科目「博物館実習」の履修は「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」の単位を修得済みであることを条件とする。

本課程の受講生は「履修推奨科目」の中から、各自の専門分野に従って適宜履修することが望ましい。

履修推奨科目	心理教育学科専門科目	社会教育論
	現代社会学科専門科目	現代社会とNGO・NPO
	人間科学科／身体環境共生学科専門科目	社会教育論、現代社会とNGO・NPO、戦争と遺跡
	現代人間学部共通科目	文化人類学、生態学
	総合文化学科専門科目	映像文化論1・2、ガンダーラ文化史、ポピュラー・カルチャー、中国の歴史と文化
	芸術学科専門科目	芸術の基礎理論、近代デザイン史基礎、現代デザインの基礎、クリエイティブ特別講義
	経済学科専門科目	行政学、公共経済学、公共政策A・B
	経営学科専門科目	NPO論、経営戦略論、競争戦略論、マーケティング論A・B、組織論A・B
	共通教養科目	歴史と遺跡、ギリシア神話を読む、生活のなかのデザイン くらしとデザイン、日常からの科学論A・B、世界美術の歴史、生物の多様性A・B

資格課程の手びき 2023

編集・発行／和光大学教学支援室

〒195-8585 東京都町田市金井ヶ丘5-1-1
TEL 044-989-7496